

- この度は、新日軽商品をご採用いただき誠にありがとうございます。
商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この施工説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。
- 本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。
施工にあたっては必ずお守りください。
- 施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- この説明書は施工後必ず施主様へお渡ししてください。

注意事項

施工にあたっては次の点をご確認ください。

◎設置場所・位置について

- ガス給湯器などの熱や排気ガスが製品に直接当たる、またはこもるような場所に設置しないでください。熱による塗装劣化・剥離（はくり）、また排気ガスによる腐食の原因になります。

◎施工時の注意事項

- モルタル用に海砂が使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。
- モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
- アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
- 埋め込み柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。

- モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品に付着しないようご注意ください。
- 施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
- 輸入木材には塩素イオン等の腐食成分が多く含まれているものがありますので、その使用を避けていただくか、アルミと接触する部分には木材に塗装するようにしてください。
- 基礎施工は、地下埋設物（給水配管等）に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。また、寒冷地はその地域にあった基礎工事を行ってください。
- 地盤が軟弱な場合は、柱の埋込み深さ、フーチングの大きさを考慮してください。
- 養生期間は十分（4日～1週間）にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
- 改造・変更をしないでください。

この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。		「必ず行っていただくこと」を示しています。

注意

- 本商品は、樹脂材を使用していますので、ビスの締付けには十分注意してください。締付けすぎると部材が割れ、または破損する恐れがあります。
- デッキ材に工具等固いものを落としたりしないでください。破損する恐れがあります。
- デッキ端部等でケガをしないように、軍手、安全靴を使用してください。
- 施工後は、必要に応じて養生を施してください。
- 保管時は、平坦な場所に平置きしてください。また、長期間保管する場合、風雨にさらされないようにしてください。
- デッキ上のフェンスパネルに乗ったり、揺すったりしないでください。
- デッキ上のフェンスパネルに雨具、洗濯物、布団等を載せないでください。



使用上のご注意について

- デッキ上のフェンスパネルに鉢等をかける場合は、1枚当り3kgを越えないようにしてください。
- 夏場の直射日光下では、表面温度が高温になることがありますので、素足で歩かないようにしてください。必ず、スリッパ等の履物を使用してください。
- 樹脂は弱酸、弱アルカリ、食塩水、アルコール（水でうすめたもの）には優れた抵抗性をもっていますが、濃酸、濃アルカリ、また、シンナー、ベンジン等の有機溶剤や石油類は使用しないでください。
- 重い物や鋭利な物を引きずったり、落としたりしないでください。キズ、割れの原因となります。
- デッキの近くで殺虫剤、除草剤は使用しないでください。スプレータイプで石油系、フロン系の場合、接触すると変形、割れを生じることがあります。
- 樹脂は、微小火源には着火しにくくなっていますが、火気には十分にご注意ください。また、70℃以上になると変形しますので、近くで焚き火をしたり高温のものを近づけたりしないでください。

下記のオプションについては、オプション本体に付属の施工説明書を合わせて参照してください。

オプション品名	施工説明書番号	オプション品名	施工説明書番号
点検口	ME-1779	ステップデッキ（横止め仕様）	ME-1851
階段	ME-2087	高床デッキ・高強度デッキフェンス	ME-1904
ステップデッキ	ME-1781	高床デッキ用 踊り場・階段	ME-1890
デッキフェンス扉	ME-1782	モダンスタイル・デッキフェンス	ME-1905
デッキ下パネル	ME-1783	デッキフェンス・ハイパーテーションベンチタイプ	ME-1889

もくじ

梱包明細	3	4. デッキフェンス施工前の確認	47
各部の名称	5	4-1 柱の種類	47
納まり図	7	4-2 コーナー自在柱について	47
基本寸法一覧表	7	4-2-1 コーナー自在柱の調整方法	47
基本納まり図	7	4-2-2 コーナー自在柱の埋め込みについて	48
基本断面図	8	4-3 ベースプレートの取付けについて	48
デッキフェンス H800/1000 納まり	9	4-4 デッキフェンス扉付きの場合(※オプション)	48
デッキフェンス H1800 納まり	11	4-5 モダンスタイル・デッキフェンスを取付ける場合(※オプション)	48
デッキフェンスコーナー自在柱詳細図	12	4-6 高床デッキの場合	48
デッキフェンス段差納まり	13	4-7 高床デッキに踊り場・階段を取付ける場合	48
デッキフェンス扉納まり(オプション)	13	4-8 デッキフェンス H1800 の場合	48
デッキ R 鼻隠し納まり	14	5. デッキフェンスの取付け	49
点検口納まり(オプション)	15	5-1 ベースプレートの取付け	49
階段納まり(オプション)	16	5-2 デッキフェンス柱の設置	
デッキ材 2 段納まり(オプション)	17	(※間柱・端柱・90° コーナー柱の場合)	49
テラス納まり(オプション)	18	5-2-1 設置前の確認	49
束柱・大引位置図	19	5-2-2 デッキフェンス柱の設置	50
デッキたて張り	19	5-2-3 ベースプレートカバーの取付け	50
デッキよこ張り	22	5-3 コーナー自在柱の設置	51
施工前の確認	25	5-3-1 コーナー部材キャップ(下側)の取付け	51
1. 束柱・大引の設置 根がらみ(※オプション)の設置	26	5-3-2 コーナー自在柱(H800/1000)の設置	51
1-1 根がらみ(※オプション)の切詰め	26	5-3-3 コーナー自在柱(H1800)の設置	52
1-2 大引の取付け・根がらみ(※オプション)の取付け	26	5-4 下棧の取付け(※ラチスパネル・井桁パネル・	
1-2-1 デッキたて張りの場合	26	ディズニータイプパネル納まりの場合)	53
1-2-2 デッキよこ張りの場合	27	5-4-1 上下棧の切詰め	53
1-2-3 大引の連結・根がらみ(※オプション)の連結	27	5-4-2 下棧の取付け	53
1-3 束柱の設置	28	5-5 パネルの取付け(※ラチスパネル・井桁パネル・	
1-3-1 固定式束柱・調整式束柱の設置	28	ディズニータイプパネル納まりの場合)	54
1-3-2 埋込式長束柱の設置	29	5-6 横格子パネルの取付け(※横格子パネル納まりの場合)	55
1-4 テラス柱の設置(※オプション)	29	5-6-1 横格子取付け寸法例	55
1-5 デッキ材 2 段納まりの場合(※オプション)	30	5-6-2 横格子の取付け	56
1-5-1 大引(2 段納まり用)の切詰め	30	5-7 通し笠木の取付け(※H800/1000の場合)	57
1-5-2 束柱・大引の設置	30	5-8 段差連結部品の取付け(※段差納まりの場合)	59
2. 床下補強材の取付け	32	5-9 上棧の取付け(※H1800の場合)	60
2-1 床下補強材・床下補強アングル取付例	32	5-10 控え柱の取付け(※H1800の場合)	61
2-2 床下補強材の切詰め	33	5-11 通し笠木キャップ・笠木カバーの取付け	
2-3 床下補強材・床下補強アングルの取付け	33	(※H800/1000の場合)	63
3. デッキ材の取付け	34	5-12 柱キャップの取付け(※H1800の場合)	63
3-1 施工前の確認	34	5-13 コーナー部材キャップの取付け(※コーナー自在柱の場合)	63
3-1-1 デッキ材取付金具について	34	6. 鼻隠しの取付け	64
3-1-2 取付イメージ図	35	6-1 鼻隠しの種類	64
3-1-3 デッキ材の切詰めについて	35	6-2 鼻隠しの切詰め・孔加工(※直線用鼻隠しの場合)	64
3-1-4 デッキ材の色について	35	6-3 鼻隠し(直線用)の取付け(※直線用鼻隠しの場合)	64
3-1-5 デッキ材の水抜きについて	36	6-3-1 鼻隠しの取付け	64
3-2 鼻隠し取付金具の取付け	36	6-3-2 鼻隠しキャップの取付け	65
3-2-1 鼻隠し取付金具の取付位置	36	6-4 鼻隠し(R用)の取付け(※R用鼻隠しの場合)	66
3-2-2 鼻隠し取付金具の取付け	37	6-4-1 R部への取付け	66
3-3 デッキ材の取付け	37	6-4-2 直線部への取付け	66
3-3-1 デッキ材取付位置の確認	37	6-4-3 鼻隠しキャップの取付け	67
3-3-2 デッキ材の取付け	38	7. 小口キャップの取付け(※オプション)	67
3-3-3 デッキ材を縦引く場合の施工手順	41	施工工事店様、販売店様へのお願い	68
3-4 デッキの連結	42		
3-5 デッキ R 鼻隠し納まりのデッキ切断	43		
3-6 テラス柱部の施工(※オプション)	45		
3-7 デッキ材 2 段納まりの場合(※オプション)	46		

梱包明細

- 施工前に、部材数量および部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無いか確認してください。
- 説明書に記載している部材・部品（ビス含）以外は使用しないでください。

梱包名称		サイズ	梱包内容 ※表内の（ ）は個数を表しています。
大引	0.5 間	2 本入り L=910	大引 (2)・施工説明書 [ME-1778] (1)・孔空け位置出し用台紙 (1)・デッキ材端部取付部品セット (1) [デッキ材取付金具 (端部用) (4)・φ4×13 皿セルフドリリングビス (10)]
		3 本入り L=910	大引 (3)・施工説明書 [ME-1778] (1)・孔空け位置出し用台紙 (1)・デッキ材端部取付部品セット (1) [デッキ材取付金具 (端部用) (6)・φ4×13 皿セルフドリリングビス (15)]
		4 本入り L=910	大引 (4)・施工説明書 [ME-1778] (1)・孔空け位置出し用台紙 (1)・デッキ材端部取付部品セット (1) [デッキ材取付金具 (端部用) (8)・φ4×13 皿セルフドリリングビス (20)]
	1.0 間	2 本入り L=1820	大引 (2)・施工説明書 [ME-1778] (1)・孔空け位置出し用台紙 (1)・デッキ材端部取付部品セット (1) [デッキ材取付金具 (端部用) (4)・φ4×13 皿セルフドリリングビス (10)]
		3 本入り L=1820	大引 (3)・施工説明書 [ME-1778] (1)・孔空け位置出し用台紙 (1)・デッキ材端部取付部品セット (1) [デッキ材取付金具 (端部用) (6)・φ4×13 皿セルフドリリングビス (15)]
		4 本入り L=1820	大引 (4)・施工説明書 [ME-1778] (1)・孔空け位置出し用台紙 (1)・デッキ材端部取付部品セット (1) [デッキ材取付金具 (端部用) (8)・φ4×13 皿セルフドリリングビス (20)]
	1.5 間	2 本入り L=2730	大引 (2)・施工説明書 [ME-1778] (1)・孔空け位置出し用台紙 (1)・デッキ材端部取付部品セット (1) [デッキ材取付金具 (端部用) (4)・φ4×13 皿セルフドリリングビス (10)]
		3 本入り L=2730	大引 (3)・施工説明書 [ME-1778] (1)・孔空け位置出し用台紙 (1)・デッキ材端部取付部品セット (1) [デッキ材取付金具 (端部用) (6)・φ4×13 皿セルフドリリングビス (15)]
		4 本入り L=2730	大引 (4)・施工説明書 [ME-1778] (1)・孔空け位置出し用台紙 (1)・デッキ材端部取付部品セット (1) [デッキ材取付金具 (端部用) (8)・φ4×13 皿セルフドリリングビス (20)]
	2.0 間	2 本入り L=3640	大引 (2)・施工説明書 [ME-1778] (1)・孔空け位置出し用台紙 (1)・デッキ材端部取付部品セット (1) [デッキ材取付金具 (端部用) (4)・φ4×13 皿セルフドリリングビス (10)]
		3 本入り L=3640	大引 (3)・施工説明書 [ME-1778] (1)・孔空け位置出し用台紙 (1)・デッキ材端部取付部品セット (1) [デッキ材取付金具 (端部用) (6)・φ4×13 皿セルフドリリングビス (15)]
		4 本入り L=3640	大引 (4)・施工説明書 [ME-1778] (1)・孔空け位置出し用台紙 (1)・デッキ材端部取付部品セット (1) [デッキ材取付金具 (端部用) (8)・φ4×13 皿セルフドリリングビス (20)]
束柱	標準束柱 (固定式)	2 本入り L=434	固定式束柱 (2)・固定式束柱セット部品 (1) [束柱固定金具 (4)・φ4×10 セルフドリリングビス (8) φ5×16 トラストタッピン3種 (8)]・施工説明書 [ME-1818] (1)
		3 本入り L=434	固定式束柱 (3)・固定式束柱セット部品 (1) [束柱固定金具 (6)・φ4×10 セルフドリリングビス (12) φ5×16 トラストタッピン3種 (12)]・施工説明書 [ME-1818] (1)
	標準束柱 (調整式)	2 本入り 束柱 A:L=254 束柱 B:L=200	調整束柱 (2)・ビスセット (1) [φ5×16 トラストタッピン3種 (8)・φ5×16 セルフドリリングビス (8)]
		3 本入り 束柱 A:L=254 束柱 B:L=200	調整束柱 (3)・ビスセット (1) [φ5×16 トラストタッピン3種 (12)・φ5×16 セルフドリリングビス (12)]
	長束柱 (調整式)	2 本入り 束柱 A:L=354 束柱 B:L=300	調整束柱 (2)・ビスセット (1) [φ5×16 トラストタッピン3種 (8)・φ5×16 セルフドリリングビス (8)]
		3 本入り 束柱 A:L=354 束柱 B:L=300	調整束柱 (3)・ビスセット (1) [φ5×16 トラストタッピン3種 (12)・φ5×16 セルフドリリングビス (12)]
	長束柱 (埋込式)	2 本入り L=704	長束柱 (2)・ビスセット (1) [φ5×16 トラストタッピン3種 (8)]
		3 本入り L=704	長束柱 (3)・ビスセット (1) [φ5×16 トラストタッピン3種 (12)]
デッキ材	3 尺	2 本入り L=907	デッキ材 (2)
		3 本入り L=907	デッキ材 (3)
	4 尺	2 本入り L=1194	デッキ材 (2)
		3 本入り L=1194	デッキ材 (3)
	5 尺	2 本入り L=1494	デッキ材 (2)
		3 本入り L=1494	デッキ材 (3)
	6 尺	2 本入り L=1817	デッキ材 (2)
		3 本入り L=1817	デッキ材 (3)
	7 尺	2 本入り L=2121	デッキ材 (2)
		3 本入り L=2121	デッキ材 (3)
	9 尺	2 本入り L=2727	デッキ材 (2)
		3 本入り L=2727	デッキ材 (3)
	L=3000	1 本入り L=3000	デッキ材 (1)
	デッキ材 取付部品	20 個入り	デッキ材取付金具 (20)・φ4×13 セルフドリリングビス (30) φ4×13 皿セルフドリリングビス (10)・目地巾調整治具 (1)
30 個入り		デッキ材取付金具 (30)・φ4×13 セルフドリリングビス (40) φ4×13 皿セルフドリリングビス (15)・目地巾調整治具 (1)	
端部用		デッキ材取付金具 (端部用) (10)・φ4×13 皿セルフドリリングビス (20)	
鼻隠し	直線用	6 尺 L=1817	鼻隠し (1)・ビスセット (1) [φ5×60 皿セルフドリリングビス (6)]
		7 尺 L=2121	鼻隠し (1)・ビスセット (1) [φ5×60 皿セルフドリリングビス (6)]
		9 尺 L=2727	鼻隠し (1)・ビスセット (1) [φ5×60 皿セルフドリリングビス (8)]
		L=3000 用 L=3000	鼻隠し (1)・ビスセット (1) [φ5×60 皿セルフドリリングビス (8)]
	R 対応	6 尺 L=1817	R 対応鼻隠し (1)・ビスセット (1) [φ5×60 皿セルフドリリングビス (6)]
		9 尺 L=2727	R 対応鼻隠し (1)・ビスセット (1) [φ5×60 皿セルフドリリングビス (8)]
		L=3000 用 L=3000	R 対応鼻隠し (1)・ビスセット (1) [φ5×60 皿セルフドリリングビス (10)]
	鼻隠し 90° コーナーキャップ	直線用	鼻隠し 90° コーナーキャップ (1)・φ4×12 皿タッピン1種 (4)
		直線用	鼻隠し連結キャップ (1)・φ4×12 皿タッピン1種 (4)
		R 対応	R 対応鼻隠し連結キャップ (1)・φ4×12 皿タッピン1種 (4)
		直線用	鼻隠しコーナー自在キャップ (1)・φ4×12 皿タッピン1種 (4)・φ4×25 皿タッピン1種 (2)
		R 対応	R 対応鼻隠しコーナー自在キャップ (1)・φ4×12 皿タッピン1種 (4)・φ4×25 皿タッピン1種 (2)
		直線用	入り隅用鼻隠しコーナーキャップ (1)・φ4×12 皿タッピン1種 (4)
	鼻隠し取付金具	鼻隠し取付金具 (2)・φ5×16 ナベタッピン1種 (4)	

梱包明細

梱包名称		サイズ	梱包内容 ※表内の () は個数を表しています。	
デッキ フェンス柱	デッキフェンス柱	H800	デッキフェンス柱 (1)	
		H1000	デッキフェンス柱 (1)	
		H1800	デッキフェンス柱 (1)	
	柱取付部品	H800 H1000	ベースプレート(1)・φ6×70六角セルフドリリングビス(4)・φ5×8トラスタッピン1種(2) φ4×40ナベタッピン2種ガイド付き(4)・上下胴縁取付金具(6)・M5用平座金(2) φ4×19セルフドリリングビス(12)・φ5×12皿タッピン3種(2) φ4×20ナベタッピン1種(4)・ベースプレートカバー(2)・φ4×20ナベタッピン1種(2)・M4用平座金(2)	
		H1800	ベースプレート(1)・φ6×70六角セルフドリリングビス(4) φ4×40ナベタッピン2種ガイド付き(4)・上下胴縁取付金具(4) φ4×19セルフドリリングビス(8)・φ5×12皿タッピン3種(2) φ5×12トラスタッピン3種(2)・M5用平座金(2)・柱キャップ(1) φ4×35セルフドリリングビス(2)・ベースプレートカバー(2)・φ4×20ナベタッピン1種(2)・M4用平座金(2)	
	デッキフェンス控え柱	H1800	デッキフェンス控え柱(1) 控え柱部品セット(1) [柱控え金具(2)・φ6×70六角セルフドリリングビス(4) M6×65六角ボルト(7)・M6用平座金(12)・M6用パネ座金(6)・M6袋ナット(7)]	
	コーナー自在柱 (ベースプレート式)	H800 H1000	コーナー自在柱(1)・コーナー自在柱部品セット(1) [コーナー部材キャップ(通し笠木)(2)・φ4×14皿タッピン1種(4) φ6×70六角セルフドリリングビス(6)・コーナー部材キャップ(2) φ4×16皿タッピン3種(4)・上下胴縁取付金具(6)・φ4×20ナベタッピン1種(4) φ4×19セルフドリリングビス(12)・φ5×12皿タッピン3種(2) ベースプレートカバー(2)・φ4×20ナベタッピン1種(2)・M4用平座金(2)]	
	コーナー自在柱 (埋込式)	H1800	コーナー自在柱(1)・コーナー自在柱部品セット(1) [コーナー部材キャップ(4)・φ4×16皿タッピン3種(8) コーナー自在柱カバー(2)・φ4×14トラスタッピン1種(4) 上下胴縁取付金具(4)・φ4×19セルフドリリングビス(8) φ5×12皿タッピン3種(2)・φ5×12トラスタッピン3種(2)・M5用平座金(2)]	
フェンス段差連結部品		連結部品(1)・φ4×12皿タッピン3種(1)・上下胴縁取付金具(1) φ4×20ナベタッピン1種(2)・φ4×19セルフドリリングビス(2)		
笠木	笠木上下棧	H800	1スパン用 通し笠木(1)・下棧(1)	
		H1000	2スパン用 通し笠木(1)・下棧(2)	
		H1800	L=544	上棧(1)・下棧(1)
			L=820	上棧(1)・下棧(1)
	横格子用		上棧(1)・ビスセット(1) [φ4×16皿セルフドリリングビス(4) φ4×19ナベセルフドリリングビス(1スパン:4・2スパン:6)]	
	通し笠木エンドキャップ		通し笠木端部キャップ(2)・φ4×16皿タッピン1種(4)	
	通し笠木連結キャップ		通し笠木連結カバー(1)・φ4×16皿タッピン1種(4)	
通し笠木90°コーナーキャップ		通し笠木90°コーナーキャップ(1)・φ4×60皿ガイド付タッピン2種(2)		
パネル	1型(ラチスパネル) 2型(井桁パネル) 3型(ラチスパネル・大)	W634× 800/1000/1800	パネル[W566×H678/878/1678](1)	
		W910× 800/1000/1800	パネル[W842×H678/878/1678](1)	
		W1200× H800/1000	パネル[W1132×H678/878](1)	
	ディズニータイプパネル	W634/910× H800	パネル[W566/842×H678](1)・著作権表示タグ(1) セット部品(1) [クッション材(3)]	
横格子	樹脂タイプ	W1200	横格子(2)・取付部品セット(1) [横格子取付金具[樹脂格子用](4) φ4×20ナベタッピン2種ガイド付き(8)・φ4×19セルフドリリングビス(8)]	
	アルミタイプ	W1200	横格子(2)・取付部品セット(1) [横格子取付金具[アルミ格子用](4) φ4×20ナベタッピン2種ガイド付き(8)・φ4×19セルフドリリングビス(8)]	
床下補強材	床下補強材1本入り	L=838	床下補強材(1)・床下補強材ビスセット(1) [φ4×13セルフドリリングビス(4)]	
	床下補強材2本入り	L=838	床下補強材(1)・床下補強材ビスセット(1) [φ4×13セルフドリリングビス(8)]	
	床下補強材1本入り	L=1680	床下補強材(1)・床下補強材ビスセット(1) [φ4×13セルフドリリングビス(8)]	
	床下補強アングル		床下補強アングル(2)・φ4×13セルフドリリングビス(8)・φ6×35ナベタッピン1種(4)	
オプション	デッキ材2段納まり用部品		段床納まり用部品(2)・デッキ材取付金具(端部用)(2)・M6ターンナット(2) φ4×13セルフドリリングビス(4)・φ6×25トラスタッピン3種(2) φ5×16トラスタッピン3種(8)・φ4×13皿セルフドリリングビス(4)	
	テラス接続部品		接続カバー(2)・接続カバーキャップ(1)・セット部品(1) [デッキ材受け(2) φ5×70皿セルフドリリングビス(4)・φ5×35皿セルフドリリングビス(5) 70角柱カバー(1)・φ4×16セルフドリリングビス(6)]	
	小口キャップ		小口キャップ(10)・φ4×14皿タッピン1種(20)	
	根がらみ	3尺 2本入り	L=910	根がらみ(2)・ビスセット(2) [φ5×16トラスタッピン3種(5)]
		6尺 2本入り	L=1820	根がらみ(2)・ビスセット(2) [φ5×16トラスタッピン3種(7)]
9尺 2本入り		L=2730	根がらみ(2)・ビスセット(2) [φ5×16トラスタッピン3種(9)]	
12尺 2本入り		L=3640	根がらみ(2)・ビスセット(2) [φ5×16トラスタッピン3種(11)]	

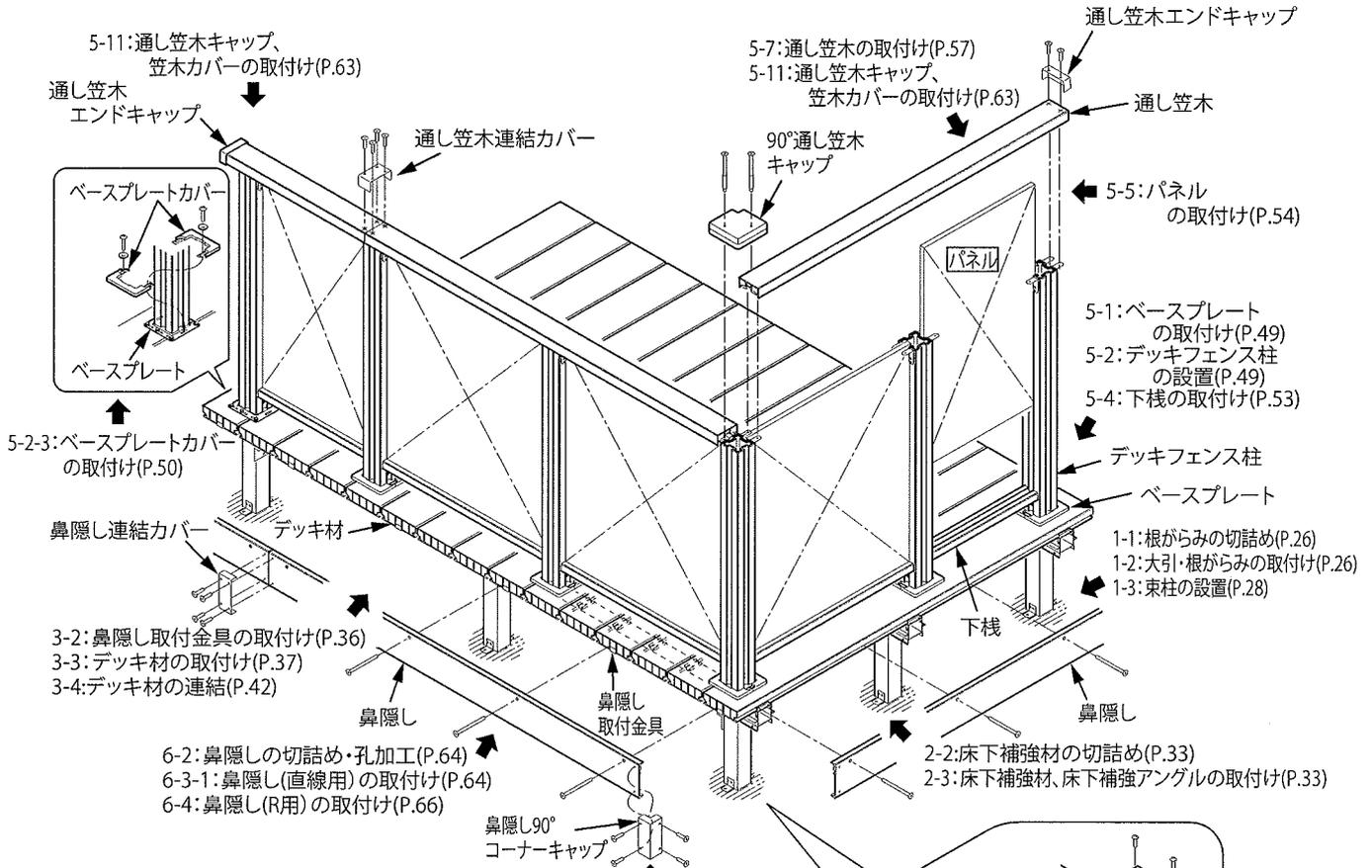
各部の名称

- 組立施工および調整の説明項目を示す。施工作業前に確認してください。
- ここでは、デッキフェンスを施工する場合を示しています。
- ※ () 内は説明ページを示しています。

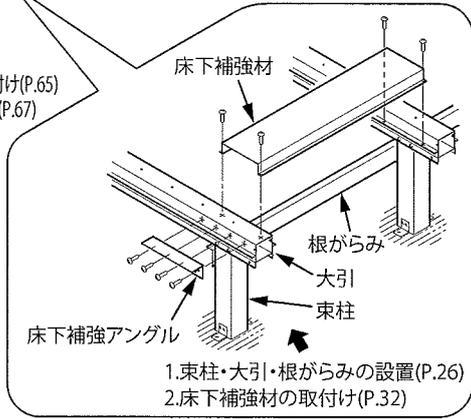
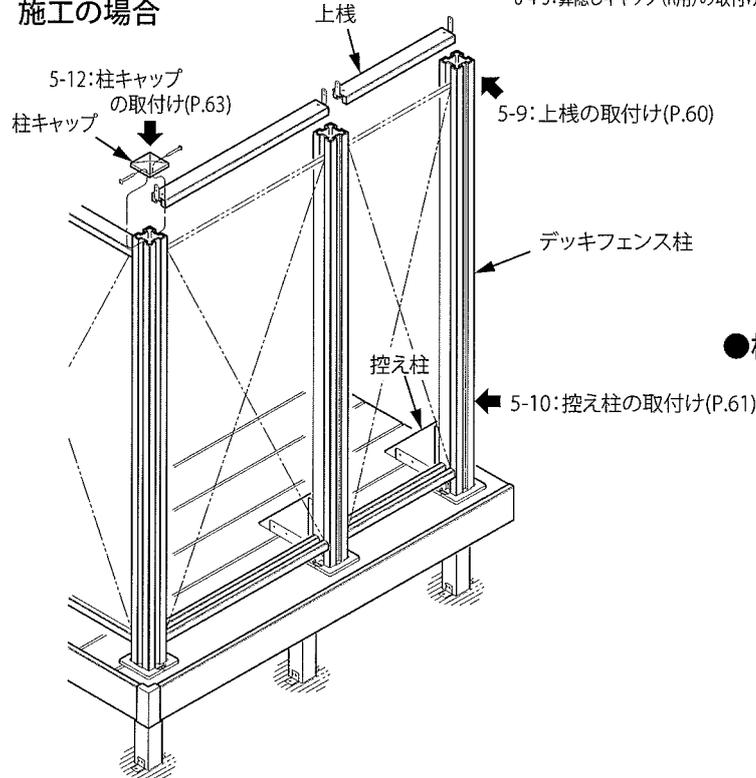
●デッキフェンス(H800/1000) 施工の場合



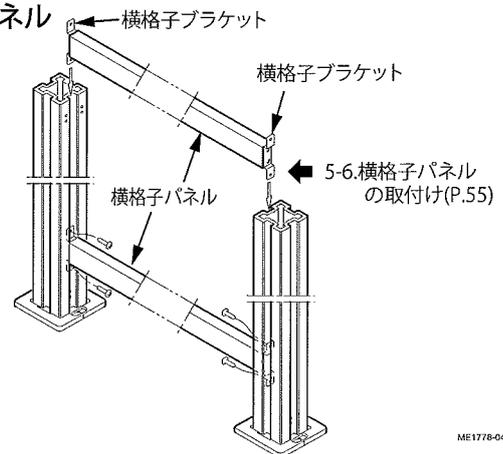
デッキ材の取付けについての部品名称は、34ページの「3. デッキ材の取付け」を参照してください。



●デッキフェンス(H1800) 施工の場合

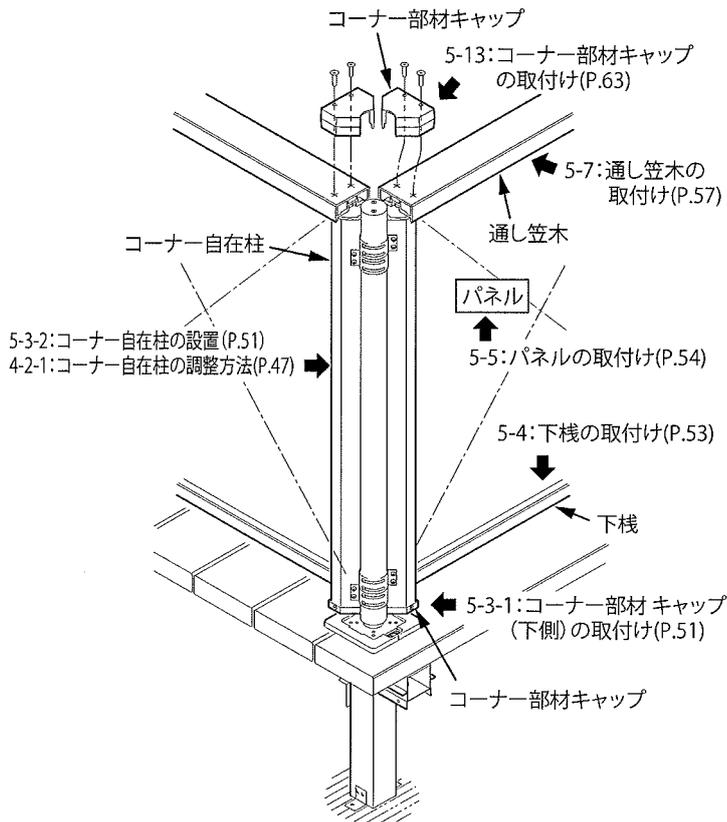


●横格子パネル

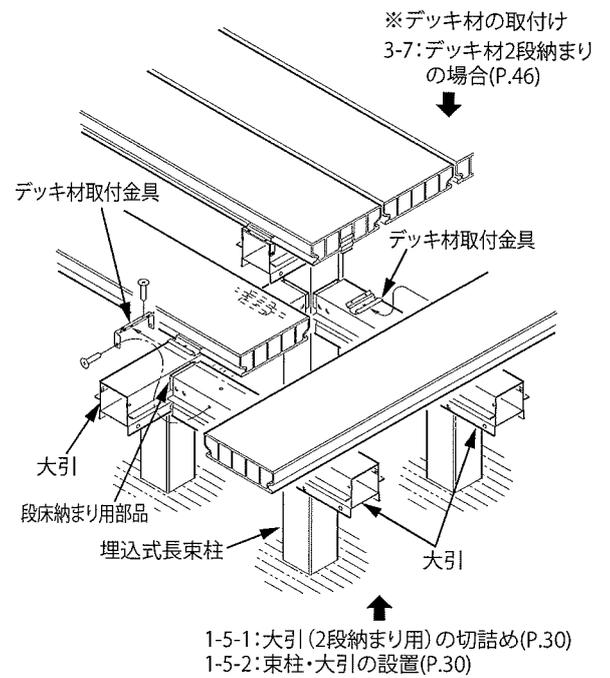


各部の名称

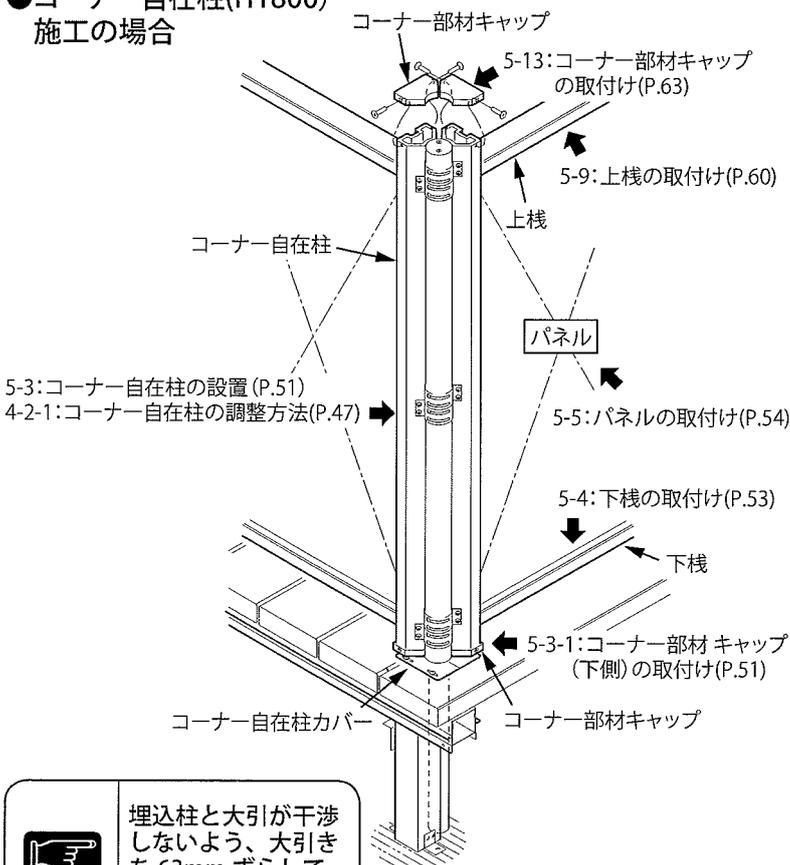
●コーナー自在柱(H800/1000) 施工の場合



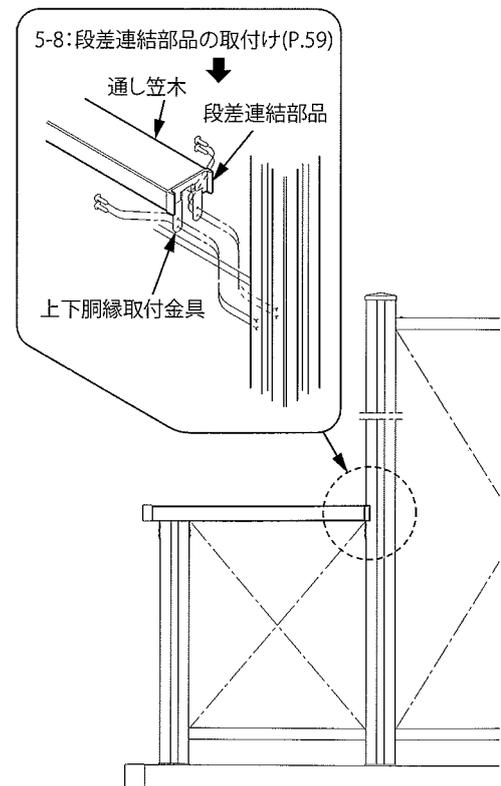
●2段納まり



●コーナー自在柱(H1800) 施工の場合



●デッキフェンス段差納まり 施工の場合




 埋込柱と大引が干渉しないよう、大引きを63mmずらして設置します。

納まり図

- この納まり図は、間口 (W) :1.5 間、出巾 (D):6 尺を示しています。
- 納まり図の間口 : W、出巾 : D に数字をあてはめて、基本寸法一覧表の規格サイズの寸法を算出してください。

基本寸法一覧表

●間口寸法

	間口	1.0 間	1.5 間	2.0 間	2.5 間
W	たて張り	1820	2730	3640	4550
	よこ張り	1817	2727	3637	4547
	間口	3.0 間	3.5 間	4.0 間	
W	たて張り	5640	6370	7280	
	よこ張り	5637	6363	7273	

●出巾寸法

	出巾	3 尺	6 尺	7 尺	9 尺	12 尺
D	たて張り	907	1817	2121	2727	3637
	よこ張り	910	1820	—	2730	3640

●デッキ高さ寸法

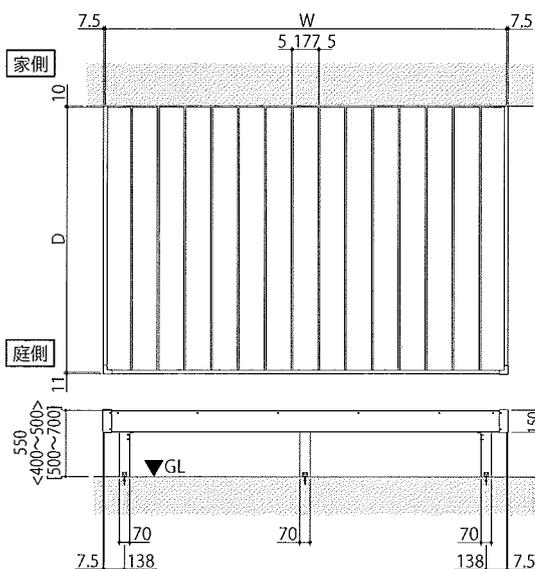
	高さ	H
固定式束柱		550
標準束柱 (調整式)		400 ~ 500
長束柱 (調整式)		500 ~ 700
長束柱 (埋込式)		700

基本納まり図



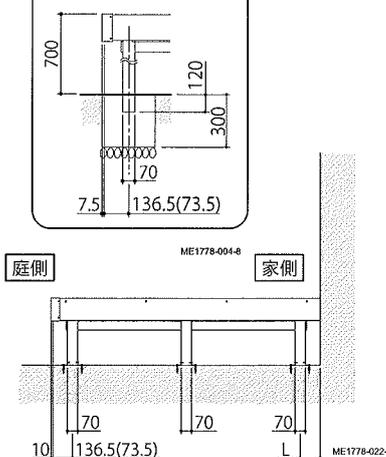
デッキ材の小口面が躯体などでふさがれる場合は、水の停滞を防ぐため 10mm 以上のすき間をあけてください。

●デッキたて張り

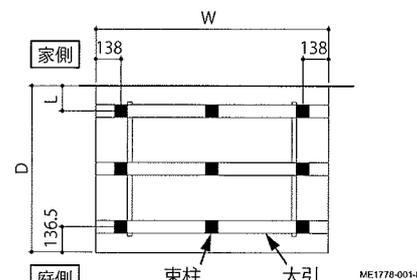


※この納まり図は、デッキたて張りに直線用鼻隠しを納めた場合を示しています。
 ※ () 内寸法は、間柱タイプの埋込柱を設置する場合を示しています。
 ※ < > 内寸法は、標準束柱 (調整式) を示しています。
 ※ [] 内寸法は、長束柱 (調整式・埋込式) を示しています。

●埋込式長束柱



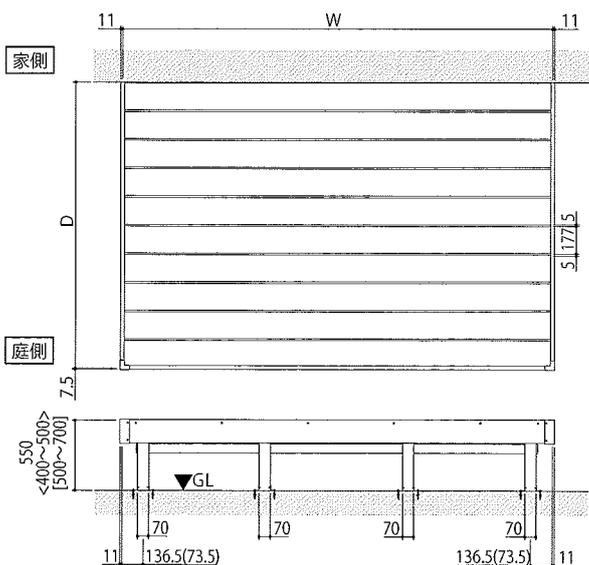
●束柱・大引 基本位置



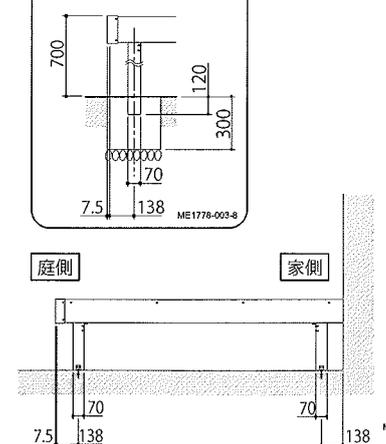
※間口・出巾別の位置は、19 ~ 24 ページの「束柱・大引位置図」を参照してください。
 ※大引のピッチ間隔は 910mm 以内としてください。
 ※L=200mm 以内になるように、大引を配置してください。

●デッキよこ張り

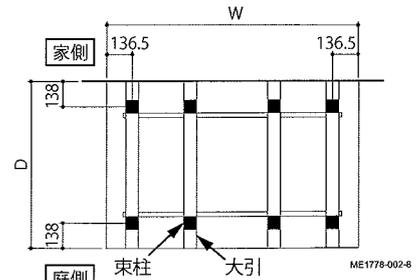
※デッキよこ張りには、7 尺の設定はありません。



●埋込式長束柱



●束柱・大引 基本位置

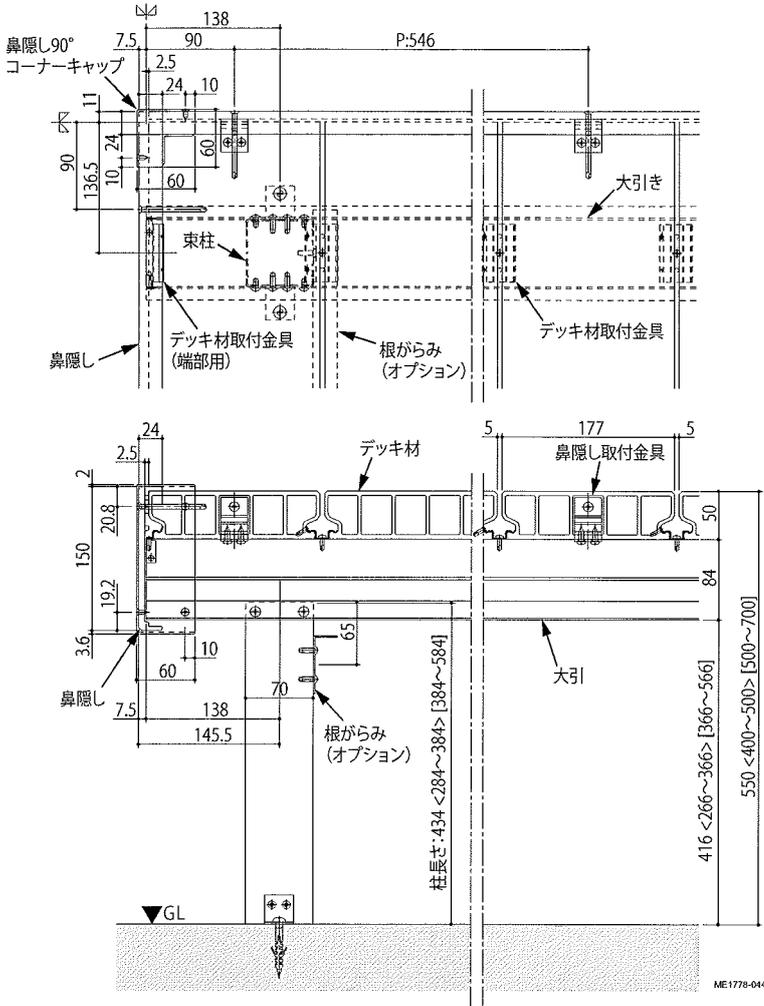


※間口・出巾別の位置は、19 ~ 24 ページの「束柱・大引位置図」を参照してください。

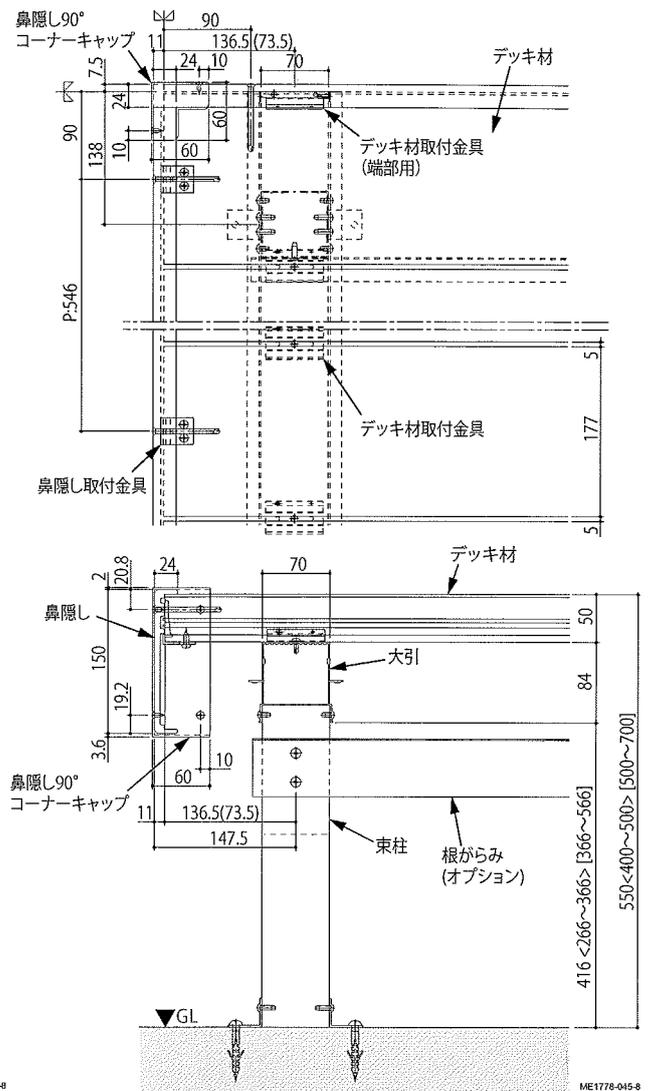
基本断面図

※この納まり図は、デッキたて張りに直線用鼻隠しを納めた場合を示しています。
 ※ () 内寸法は、間柱タイプの埋込柱を設置する場合を示しています。
 ※ < > 内寸法は、標準束柱 (調整式) を示しています。
 ※ [] 内寸法は、長束柱 (調整式・埋込式) を示しています。

●たて断面図 (間口方向より見る)



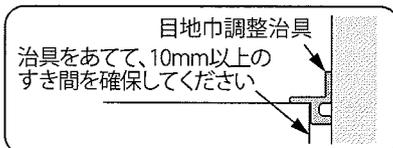
●よこ断面図 (出巾方向より見る)



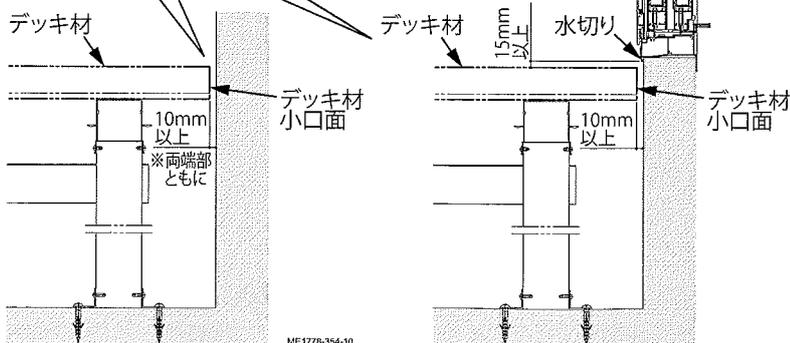
●デッキ材小口面



デッキ材の小口面が躯体などでふさがれる場合は、水の停滞を防ぐため、必ず 10mm 以上のすき間をあけてデッキ材を取付けてください。
 ※デッキ材の水抜きの詳細については、「3-1-5. デッキ材の水抜きについて」を参照してください。



外開きの扉およびサッシの下にデッキを取付ける場合は、サッシ下端から15mm以上のすき間をあけてください。

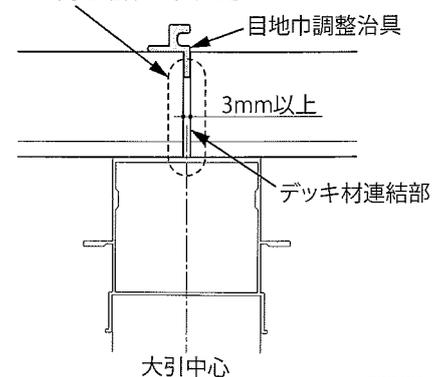


●デッキ材連結部



デッキ材の連結部は、必ず 3mm 以上のすき間をあけてください。
 ※デッキ材の連結の詳細については、「3-4. デッキの連結」を参照してください。

治具をあてて、3mm以上のすき間を確保してください

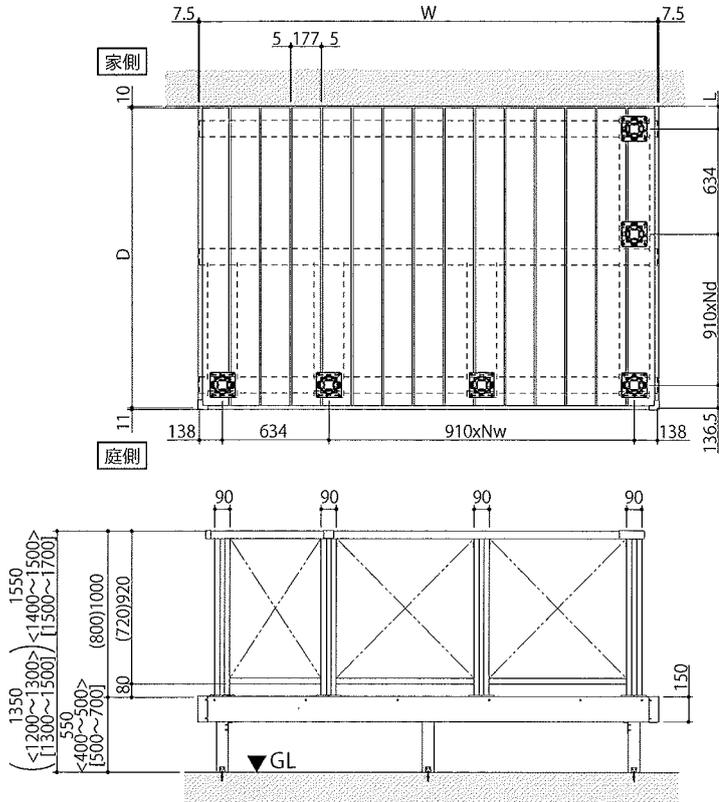


デッキフェンス H800/1000 納まり



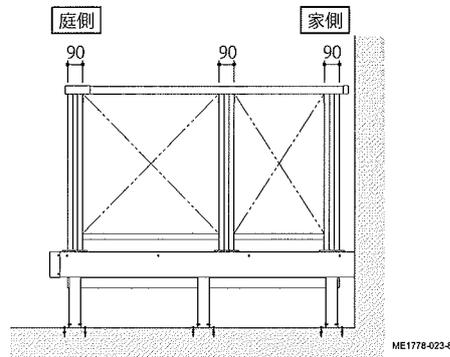
- 「モダンスタイル・デッキフェンス」を取付ける場合は、「モダンスタイル・デッキフェンス」の施工説明書 [ME-1905] を参照してください。
- 柱のベースプレート取付位置に、床下補強材・床下補強アングルが必要です。
- デッキ材の小口面が躯体などでふさがれる場合は、水の停滞を防ぐため 10mm 以上のすき間をあけてください。

●パネル巾 (W) : 910+634 を組合わせた場合

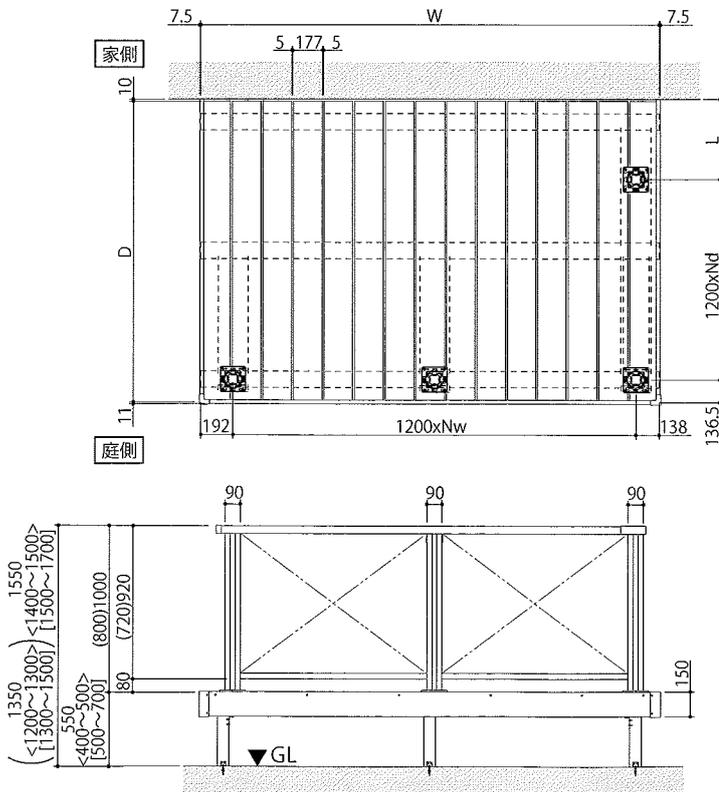


- ※本図は、デッキたて張り、間口 (W):1.5 間、出巾 (D):6 尺の本体に、デッキフェンス H1000 を L 字型に納めた場合を示しています。
- ※ Nw、Nd はフェンスのスパン数を示しています。
- ※ < > 内寸法は、標準束柱 (調整式) を示しています。
- ※ [] 内寸法は、長束柱 (調整式・埋込式) を示しています。
- ※ () 内寸法は、H800 を示しています。
- ※ L 寸法は、以下の式より算出してください。
【式 : $L = D - (910 \times Nd + 770.5)$ 】

! フェンスは、庭側の寸法を守って取付けてください。

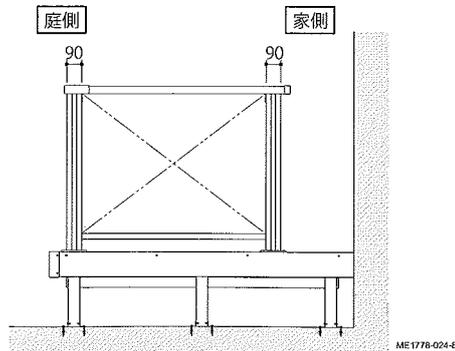


●パネル巾 (W) : 1200 を組合わせた場合



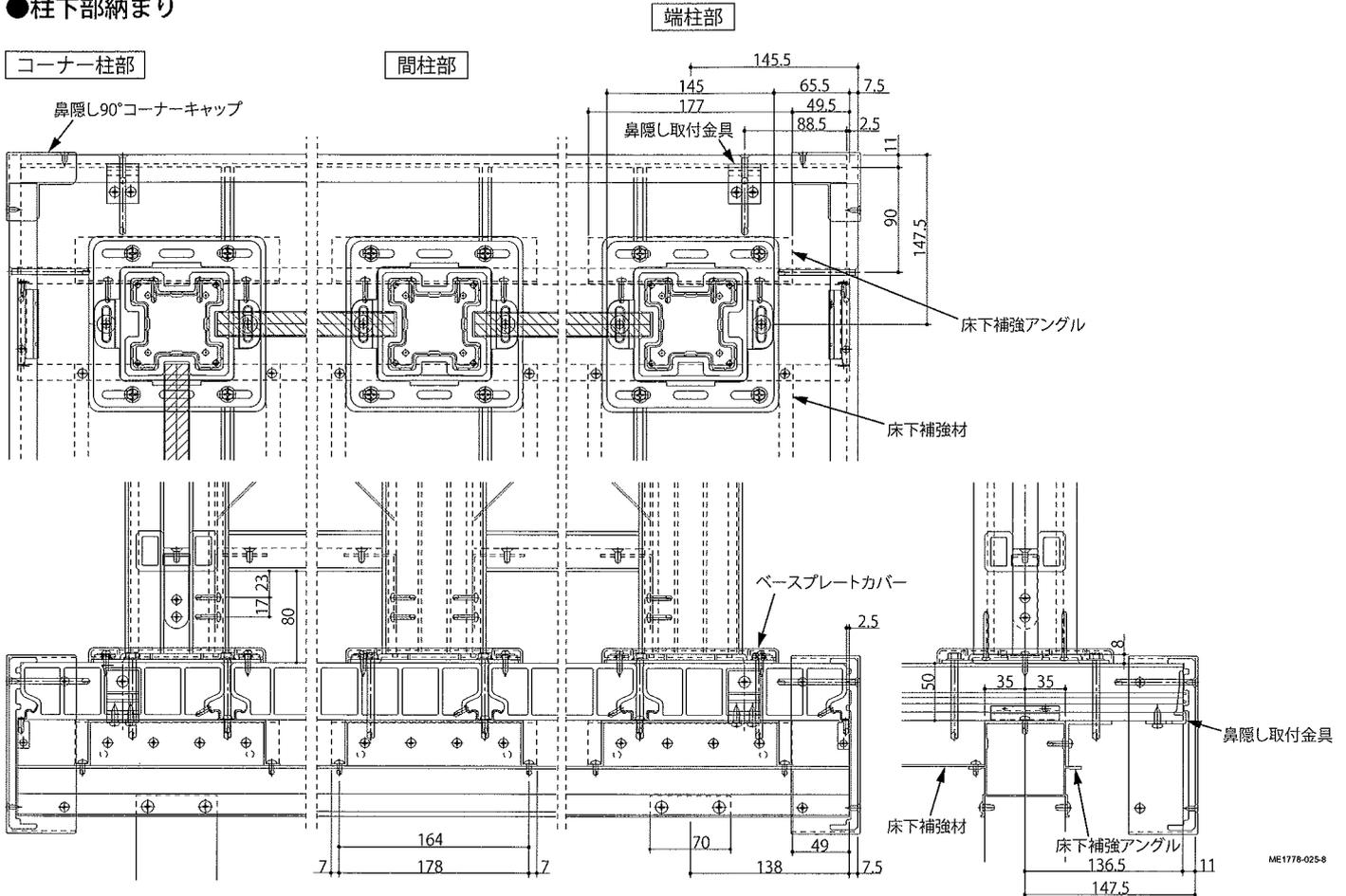
- ※本図は、デッキたて張り、間口 (W):1.5 間、出巾 (D):6 尺の本体に、デッキフェンス H1000 を L 字型に納めた場合を示しています。
- ※ Nw、Nd はフェンスのスパン数を示しています。
- ※ < > 内寸法は、標準束柱 (調整式) を示しています。
- ※ [] 内寸法は、長束柱 (調整式・埋込式) を示しています。
- ※ () 内寸法は、H800 を示しています。
- ※ L 寸法は、以下の式より算出してください。
【式 : $L = D - (1200 \times Nd + 136.5)$ 】

! フェンスは、庭側の寸法を守って取付けてください。



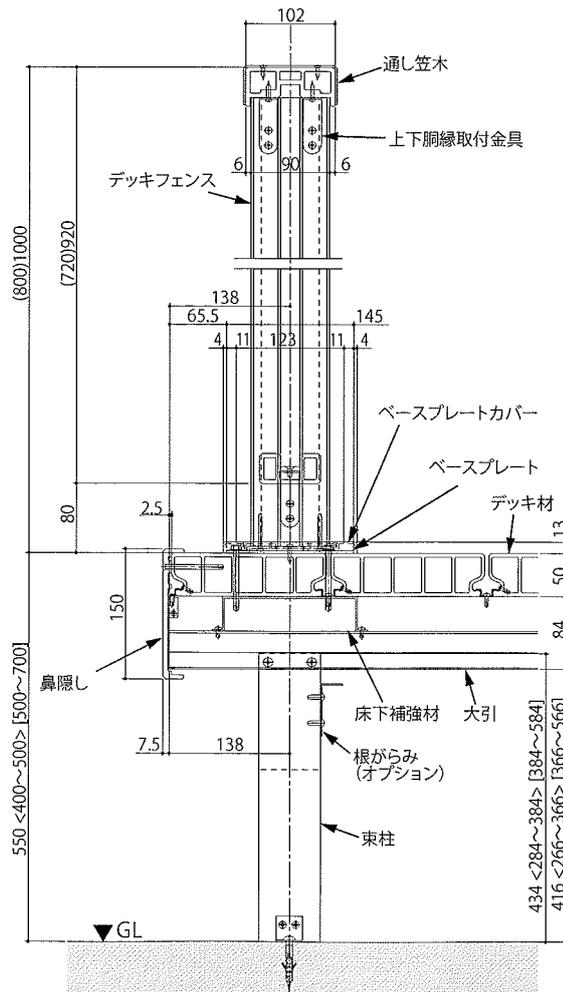
納まり図

●柱下部納まり



ME1778-025-8

●たて断面図



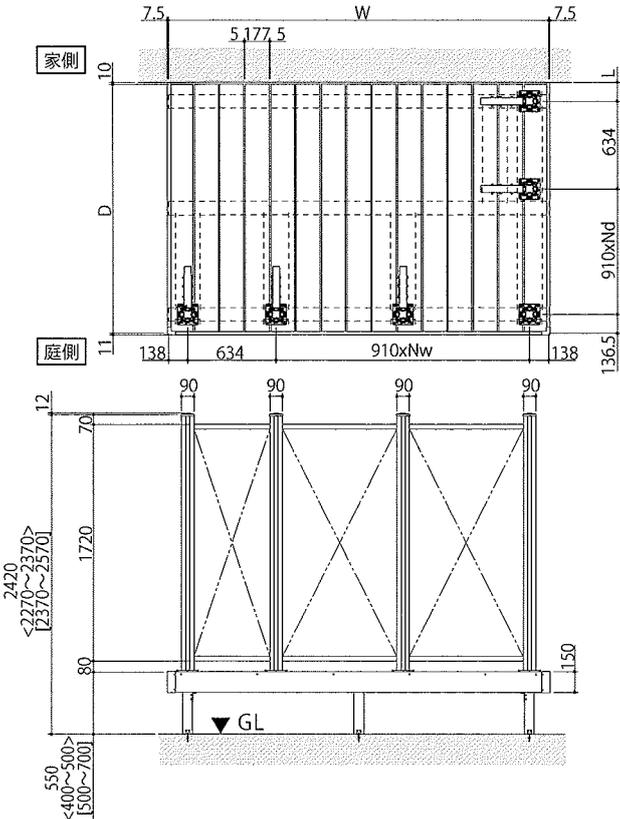
「モダンスタイル・デッキフェンス」を取付ける場合は、「モダンスタイル・デッキフェンス」の施工説明書 [ME-1905] を参照してください。

- ※本図の寸法は、フェンス庭側の場合を示しています。
- ※ < > 内寸法は、標準束柱 (調整式) を示しています。
- ※ [] 内寸法は、長束柱 (調整式・埋込式) を示しています。
- ※ () 内寸法は、H800 を示しています。

ME1778-026-8

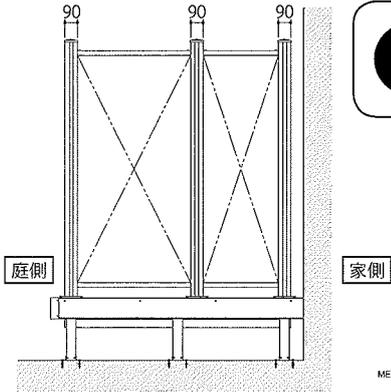
デッキフェンス H1800 納まり

●基本納まり図



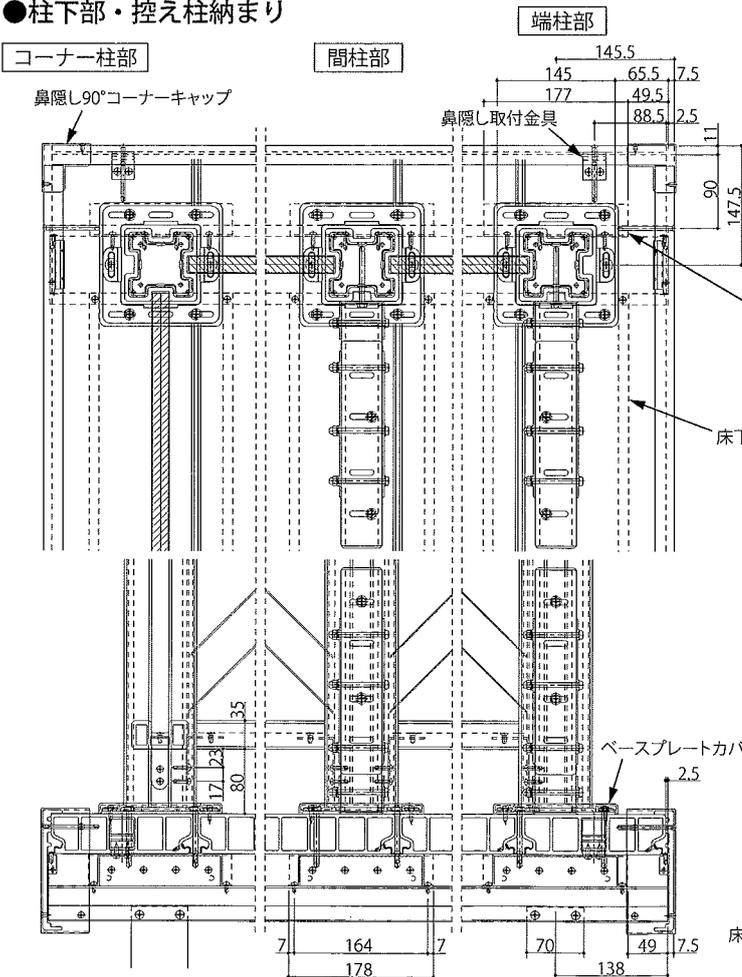
※この納まり図は、デッキたて張り、間口(W):1.5間、出巾(D):6尺の本体に、デッキフェンスをL字型に納めた場合を示しています。
 ※ Nw、Nd はフェンスのスパン数を示しています。
 ※ < > 内寸法は、標準束柱(調整式)を示しています。
 ※ [] 内寸法は、長束柱(調整式・埋込式)を示しています。
 ※ L寸法は、以下の式より算出してください。
 【式：L = D - (910 × Nd + 770.5)】

- 柱のベースプレート取付位置に、床下補強材・床下補強アングルが必要です。
- デッキ材の小口面が躯体などでふさがれる場合は、水の停滞を防ぐため 10mm 以上のすき間をあけてください。
- 控え柱のかわりにオプション品のベンチを取付ける場合は、「デッキフェンス・ハイパーテーションベンチタイプ」の施工説明書 [ME-1889] を参照してください。

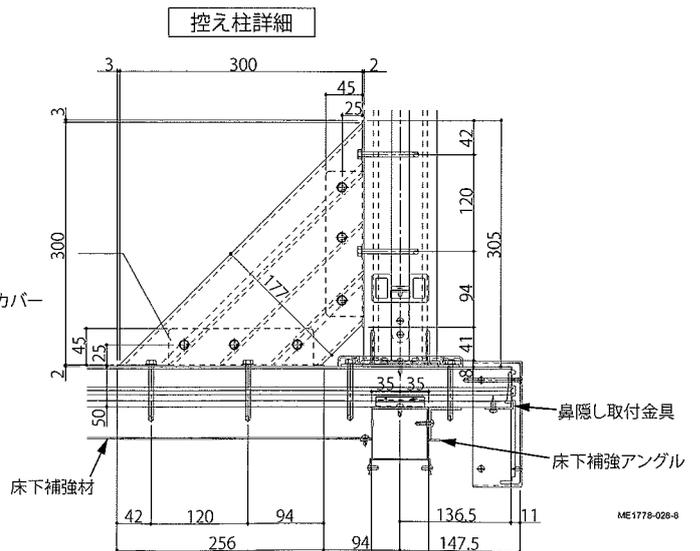


！ フェンスは、庭側の寸法を守って取付けてください。

●柱下部・控え柱納まり



※本図の寸法は、フェンス庭側の場合を示しています。



デッキフェンスコーナー自在柱詳細図

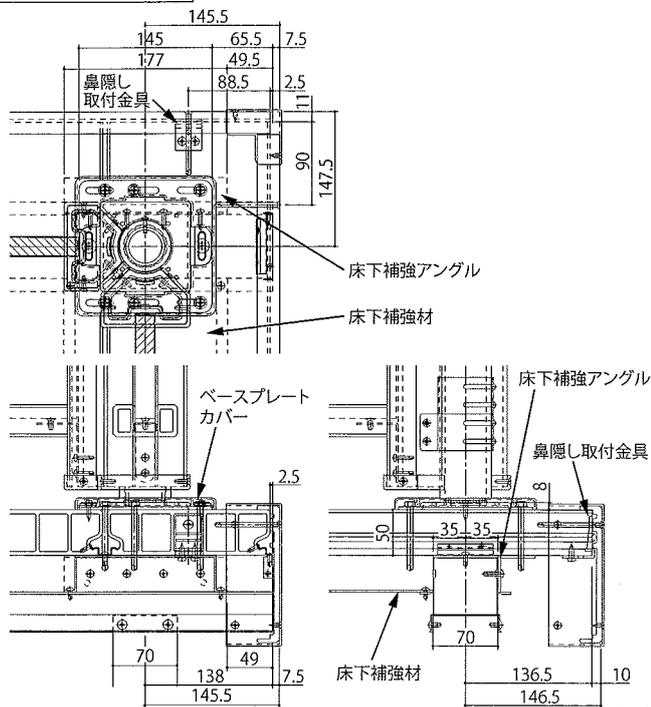


コーナー自在柱の施工方法については、「5-3. コーナー自在柱の設置」を参照してください。

※本図の寸法は、フェンス庭側の場合を示しています。

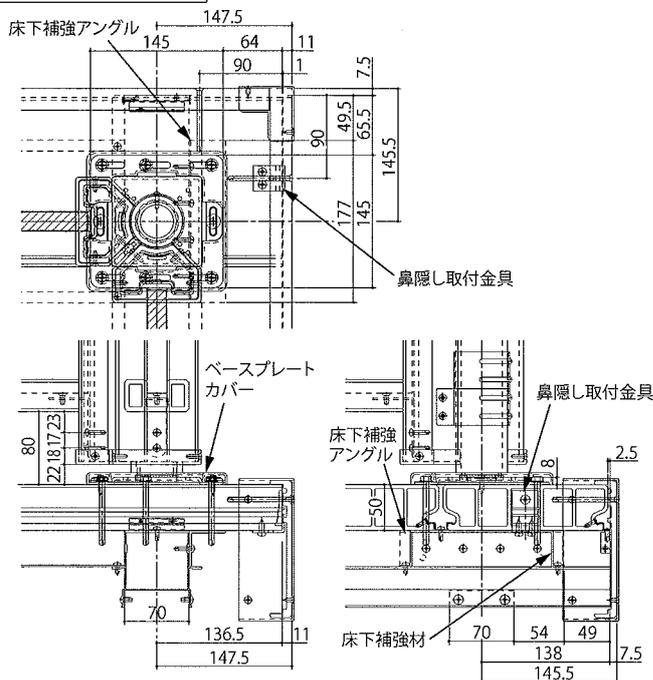
●デッキフェンス H800/1000 の場合

デッキたて張りの場合



ME1778-029-8

デッキよこ張りの場合



ME1778-030-8

●デッキフェンス H1800 の場合

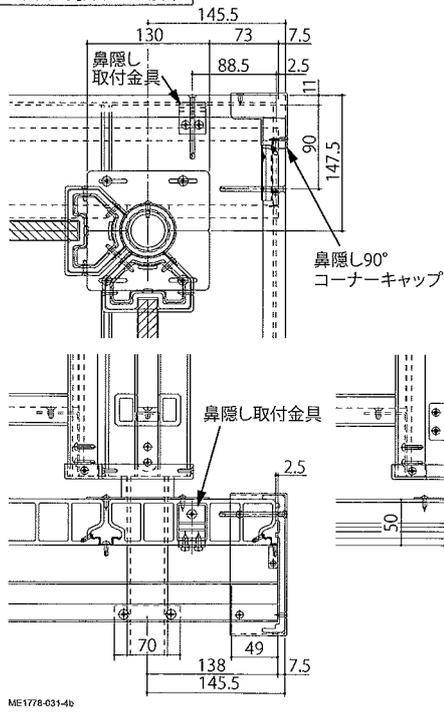


- H1800 の場合は、埋込式のコーナー自在柱を使用します。
- 柱と大引の干渉を避けるため、大引を 63mm ずらして設置します。
- 大引のフィンが埋込柱と干渉するため、切欠きが必要です。
- 床下補強材・床下補強アングルは必要ありません。



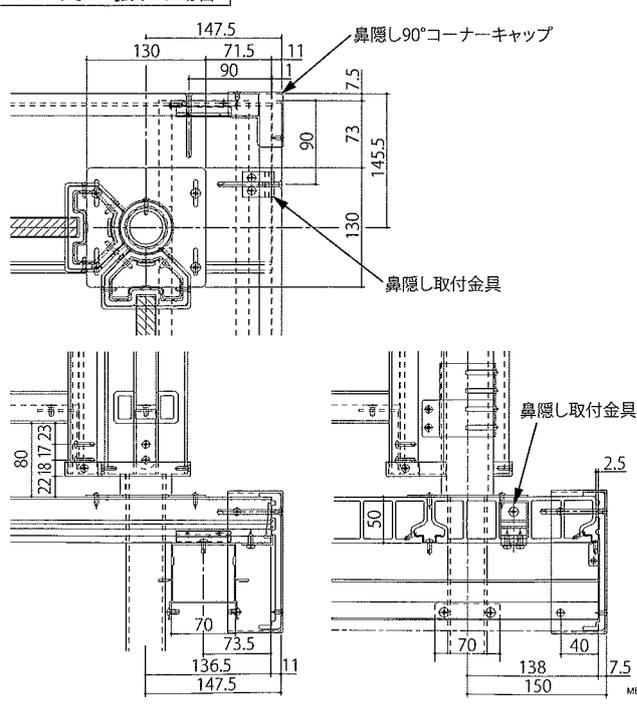
控え柱のかわりにオプション品のベンチを取付ける場合は、「デッキフェンス・ハイパーテーションベンチタイプ」の施工説明書 [ME-1889] を参照してください。

デッキたて張りの場合



ME1778-031-4b

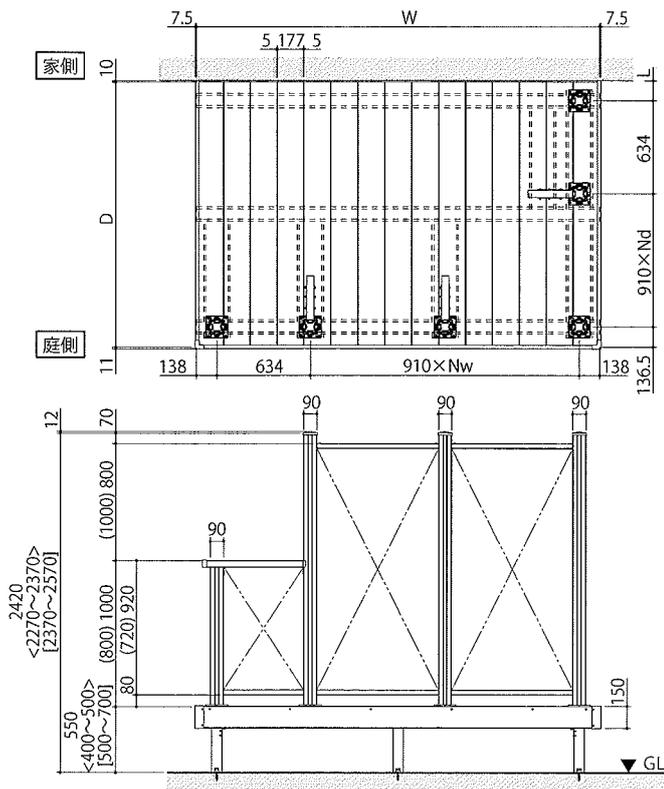
デッキよこ張りの場合



ME1778-032-4b

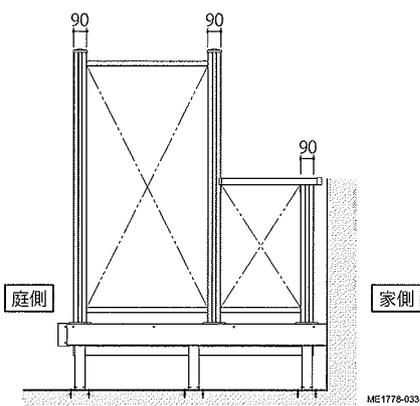
デッキフェンス段差納まり

●基本納まり図



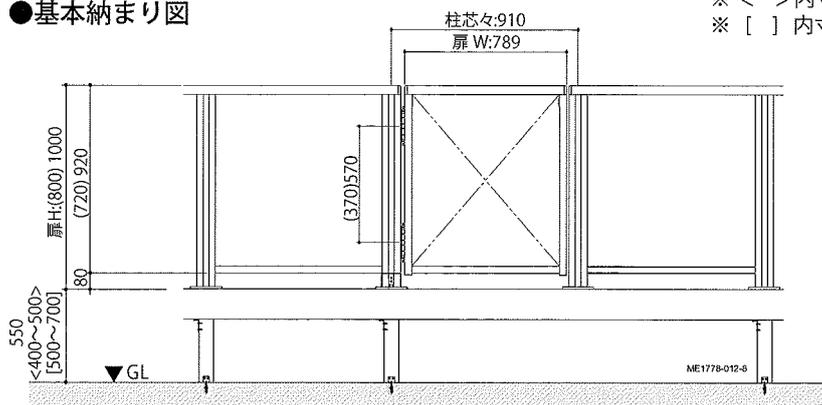
※この納まり図は、デッキたて張り、間口(W):1.5間、出巾(D):6尺の本体に、デッキフェンスをL字型に納めた場合を示しています。
 ※この納まり図は、H1000+H1800の組合せを示しています。
 ※ Nw、Nd はフェンスのスパン数を示しています。
 ※ () 内寸法は、H800を示しています。
 ※ < > 内寸法は、標準束柱(調整式)を示しています。
 ※ [] 内寸法は、長束柱(調整式・埋込式)を示しています。
 ※ L寸法は、以下の式より算出してください。
 【式：L = D - (910 × Nd + 770.5)】

- 段差連結部の施工方法については、「5-8. 段差連結部品の取付け」を参照してください。
- デッキ材の小口面が躯体などでふさがれる場合は、水の停滞を防ぐため10mm以上のすき間をあけてください。



デッキフェンス扉納まり (オプション)

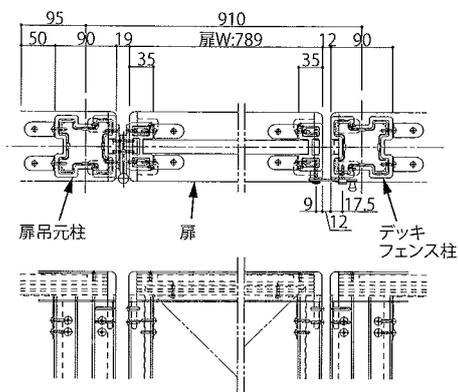
●基本納まり図



※この納まり図は、「デッキフェンス H1000」+「デッキフェンス扉 H1000」を納めた場合を示しています。
 ※ () 内寸法は、H800を示しています。
 ※ < > 内寸法は、標準束柱(調整式)を示しています。
 ※ [] 内寸法は、長束柱(調整式・埋込式)を示しています。

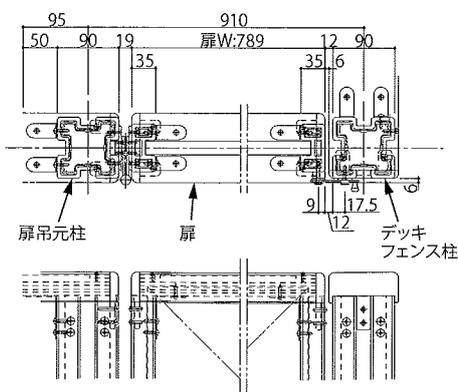
- 戸当り柱には、標準のデッキフェンス柱を使用してください。
- コーナー自在柱を戸当り柱として使用することはできません。
- 本図は一例です。その他の組合せも可能です。
- デッキフェンス扉の施工方法については、「ファインステージ・デッキフェンス扉」の施工説明書 [ME-1782] を参照してください。

●フェンス直線納まり



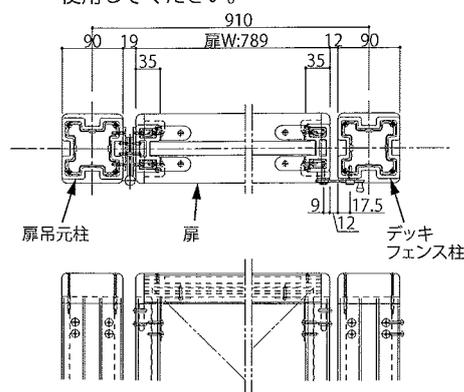
●フェンス 90° 納まり

※内掛錠は内側には取付けられません。



●単独納まり

※単独納まり用柱キャップ (オプション) を使用してください。



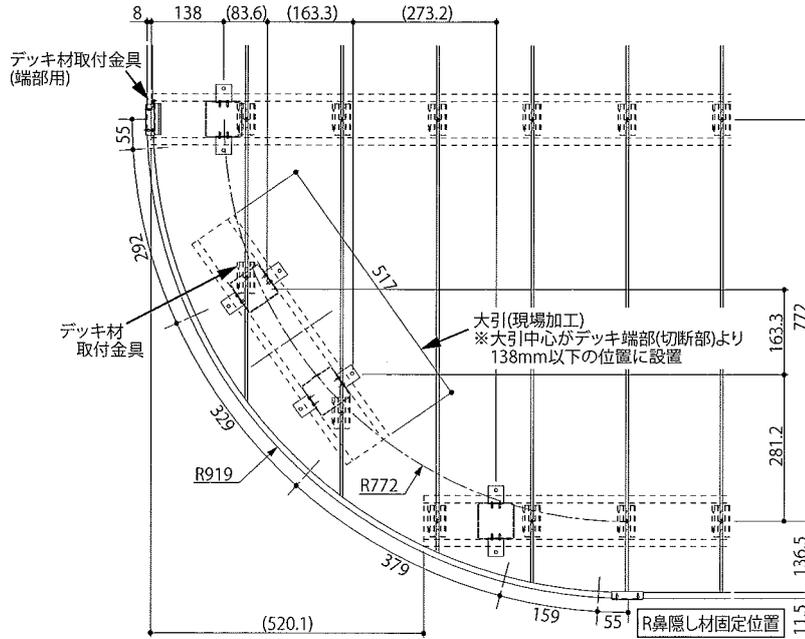
デッキ R 鼻隠し納まり

※この納まり図は、デッキたて張り、R=919 で納めた場合を示しています。



- 本図は一例です。その他の寸法も可能です。
※最小寸法：R=800
- R部の大引を現場で切断し、束柱を設置します。
※現場合わせで、デッキ端部（切断部）より 138mm 以下に大引を配置してください。
※ただし、大引がデッキ端部（切断部）に近すぎると、鼻隠し取付金具と大引が干渉します。干渉しない位置に設置してください。
- デッキ長手方向に切断する場合は、デッキ巾を 88.5mm 以上残して切断してください。
※切断位置を調整して、デッキ巾を残してください。
- R納まりが1ヶ所でもある場合、直線部・R部全てにR対応鼻隠しを使用してください。
- 施工方法については、「3-5. デッキ R 鼻隠し納まりのデッキ切断」を参照してください。

●基本納まり図

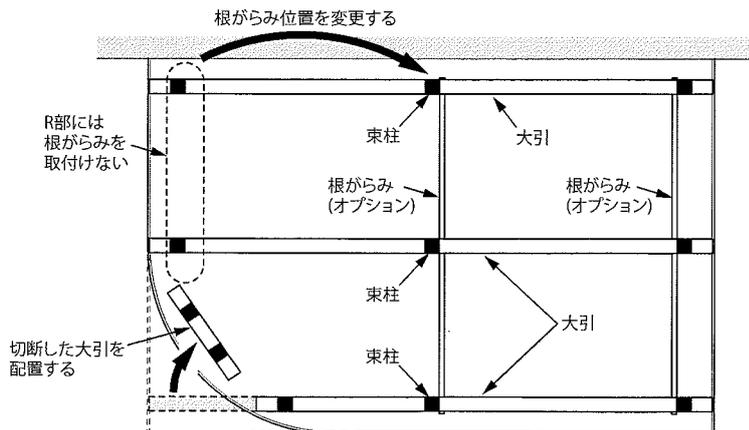


ME1778-034-8



- R部の大引は、現場加工で切断したものを使用し、斜めに配置することができます。
※R部用に大引を拾い出す必要がなくなります。
- オプションの根がらみを取付ける場合は、R部を避けデッキ端部側にできるだけ近い束柱を取付けてください。

●束柱・大引・根がらみ取付位置



ME1778-055-8

点検口納まり (オプション)



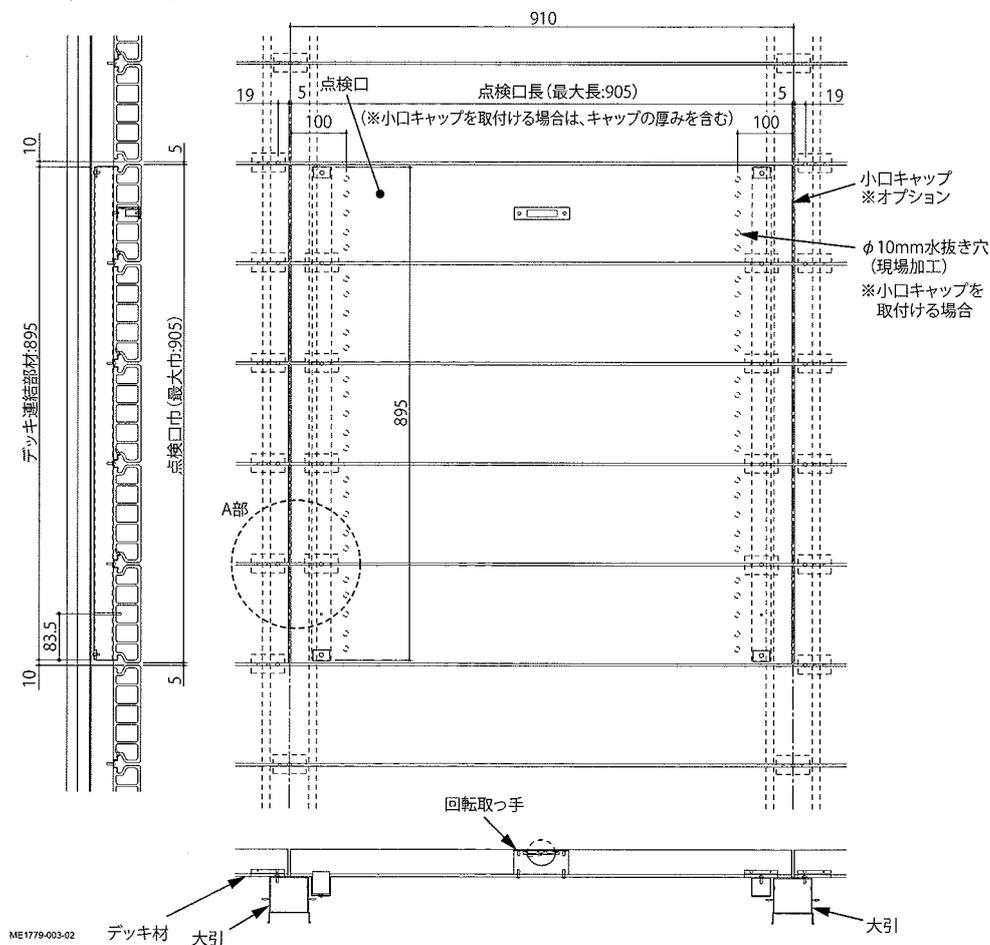
点検口の施工方法については、「ファインステージ・点検口」の施工説明書 [ME-1779] を参照してください。

※施工前に下記の事項を確認してください。



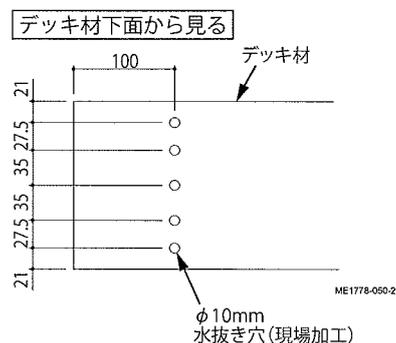
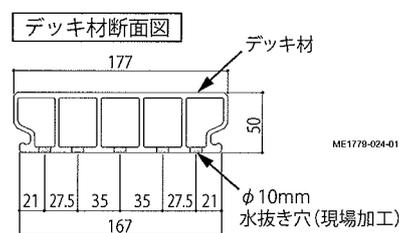
- 点検口は大引—大引間に設置してください。
- 点検口の両隣に納める本体側デッキ材の固定には、必ず2本の大引が必要になります。設置箇所によっては、大引を追加してください。
- デッキ端部の大引には設置できません。
- 点検口を設置する箇所は、デッキ材の切断が必要になります。
- 設置箇所、オプションの小口キャップの有無により切断寸法が変わります。
- 回転取っ手を取付けたデッキ材は、大引最大ピッチに合わせて切断されています。このほかの点検口用デッキ材は、デッキ本体のデッキ材を使用してください。
- オプションの小口キャップを取付ける場合は、デッキ材を 899mm に切断してください。(※小口キャップの厚み(3mm × 両側 2ヶ所)を含めて点検口長が 905mm になります。) また、水抜き穴 (φ 10mm) を現場加工してください。
- 点検口の両隣に納めるデッキ本体側にオプションの小口キャップを取付ける場合は、同様に本体のデッキ材にも水抜き穴を現場加工してください。

●基本納まり図

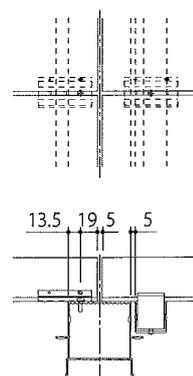


●水抜き穴寸法図

※オプションの小口キャップを取付ける場合に参照してください。



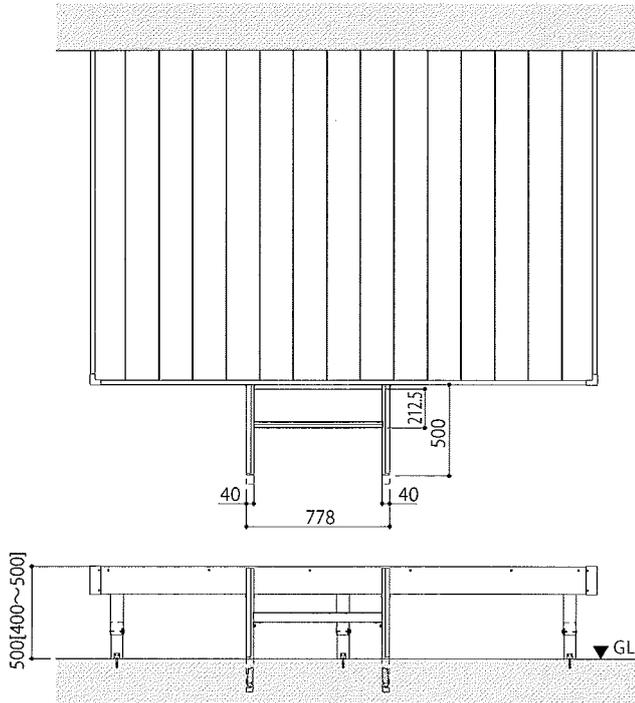
●A部詳細図



階段納まり (オプション)

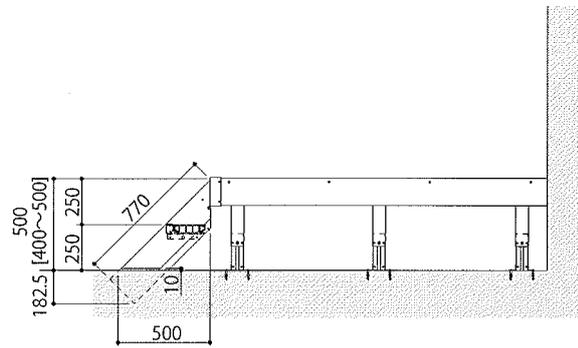
●本図は一例です。その他の組み合わせも可能です。
 ●階段の施工方法については、「ファインステージⅡ・階段」の施工説明書 [ME-2087] を参照してください。

● 1 段 [標準束柱 (調整式)]



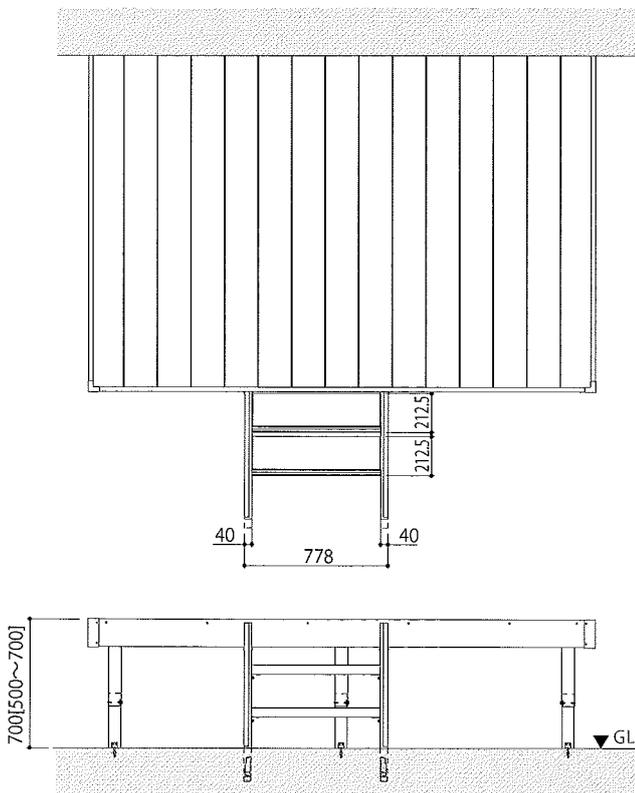
階段・1 段は、H500 までの対応となります。
 ※標準束柱 (固定式) を使用する場合は、束柱の切断が必要な場合があります。

※この納まり図は、デッキたて張り、間口 (W):1.5 間、出巾 (D):6 尺のデッキ本体に、直線用鼻隠しおよび階段を納めた場合を示しています。
 ※本図は、1 段階の最大高さ H:500 の場合を示しています。
 ※ [] 内寸法は、設置可能範囲を示しています。

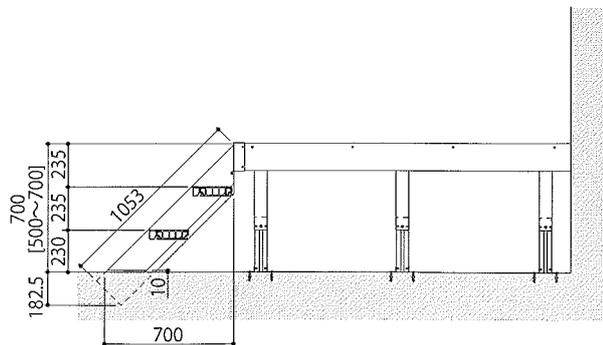


ME1776-037-8

● 2 段 [長束柱 (調整式)]



※この納まり図は、デッキたて張り、間口 (W):1.5 間、出巾 (D):6 尺のデッキ本体に、直線用鼻隠しおよび階段を納めた場合を示しています。
 ※本図は、2 段階の最大高さ H:700 の場合を示しています。
 ※ [] 内寸法は、設置可能範囲を示しています。

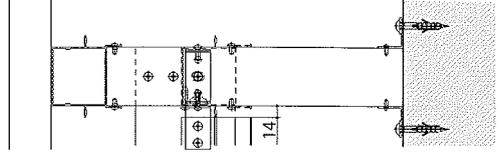


ME1776-038-8

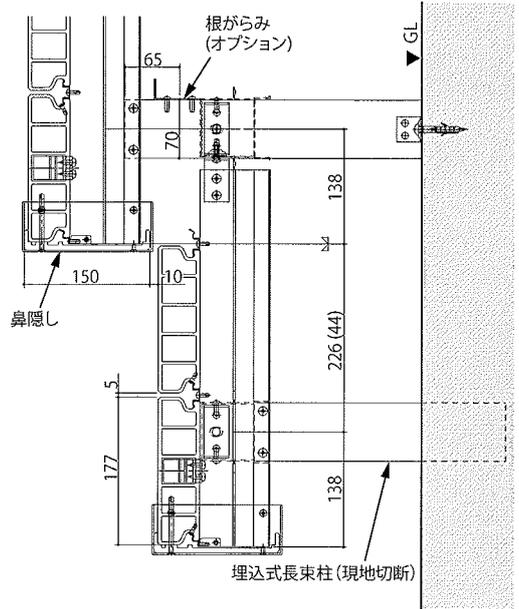
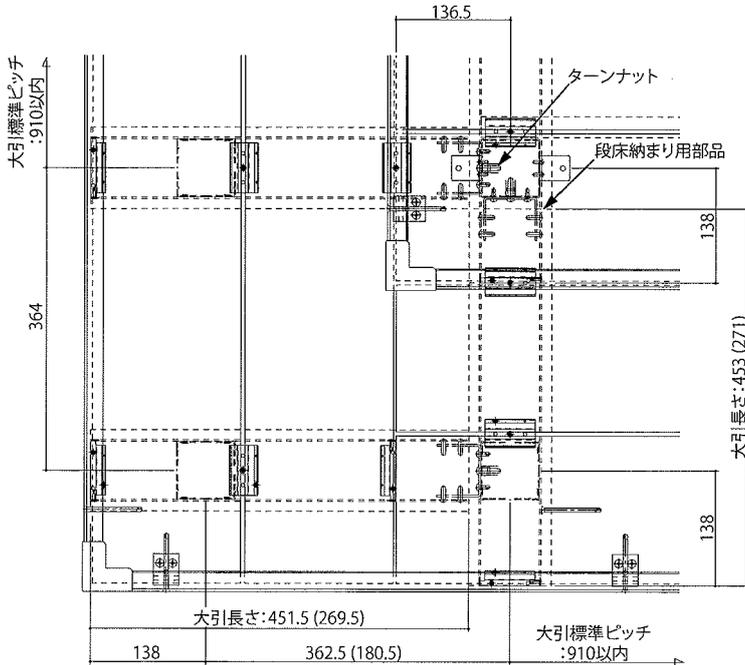
デッキ材 2 段納まり (オプション)

※この納まり図は、デッキたて張りに下段デッキを 2 枚納めた場合を示しています。
 ※ () 内寸法は、デッキ材 1 枚の場合を示しています。

- 本図は一例です。その他の組み合わせも可能です。
- 束柱ピッチ最大 364mm 以内で自由に設定することができます。
- 段床納まり用部品を使用して、下段のデッキを取付けます。
- 下段のデッキには埋込式長束柱を使用します。



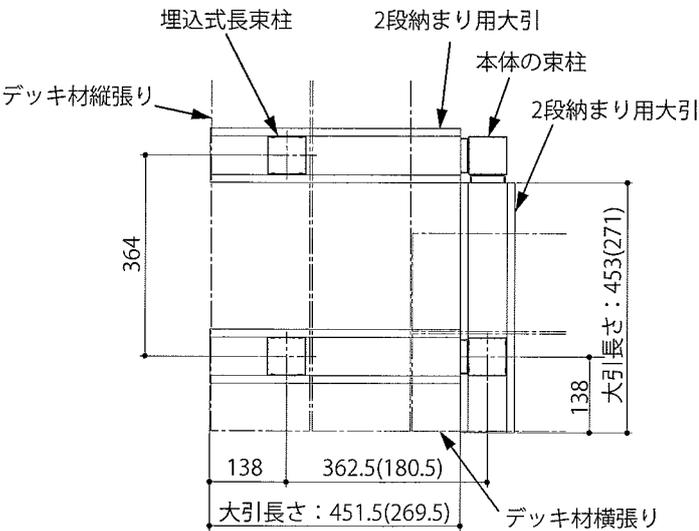
●基本納まり図



ME1778-038-8

●施工例 1

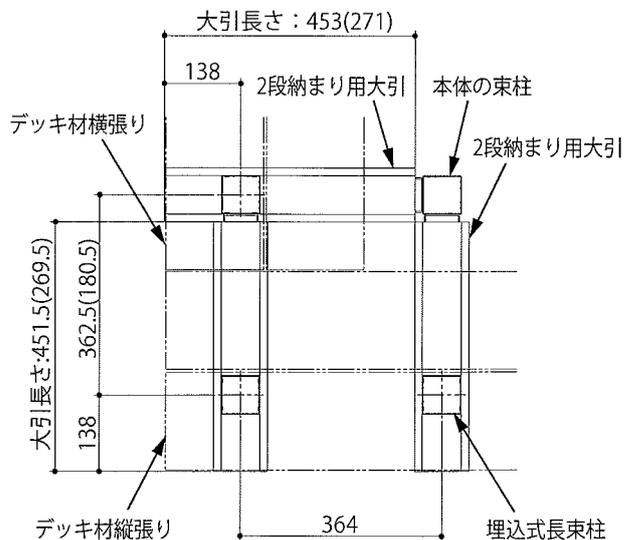
※下段デッキを 2 枚とし、デッキたて張りを巾方向に最大に納めた場合を示しています。
 ※ () 内寸法は、下段デッキ 1 枚の場合を示しています。



ME1778-040-8

●施工例 2

※下段デッキを 2 枚とし、デッキよこ張りを間口方向に最大に納めた場合を示しています。
 ※ () 内寸法は、下段デッキ 1 枚の場合を示しています。



ME1778-041-8

納まり図

テラス納まり (オプション)

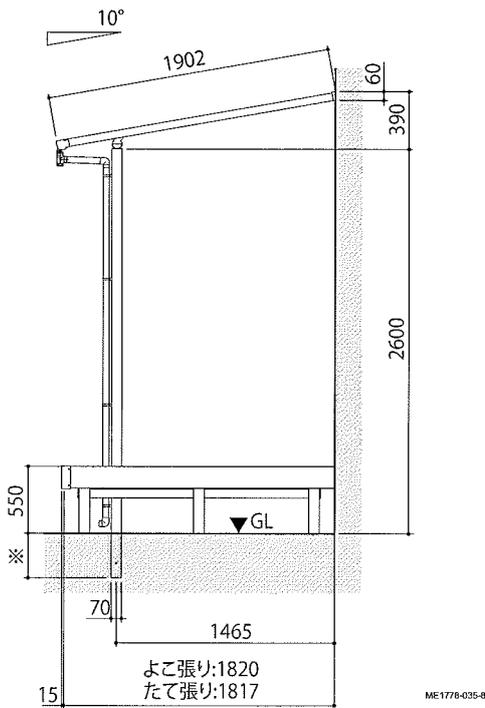
※この納まり図は、「ファインステージⅡ」に「ファインテラス標準柱」を納めた場合を示しています。

 ●本図は一例です。その他の組み合わせも可能です。
 ●施工方法については、「3-6. テラス柱部の施工」を参照してください。
 ●テラス本体の施工方法については、テラスの施工説明書を参照してください。

●施工例 1 (デッキ出巾 6 尺 + テラス出巾 6 尺)

※テラス柱埋め込み寸法については、テラスの施工説明書を参照してください。

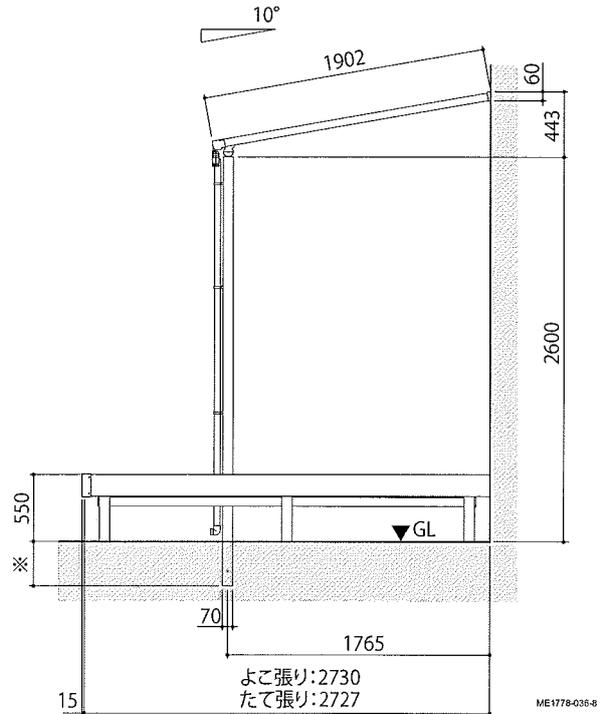
柱移動 300mm



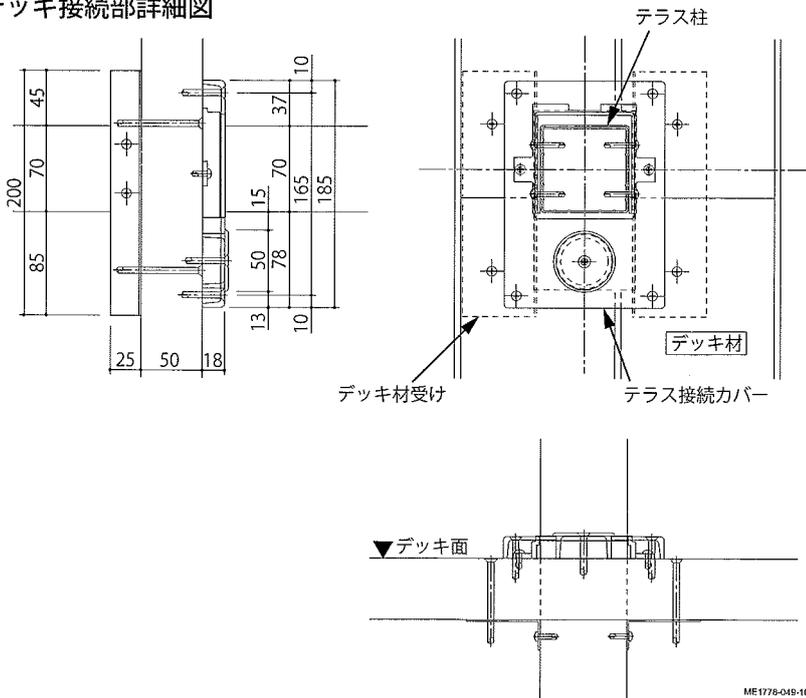
●施工例 2 (デッキ出巾 9 尺 + テラス出巾 6 尺)

※テラス柱埋め込み寸法については、テラスの施工説明書を参照してください。

柱移動なし



●デッキ接続部詳細図



束柱・大引位置図

- ここでは標準納まりの場合を示しています。
- 完成プランによって、束柱・大引位置をずらして設置する場合があります。納まり図で確認してください。

デッキたて張り

※ () 内寸法は、デッキフェンスコーナー自在柱 H1800 を設置する場合を示しています。
 ※ 7 尺デッキにデッキフェンスコーナー自在柱 H1800 を設置する場合は、大引を一本追加してください。
 (「5-3-3. コーナー自在柱 (H1800) の設置」参照)



- 大引のピッチ間隔は 910mm 以内としてください。
- コーナー自在柱を設置する場合は、12 ページの「納まり図」を参照してください。
- 点検口を設置する場合は、大引が追加になる場合があります。(※詳細は、「点検口」の施工説明書 [ME-1779] を参照)
- デッキ材を長さ方向に連結する場合は、必ず 3mm 以上のすき間を設けてください。

	間口1.0間	間口1.5間	間口2.0間
出巾3尺			
出巾6尺			
出巾7尺			
出巾9尺			
出巾12尺			

束柱・大引位置図



- 大引のピッチ間隔は 910mm 以内としてください。
- コーナー自在柱を設置する場合は、12 ページの「納まり図」を参照してください。
- 点検口を設置する場合は、大引が追加になる場合があります。(※詳細は、「点検口」の施工説明書 [ME-1779] を参照)
- デッキ材を長さ方向に連結する場合は、必ず 3mm 以上のすき間を設けてください。

※ () 内寸法は、デッキフェンスコーナー自在柱 H1800 を設置する場合を示しています。

※ 7 尺デッキにデッキフェンスコーナー自在柱 H1800 を設置する場合は、大引を一本追加してください。(「5-3-3. コーナー自在柱 (H1800) の設置」参照)

	間口2.5間	間口3.0間
出巾3尺		
出巾6尺		
出巾7尺		
出巾9尺		
出巾12尺		



- 大引のピッチ間隔は910mm以内としてください。
- コーナー自在柱を設置する場合は、12ページの「納まり図」を参照してください。
- 点検口を設置する場合は、大引が追加になる場合があります。(※詳細は、「点検口」の施工説明書 [ME-1779] を参照)
- デッキ材を長さ方向に連結する場合は、必ず3mm以上のすき間を設けてください。

※ () 内寸法は、デッキフェンスコーナー自在柱 H1800 を設置する場合は示しています。

※ 7尺デッキにデッキフェンスコーナー自在柱 H1800 を設置する場合は、大引を一本追加してください。(「5-3-3. コーナー自在柱 (H1800) の設置」参照)

	間口3.5間	間口4.0間
出寸3尺		
出寸6尺		
出寸7尺		
出寸9尺		
出寸12尺		

デッキよこ張り

※ () 内寸法は、デッキフェンスコーナー自在柱 H1800 を設置する場合を示しています。



- コーナー自在柱を設置する場合は、12 ページの「納まり図」を参照してください。
- 点検口を設置する場合は、大引が追加になる場合があります。
※詳細については、「点検口」の施工説明書 [ME-1779] を参照してください。
- デッキ材を長さ方向に連結する場合は、必ず 3mm 以上のすき間を設けてください。

	間口1.0間	間口1.5間	間口2.0間
出巾3尺			
出巾6尺			
出巾9尺			
出巾12尺			



- コーナー自在柱を設置する場合は、12ページの「納まり図」を参照してください。
- 点検口を設置する場合は、大引が追加になる場合があります。
※詳細については、「点検口」の施工説明書 [ME-1779] を参照してください。
- デッキ材を長さ方向に連結する場合は、必ず3mm以上のすき間を設けてください。

※ () 内寸法は、デッキフェンスコーナー自在柱 H1800 を設置する場合を示しています。

	間口2.5間	間口3.0間
出巾3尺		
出巾6尺		
出巾9尺		
出巾12尺		

束柱・大引位置図



- コーナ自在柱を設置する場合は、12ページの「納まり図」を参照してください。
- 点検口を設置する場合は、大引が追加になる場合があります。
※詳細については、「点検口」の施工説明書 [ME-1779] を参照してください。
- デッキ材を長さ方向に連結する場合は、必ず 3mm 以上のすき間を設けてください。

※ () 内寸法は、デッキフェンスコーナ自在柱 H1800 を設置する場合を示しています。

	間口3.5間	間口4.0間
3尺		
6尺		
9尺		
12尺		

施工前の確認

●施工についての注意事項です。必ず確認してください。

水平・垂直・直角について

- 水平・垂直・直角を、必ず正確に出して施工を行ってください。

セルフドリリングビスについて

- 本説明書では、セルフドリリングビスを直接打込む方法で説明しています。
- 先の下孔加工を行うことをお勧めします。特に樹脂材の場合、表面をきれいに仕上げることができます。
- 錆びの原因となりますので、セットビス以外を使用しないでください。

切詰め・下孔加工について

- 本説明書に切詰め寸法および下孔加工位置寸法を説明していますが、現物合わせで寸法・位置を確認してください。

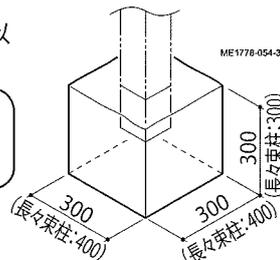
柱の埋め込みについて

- 柱を埋め込む場合は、地下埋設物（給排水管等）に影響を及ぼさないように設置位置を決めてください。
- 埋込柱については、「納まり図」を参照し、位置をあらかじめ決めておいてください。

埋込式長束柱の基礎穴について

- 埋込式長束柱を使用する場合、施工作業前に「納まり図」を参照して、柱の埋込み位置を出し、指定寸法以上の基礎穴を掘ってください。

●基礎穴寸法図



先に、基礎穴を掘っていないと、柱の取付け作業ができません。

束石について

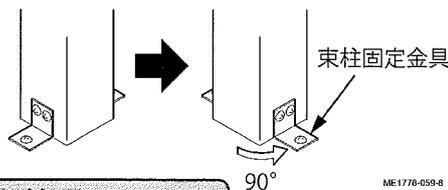
- 束石を用いて束柱を設置する場合は、束石が他の柱（コーナー自在柱 H1800 など）と干渉することがありますので注意してください。

束柱固定金具が干渉する場合



束柱固定金具が他の柱などと干渉する場合は、束柱固定金具を 90° 回転し付け替えてください。

- 束柱固定金具が干渉する場合

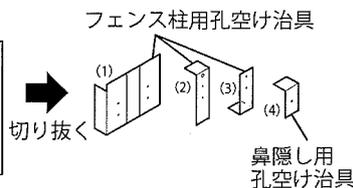
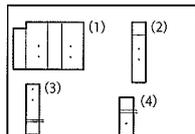


孔空け位置出し治具について

- デッキフェンス柱、鼻隠しに下孔を追加する場合は、孔空け位置出し台紙（ETC-5841）を切り抜き、孔空け用治具として使用してください。

孔空け位置出し台紙 (ETC-5841)

ME1778-050-8



デッキ材の水抜きについて

- デッキ材の小口面が躯体などでふさがれる場合は、水の停滞を防ぐため、躯体などから 10mm 以上のすき間をあけてデッキ材を取付けてください。

デッキフェンスの設置について

- デッキフェンスを設置する場合は、位置をあらかじめ決めておいてください。



- デッキフェンス柱の設置位置下には、床下補強材・床下補強アングルが必要です。
※コーナー自在柱 H1800 を除く。「2. 床下補強材の取付け」参照。
- コーナー自在柱 H1800 の場合は、大引を標準位置から 63 mm ずらしてください。
※「1-2. 大引・根がらみの取付け」参照。

オプションの設置について

- 下記のオプションについては、オプション本体に付属の施工説明書を合わせて参照してください。

オプション品名	施工説明書番号
点検口	ME-1779
階段	ME-2087
ステップデッキ	ME-1781
デッキフェンス扉	ME-1782
デッキ下パネル	ME-1783
ステップデッキ（横止め仕様）	ME-1851
高床デッキ・高強度デッキフェンス	ME-1904
高床デッキ用 踊り場・階段	ME-1890
モダンスタイル・デッキフェンス	ME-1905
デッキフェンス・ハイパーテーションベンチタイプ	ME-1889

デッキフェンス扉の設置について（オプション）

- デッキフェンス扉を設置する場合は、位置をあらかじめ決めておいてください。



扉吊元柱、戸当り柱（標準のデッキフェンス柱を使用）の設置位置下には、床下補強材・床下補強アングルが必要です。
※「2. 床下補強材の取付け」参照。



取付方法については、「デッキフェンス扉」の施工説明書 [ME-1782] を参照してください。

点検口の設置について（オプション）

- 点検口を設置する場合は、位置をあらかじめ決めておいてください。



デッキたて張り・出巾 3 尺の場合は点検口を取付けることができません。



- 点検口は、大引—大引間に設置してください。
- 点検口を設置する部分のデッキ材を先に切断しておいてください。
- 設置位置により、大引が追加になる場合があります。



取付方法については、「点検口」の施工説明書 [ME-1779] を参照してください。

1

束柱・大引の設置 根がらみ(※オプション)の設置

- 19～24ページの「束柱・大引位置図」を参照し、スパン数に応じて設置してください。
- オプションで、根がらみを取付けることができます。

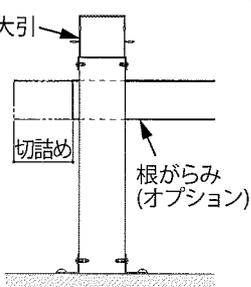


- 作業の前に、完成プランを確認してください。
- 高床デッキに踊り場を組み合わせる場合は、本章の内容は、「高床デッキ用 踊り場・階段」の施工説明書 [ME-1890] の手順で施工してください。

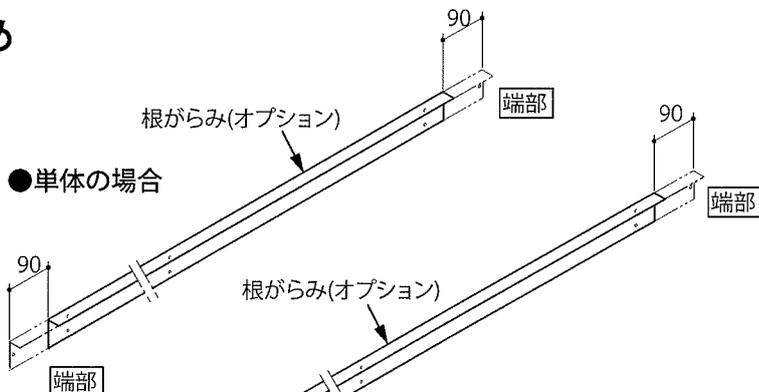
1-1 根がらみ(※オプション)の切詰め

①右図を参照して、根がらみの端部側を切詰めてください。

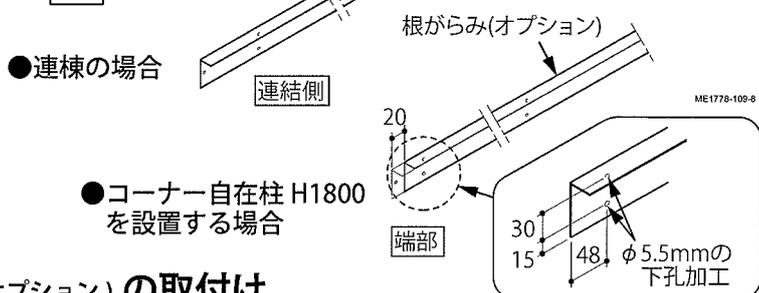
必ず、根がらみを切詰めてください。
※ケガや事故の原因になります。



●単体の場合



●連棟の場合



●コーナー自在柱 H1800 を設置する場合



連棟の場合、根がらみの連結側は切詰めないでください。

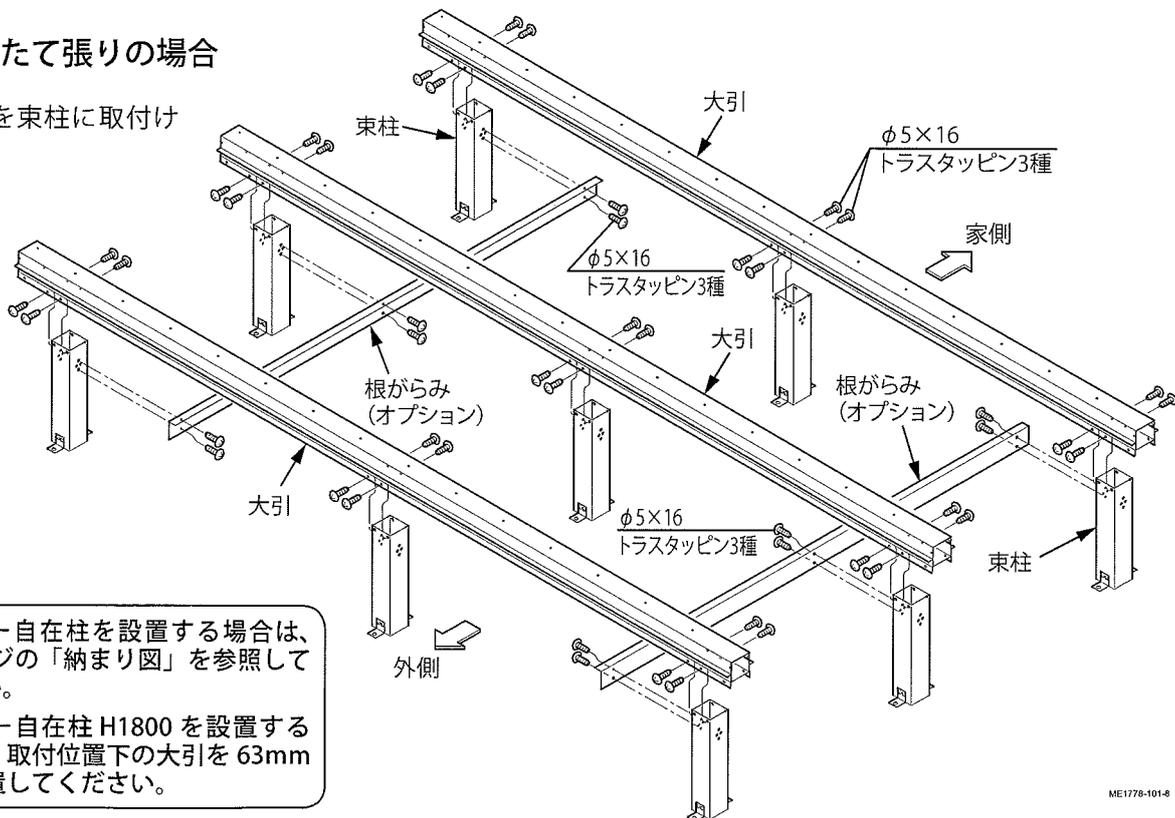
1-2 大引の取付け・根がらみ(※オプション)の取付け



デッキR鼻隠し納まりの場合は、14ページの「納まり図」および「3-5. デッキR鼻隠し納まりのデッキ切断」を参照して、大引を設置してください。

1-2-1 デッキたて張りの場合

①大引・根がらみを束柱に取付けてください。

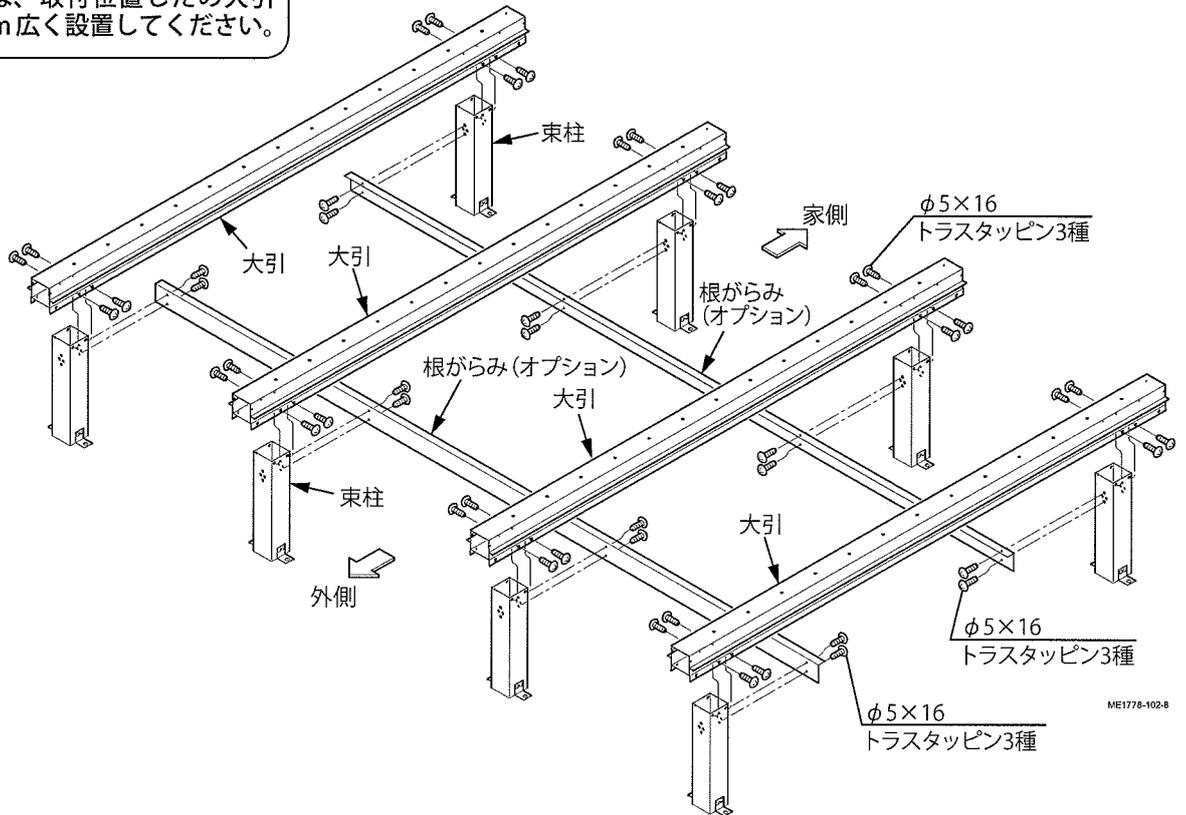


- コーナー自在柱を設置する場合は、12ページの「納まり図」を参照してください。
- コーナー自在柱 H1800 を設置する場合は、取付位置下の大引を 63mm 広く設置してください。

1-2-2 デッキよこ張りの場合

①大引・根がらみを束柱に取付けてください。

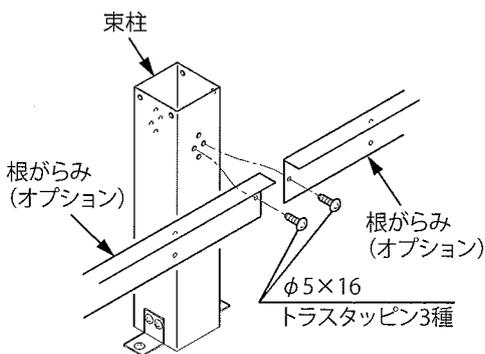
- コーナー自在柱を設置する場合は、12ページの「納まり図」を参照してください。
- コーナー自在柱 H1800 を設置する場合は、取付位置したの大引を63mm広く設置してください。



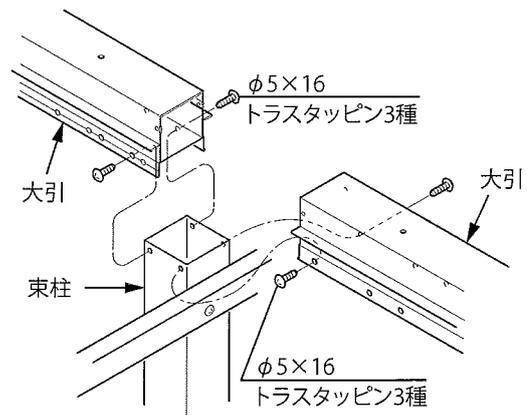
1-2-3 大引の連結・根がらみ (※オプション) の連結

①大引・根がらみを連結する場合は、大引の中心で連結してください。

●根がらみ連結部の取付け



●大引連結部の取付け

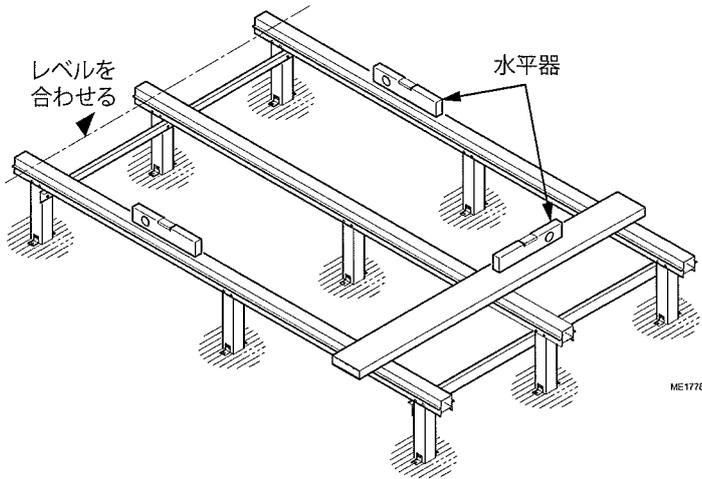


1-3 束柱の設置

1-3-1 固定式束柱・調整式束柱の設置

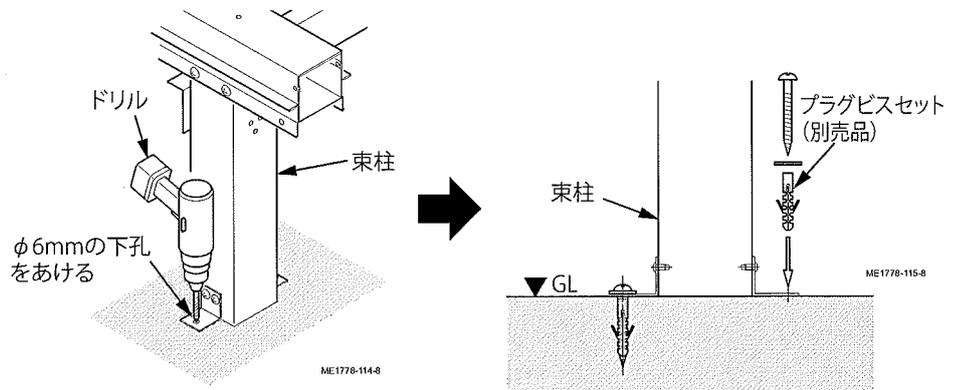
! 柱の高さ、位置レベルを正確に合わせてください。
 ※レベルが合っていないと、デッキの取付不良の原因となります。

☞ 束石を設置する場合は、□200mm以上の束石を使用してください。



ME1778-113-8

- ①土間の上にφ6mmの孔を2ヶ所あけてください。
- ②プラグビスセット（別売品）で、束柱を固定してください。



ME1778-114-8

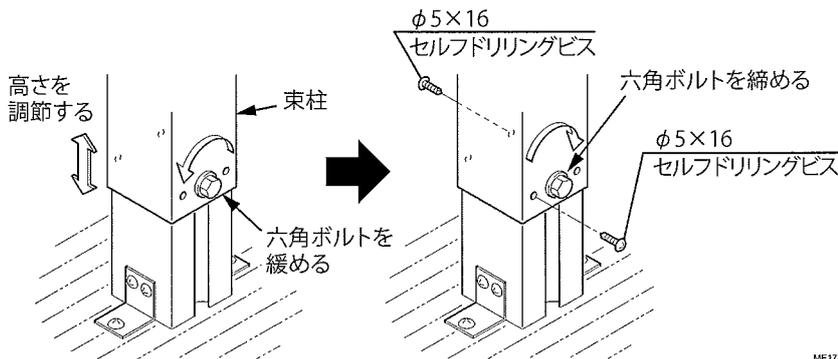
ME1778-115-8

●調整式束柱の調整方法

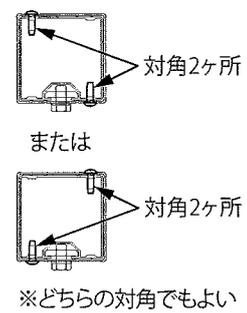
※必要に応じて六角ボルトを緩め、高さを調整してください。
 ※高さ調整後、六角ボルトを締め、セルフドリリングビスで対角2ヶ所を固定してください。

☞ ●高さ調整範囲
 標準束柱：GLからデッキ面まで400～500mm
 長束柱：GLからデッキ面まで500～700mm

! 調整後、各ボルト、ビスを確実に締付けてください。



ME1738-108



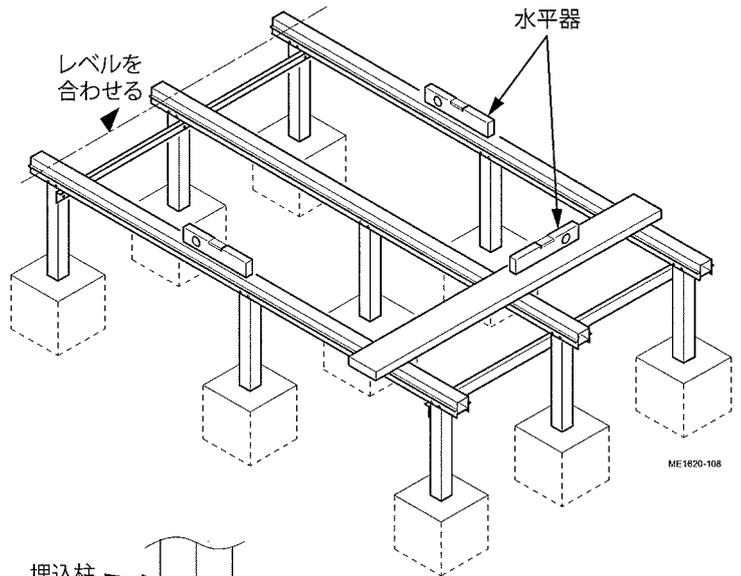
ME1620-115-1

1-3-2 埋込式長束柱の設置

- 柱は 100mm 以上埋め込み、基礎寸法は 300mm 以上としてください。
 - 柱の高さ、位置レベルを正確に合わせてください。
- ※レベルが合っていないと、デッキの取付不良の原因となります。



- 高床デッキの場合
 - ・長尺の長々束柱を使用してください。
 - ・束柱に筋交いを取付けてください。
- ※取付方法については、「高床デッキ・高強度デッキフェンス」の施工説明書 [ME-1904] を参照してください。

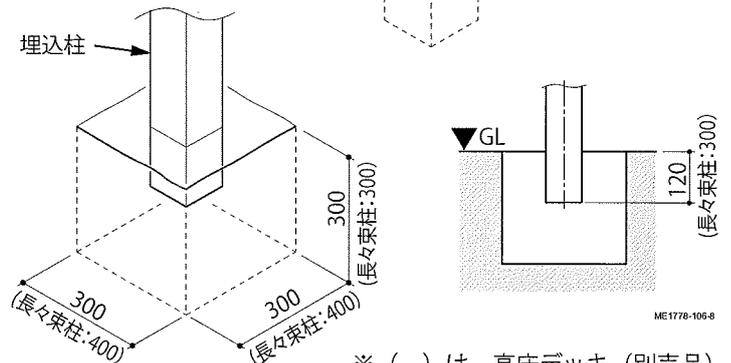


① 19～24 ページの「束柱・大引位置図」を参照し、束柱の設置位置を確認してください。



地下埋設物（給水配管等）に影響を及ぼさないように柱位置をきめてください。

②束柱を GL 面に埋め込んでください。



※（ ）は、高床デッキ（別売品）で使用する長々束柱の場合を示しています。

1-4 テラス柱の設置（※オプション）



テラス納まりの場合に作業を行ってください。

① 18 ページの「納まり図」を参照して、テラス柱の設置位置・寸法を確認してください。

②テラス柱を埋め込んでください。

③デッキ材受けをテラス柱に取付けてください。



テラス柱をコンクリートで確実に固定してください。



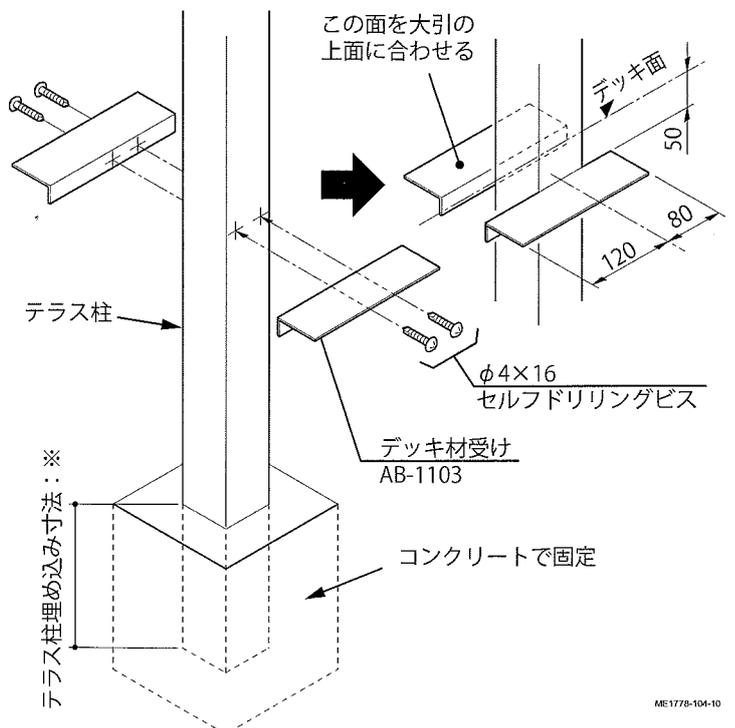
テラス柱埋め込み寸法については、テラスの施工説明書を参照してください。



デッキ材の取付けは、45 ページの「3-6. テラス柱部の施工」を参照してください。



テラス本体の施工方法については、テラスの施工説明書を参照してください。



※テラス柱埋め込み寸法については、テラスの施工説明書を参照してください。

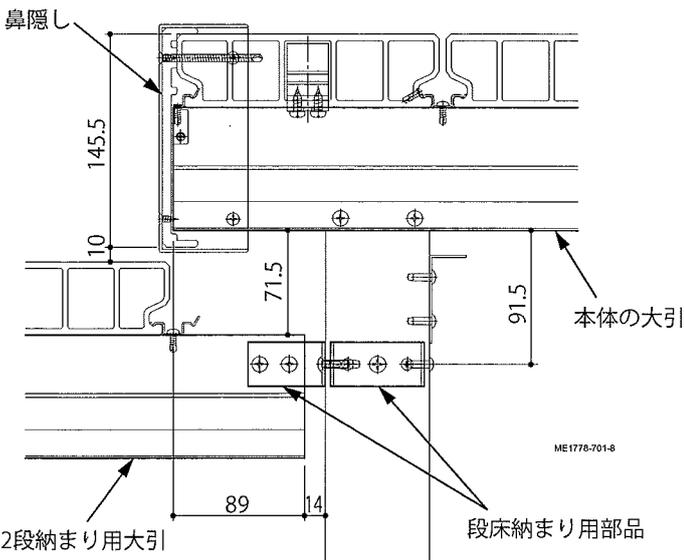
1-5 デッキ材2段納まりの場合 (※オプション)

 ここでは、17ページの納まり図のプランを施工例として説明しています。
※下段はデッキ材2枚納まりになります。

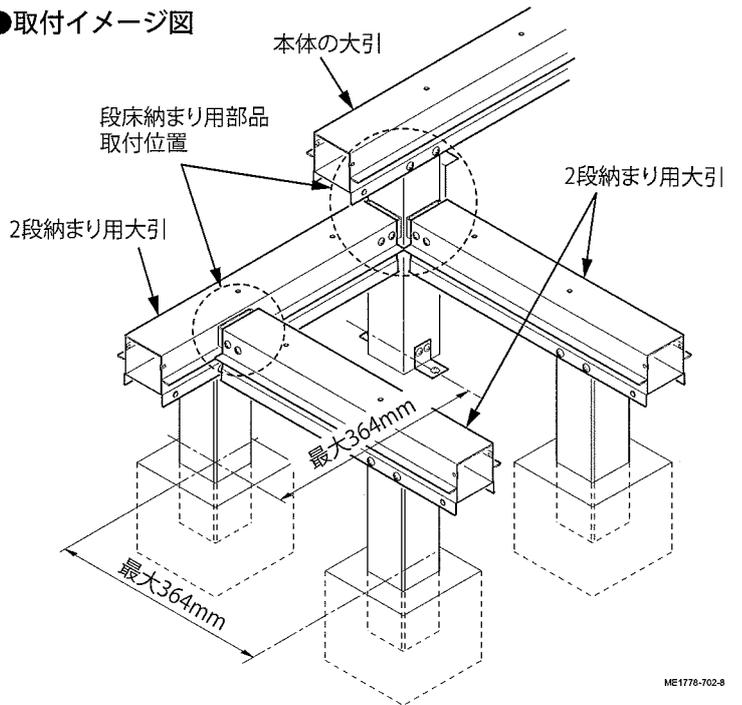
 束柱ピッチ最大364mm以内で自由に設定することができます。

 デッキ材の取付けは、46ページの「3-7. デッキ材2段納まりの場合」を参照してください。

●取付部側面図



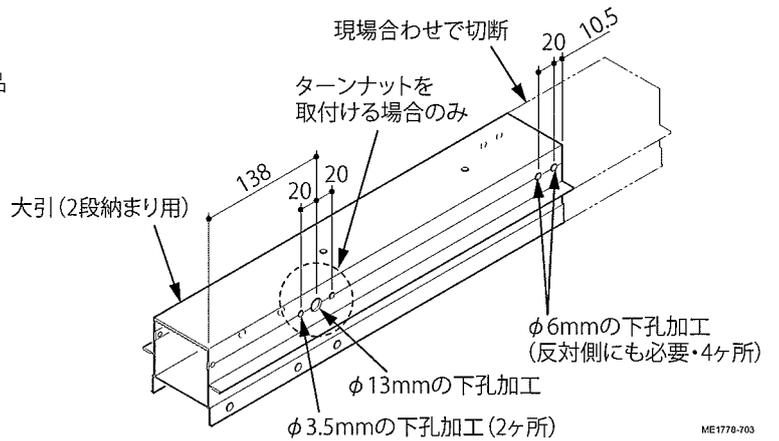
●取付イメージ図



1-5-1 大引 (2段納まり用) の切詰め

- ① 17ページの「納まり図」で設置寸法を確認してください。
- ② 大引を必要な長さに切詰めてください。

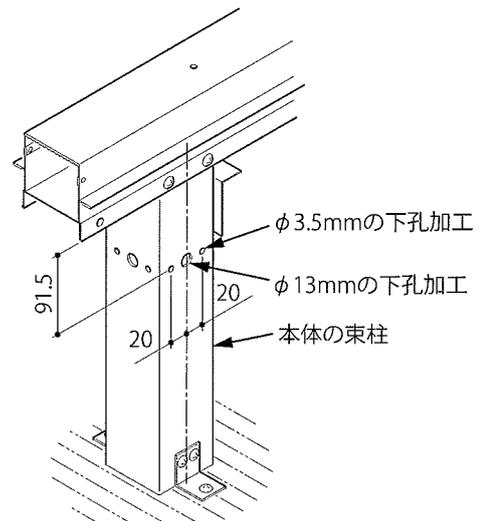
 現物合わせで切詰め長さを決めてください。



1-5-2 束柱・大引の設置

- ① 17ページの「納まり図」で設置位置・寸法を確認してください。
- ② 右図を参照して、本体の束柱に下孔加工を行ってください。

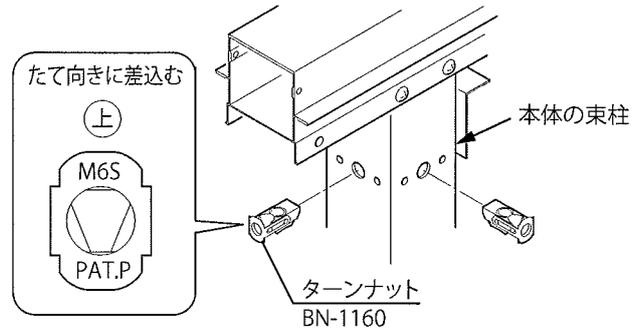
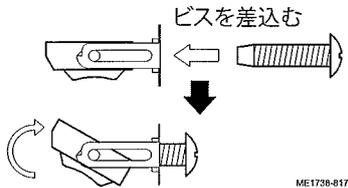
 必要に応じて、本体側の束柱の本数を増やしてください。
・大引ピッチ：910mm



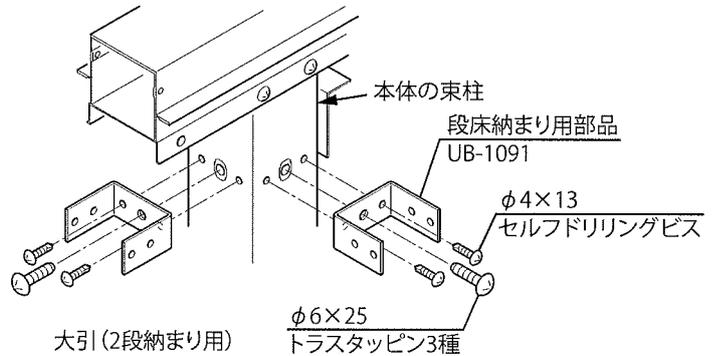
③ターンナットを本体の束柱に差し込んでください。

●ターンナットの取付方法

※ボルトを差し込むことにより、束柱内部でナット部が回転します。



④段床納まり用部品を取付けてください。



⑤図を参照して、埋込式長束柱・大引を設置してください。

●下段には埋込式長束柱を使用します。

●本体の束柱より 155.5 mm 以上低くなるよう、現物合わせで切詰めてください。

●埋め込み寸法 = 100mm 以上

ME1778-711-B

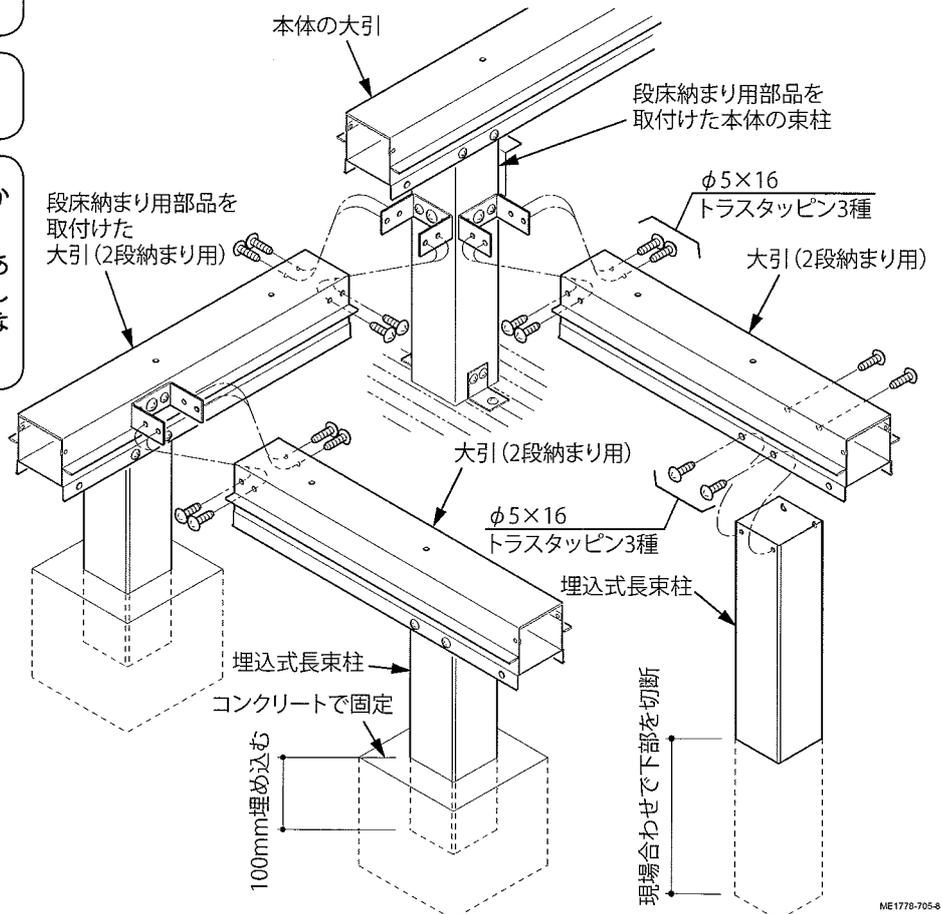
埋込式長束柱をコンクリートで確実に固定してください。

ME1778-711-B

●埋込式長束柱は、必ず下側から切詰めてください。

●埋込式長束柱の上側には、あらかじめバーリング加工がしてあります。上側を切詰めないように注意してください。

ME1778-705-B



2

床下補強材の取付け

●床下補強材および床下補強アングルは、ベースプレートをビス止める下地となります。



- 作業の前に、完成プランを確認してください。
- デッキフェンス、デッキフェンス扉（オプション）を取付ける場合に、作業を行ってください。（デッキフェンス扉の施工については、「デッキフェンス扉」の施工説明書 [ME-1782] を参照してください。）
- 高床デッキに踊り場を取付ける場合は、本章の内容は、「高床デッキ用 踊り場・階段」の施工説明書 [ME-1890] の手順で施工してください。
- 「デッキフェンス・ハイパーテーションベンチタイプ（オプション）」を取付ける場合は、本章の内容は、「デッキフェンス・ハイパーテーションベンチタイプ」の施工説明書 [ME-1889] の手順で施工してください。
- デッキフェンスを施工しない場合は作業不要です。（34 ページの「3. デッキ材の取付け」へ進んでください。）

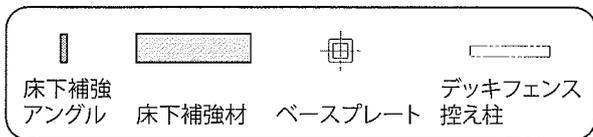
2-1 床下補強材・床下補強アングル取付け例

①下図の例で、床下補強材および床下補強アングルの取付位置を確認してください。

●床下補強材、床下補強アングル取付位置例

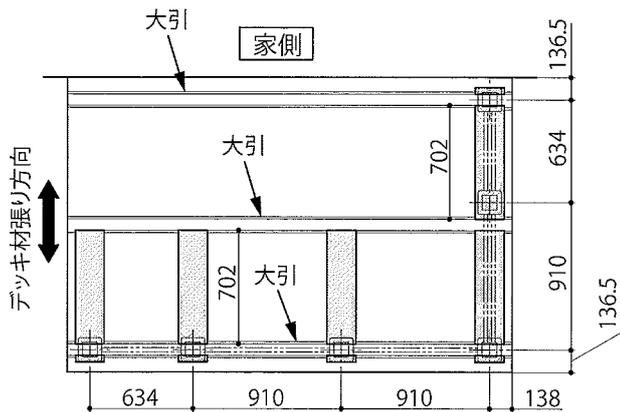


コーナー自在柱を設置する場合は、12 ページの「納まり図」を参照してください。

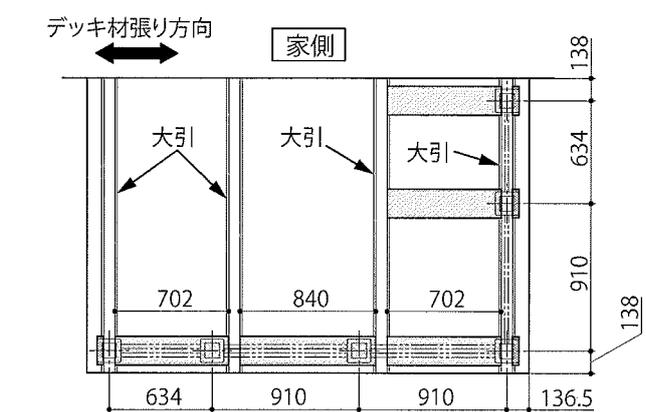


※下図は、間口1.5間、出巾6尺の本体に、パネル巾W:910+634の組合せをL字型に納めた場合を示しています。
 ※パネル巾W:1200を使用する場合は、9ページの納まり図を参照し、設置寸法を確認してください。

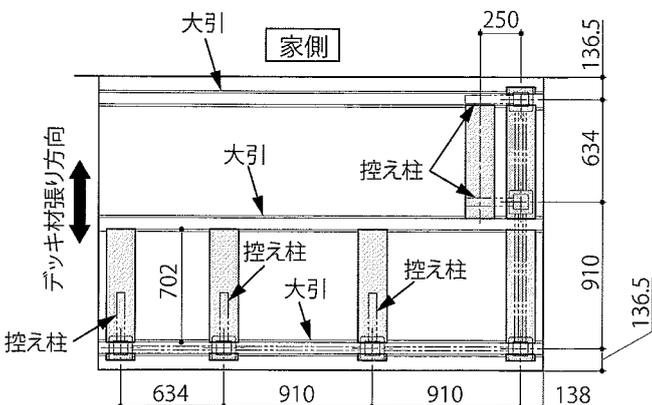
H800/1000 デッキたて張り



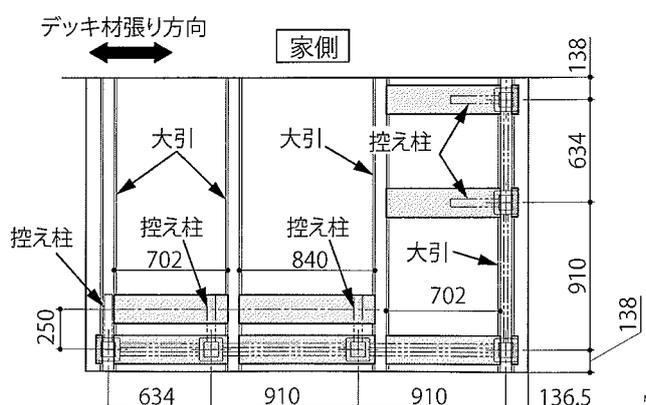
H800/1000 デッキよこ張り



H1800 デッキたて張り



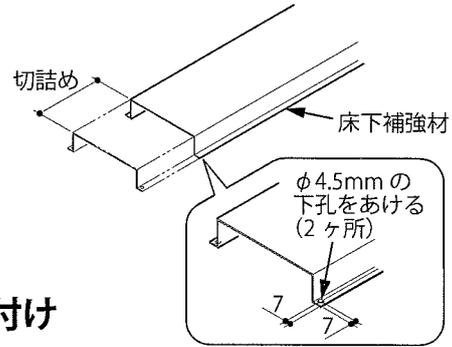
H1800 デッキよこ張り



ME1778-005

2-2 床下補強材の切詰め

- ①大引間の寸法に応じて、床下補強材を切詰めてください。
- ②φ4.5mmの下孔を2ヶ所あけてください。



2-3 床下補強材・床下補強アングルの取付け



床下補強材・床下補強アングルは、ベースプレート取付位置下の大引に取付けてください。

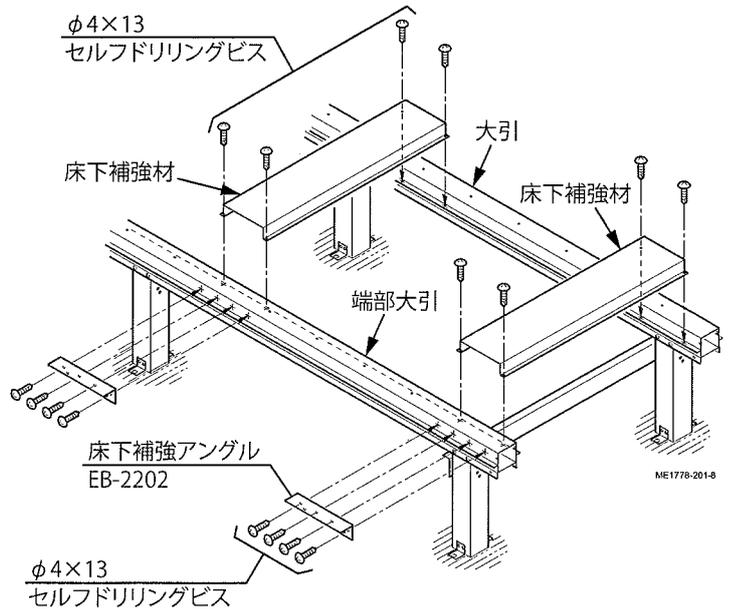
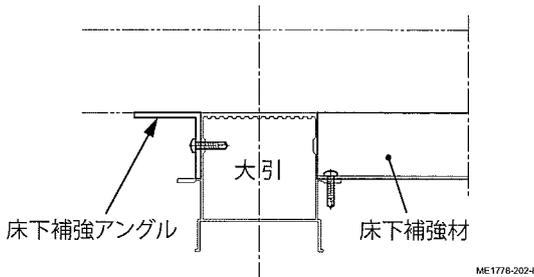


コーナー自在柱を設置する場合は、12ページの「納まり図」を参照してください。

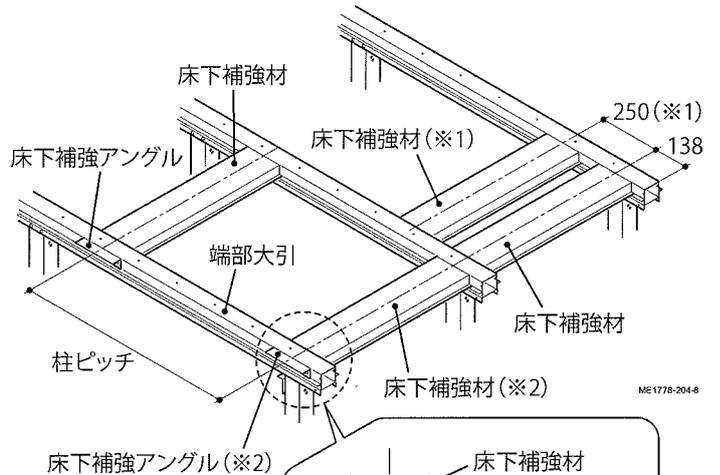


- H1800の場合、控え柱取付位置下の大引間にも床下補強材を取付けてください。
- コーナー自在柱 H1800の場合、自在柱取付位置下に床下補強材は必要ありません。

- ①前ページの取付例、および「納まり図」を参照して、床下補強材と床下補強アングルを大引に取付けてください。

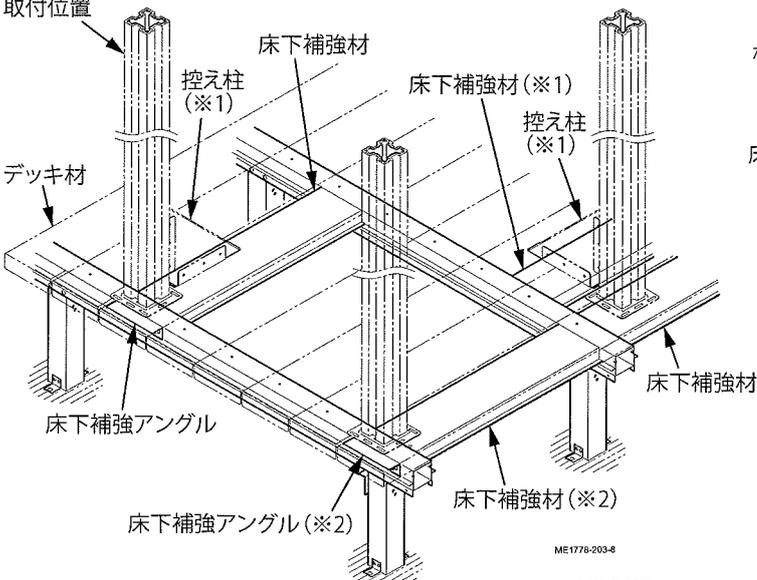


- (※1) H1800のみ
- (※2) コーナー自在柱 H1800では不要



- 取付イメージ図 (※1) H1800のみ
- (※2) コーナー自在柱 H1800では不要

デッキフェンス柱、扉吊元柱
取付位置



3

デッキ材の取付け

●点検口を設置する場合は、点検口位置のデッキ材を切断した状態でデッキ材を取付けてください。

※「点検口」の施工説明書 [ME-1779] を参照してください。

3-1

施工前の確認

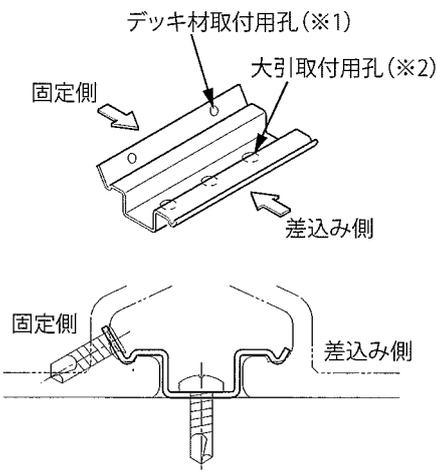
- デッキ材を取付ける前に、完成プランを確認してください。
- デッキ材の小口面が躯体などでふさがれる場合は、水の停滞を防ぐため 10mm 以上のすき間をあけてください。
※ 10mm 以上あけないで施工すると、デッキ材の凍結破損などの原因になります。「3-1-5. デッキ材の水抜きについて」を参照してください。
- デッキフェンス、デッキフェンス扉（オプション）を取付ける場合は、デッキ材の取付前に床下補強材を取付けてください。
※床下補強材の取付けについては、32 ページの「2. 床下補強材の取付け」を参照してください。
※デッキフェンス扉の施工については、「デッキフェンス扉」の施工説明書 [ME-1782] を参照してください。
- !**点検口を設置する場合は、点検口位置のデッキ材を切断した状態で、デッキ材を取付けてください。
※詳細については、「点検口」の施工説明書 [ME-1779] を参照してください。
- 高床デッキに踊り場を取付ける場合は、踊り場部のデッキ材は、「高床デッキ用 踊り場・階段」の施工説明書 [ME-1890] の手順で取付けてください。
- オプションを設置する場合は、あらかじめ施工手順を確認してから行ってください。
※オプションの施工については、45～46 ページの「3-6」・「3-7」を参照してください。
- デッキ材を縦引く場合は、決められた条件・手順に従ってください。
※詳細については、41 ページの「3-3-3. デッキ材を縦引く場合の施工手順」を参照してください。

3-1-1 デッキ材取付金具について



- デッキ材の取付けには、デッキ材取付金具を使用します。
- デッキ材取付金具には、固定側と差込み側があります。

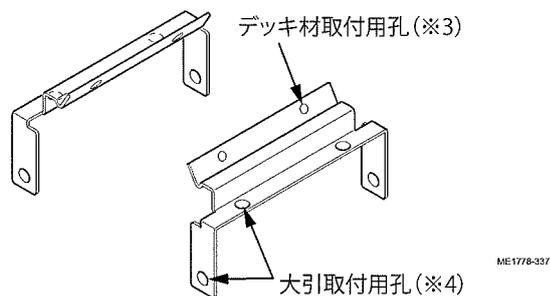
●デッキ材取付金具



※ 1：デッキ材取付用孔
どちらか一方の取付孔を使用する。

※ 2：大引取付用孔
標準では中央の取付孔を使用する。
デッキ材連結や点検口納まりの場合は、両側の取付孔を使用する。

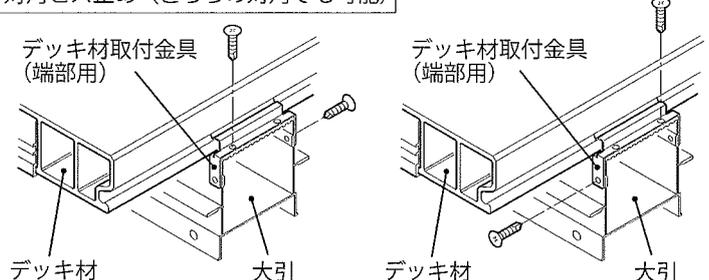
●デッキ材取付金具（端部用）



※ 3：デッキ材取付用孔
どちらか一方の取付孔を使用する。

※ 4：大引取付用孔
側面 1 ヶ所・上面 1 ヶ所の対角の取付孔を使用する。
側面にビス止めできない場合は、上面 2 ヶ所でも可能。

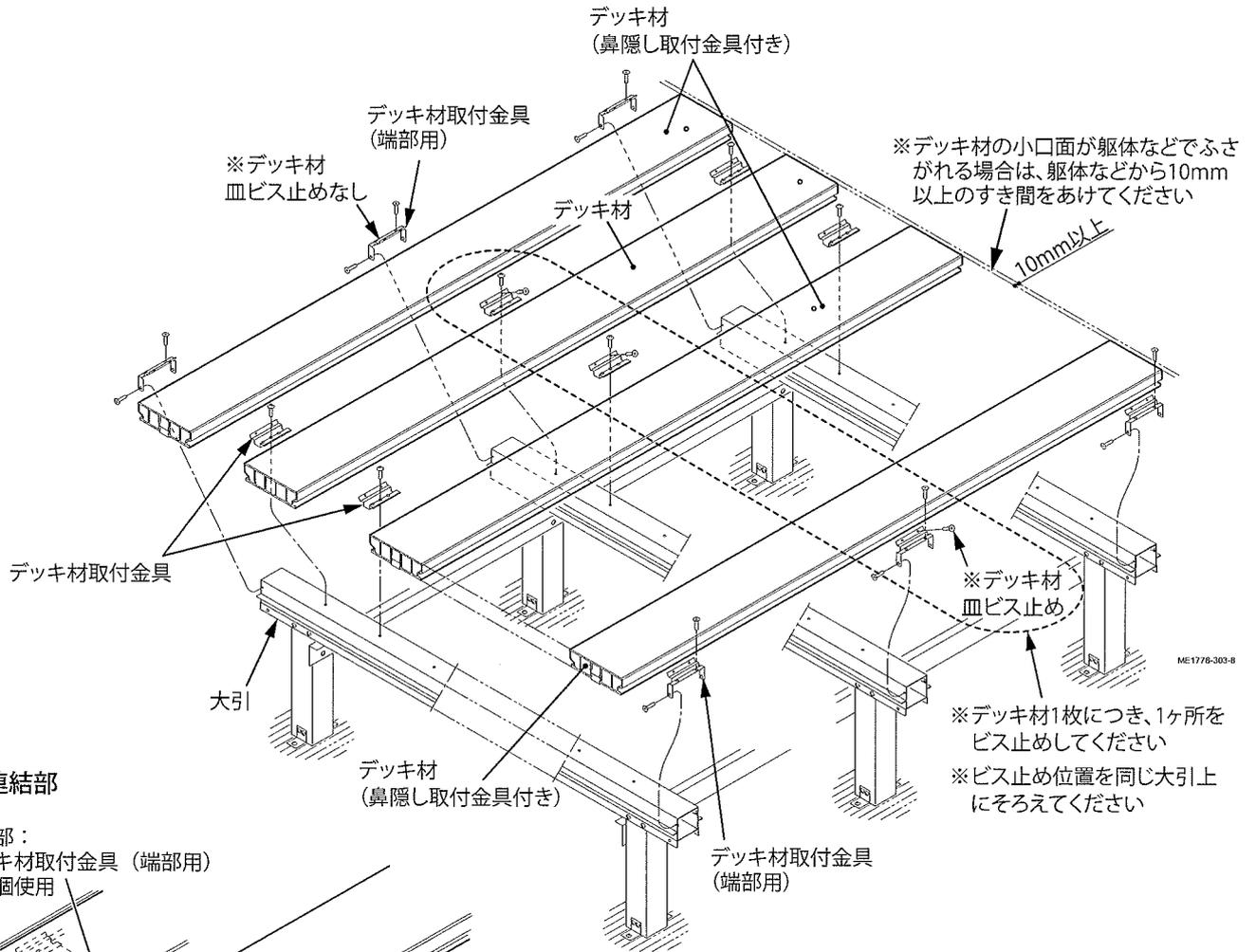
対角ビス止め（どちらの対角でも可能）



3-1-2 取付イメージ図

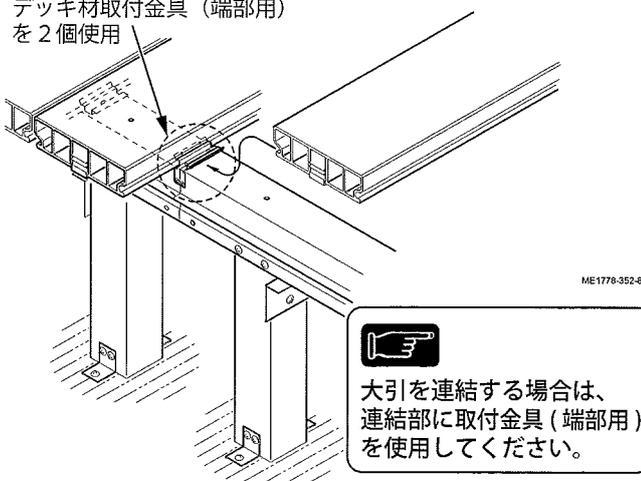


- デッキ材取付金具とデッキ材を、デッキ1枚につき1ヶ所、皿ビスで固定してください。
- 端部用取付金具については、最後に取付ける側の端部に、デッキ材へのビス止めを行ってください。
- デッキ材取付金具を大引の取付孔に合わせて取付けてください。
※デッキ材すぎ間寸法を5mmで納めることができます。



●大引連結部

連結部：
デッキ材取付金具（端部用）
を2個使用



大引を連結する場合は、
連結部に取付金具（端部用）
を使用してください。

3-1-3 デッキ材の切詰めについて



- 出巾や間巾巾により、デッキ材を切断する場合があります。
- 「納まり図」で必要な長さを確認し、デッキ材を切断してください。

3-1-4 デッキ材の色について



- 本商品は、100%リサイクル素材（再生木）を使用しているため、色調限度範囲内での色のばらつきがあります。
- 施工時は、デッキ材の色を全体に分散させて取付けてください。

デッキ材の取付け

3-1-5 デッキ材の水抜きについて

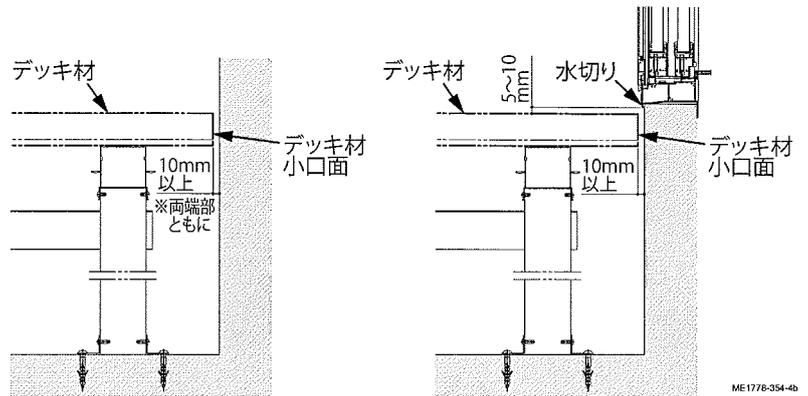
●デッキ材の小口面が躯体などでふさがれる場合は、水の停滞を防ぐため、必ず10mm以上のすき間をあけてデッキ材を取付けてください。

●シーリング材などでデッキ材の小口面をふさがらないでください。

●両端部ともふさがれる場合には、両端部ともに10mm以上のすき間をあけてください。

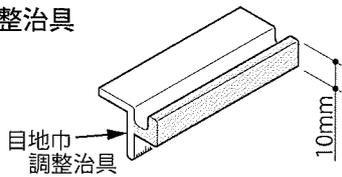
●サッシの納まりの場合は、水切りとの間に5~10mmのすき間をあけてデッキ材を取付けてください。

●サッシの納まりの場合



すき間の調整には、目地巾調整治具を使用してください。

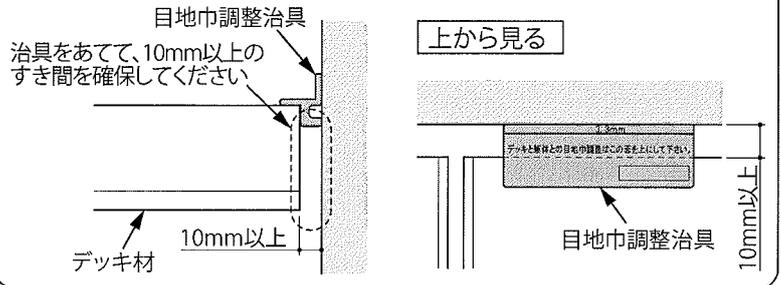
●目地巾調整治具



ME1778-357-6

! 治具方向に注意してください。
※部位により調整寸法が異なります。

●調整方法



ME1778-359-6

3-2 鼻隠し取付金具の取付け

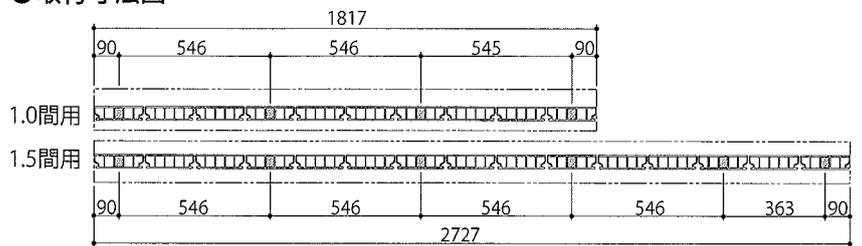
※デッキ材を大引に取付ける前に、作業を行ってください。

3-2-1 鼻隠し取付金具の取付位置

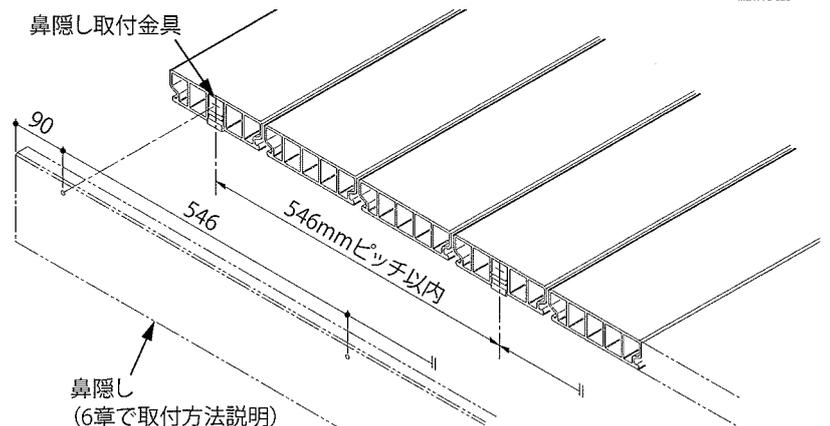
●鼻隠し取付金具は、デッキ材の小口面に、デッキ材2枚おきに取り付けます。

●取付ピッチ：546mm以内

●取付寸法図



ME1778-328



鼻隠し
(6章で取付方法説明)

ME1778-304-2

3-2-2 鼻隠し取付金具の取付け



デッキR鼻隠し納まりの場合は、後の「3-5. デッキR鼻隠し納まりのデッキ切断」で、鼻隠し取付金具を取付けてください。

※ただし、R鼻隠しが直線部となる場合は、ここで取付けることができます。

※鼻隠しの取付けの詳細については、「6. 鼻隠しの取付け」を参照してください。

①鼻隠し取付金具を取付けるデッキ材の底面に、 ϕ 4.5mmの下孔を2ヶ所あけてください。

②鼻隠し取付金具をデッキ材に取付けてください。

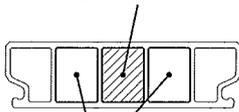


ビスを締付け過ぎないようにしてください。

※締付け過ぎると、取付孔の破損および緩みの原因になります。

●デッキ材断面

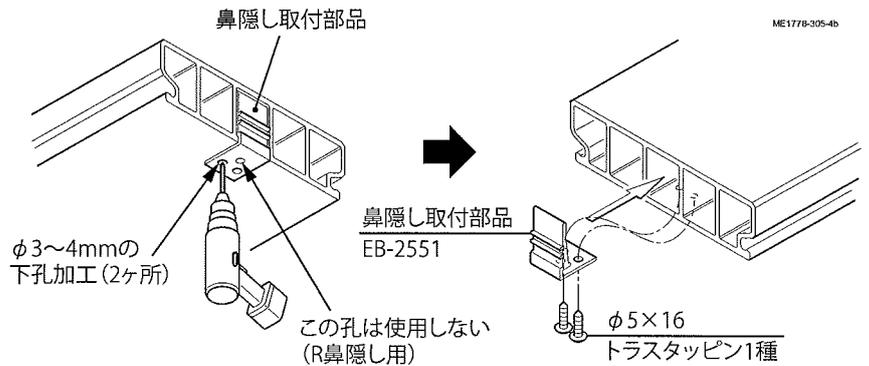
標準取付位置



この位置でも取付け可能

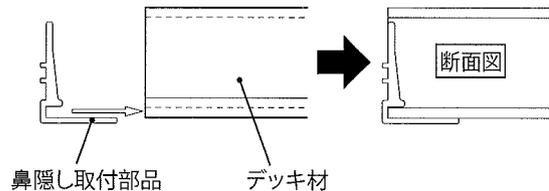
ME1778-328

●デッキ材底面から見る



ME1778-305-4b

●デッキ材側面から見る



ME1778-344-2

3-3 デッキ材の取付け

3-3-1 デッキ材取付位置の確認

①「納まり図」および「束柱・大引設置図」を参照して、デッキ材の取付位置を確認してください。

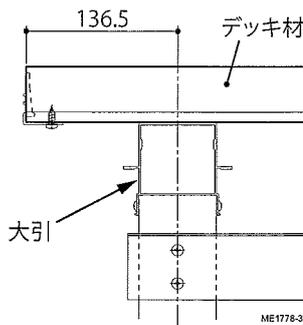


デッキ材の小口側を下記の寸法に配置してください。

●標準： 大引中心から 136.5mm

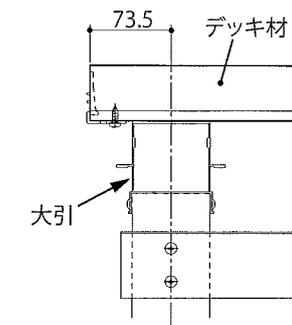
●デッキフェンスコーナー自在柱 (H1800) を設置する場合：
大引中心から 73.5mm

●標準



ME1778-305-2

●デッキフェンスコーナー自在柱 (H1800) を設置する場合



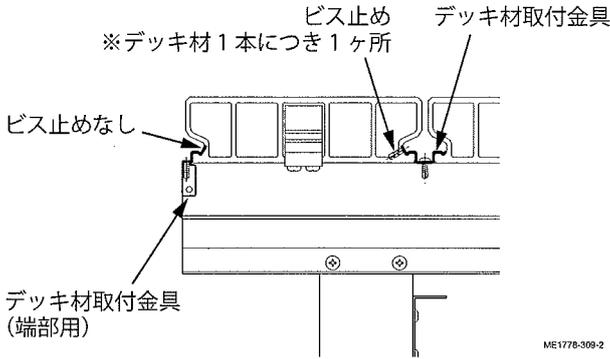
ME1778-307-2

デッキ材の取付け

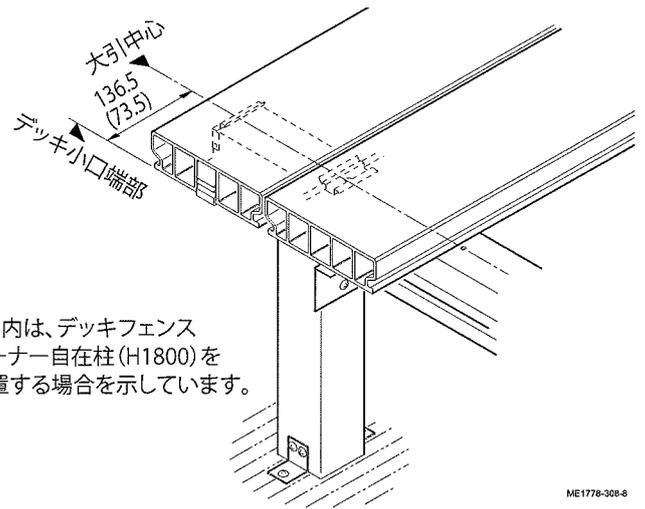
3-3-2 デッキ材の取付け

- ①デッキ材を大引端部に置いてください。
- ②デッキ材取付金具（端部用）を大引に取付け、デッキ材を固定してください。

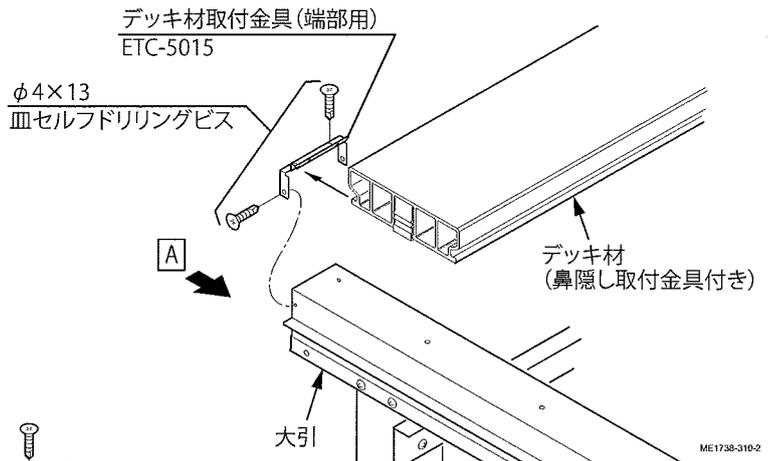
●取付詳細図



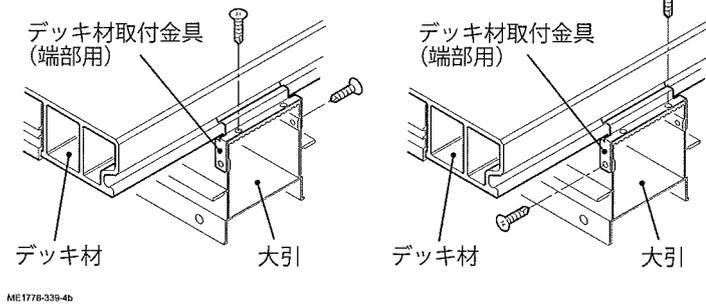
●取付位置



- デッキ材取付金具（端部用）は、「側面」→「上面」の順にビス止めしてください。
- 側面1ヶ所・上面1ヶ所を対角にビス止めしてください。
※どちらの対角でも可能です。状況に応じてビス止めしてください。
※ただし、大引の側面にビス止めできない場合は、上面2ヶ所にビス止めでも可能です。



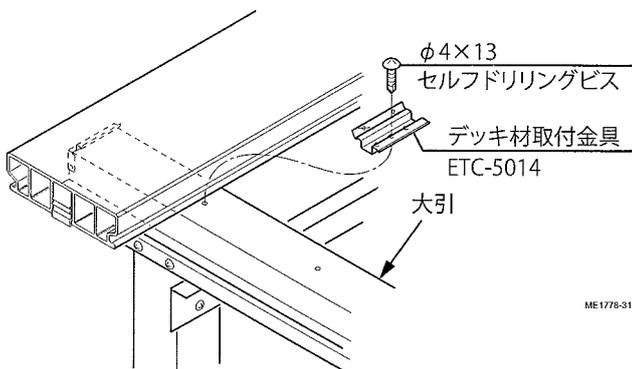
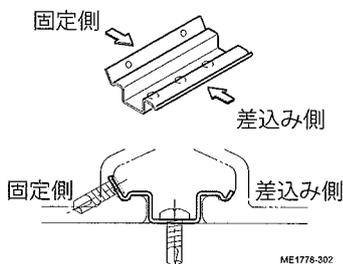
対角ビス止め（どちらの対角でも可能）



- ③デッキ材固定金具の固定側で、デッキ材のツメを固定し、ビスで大引に取付けてください。

●デッキ材取付金具の向きに注意してください。

●デッキ材取付金具の向き



●ビスの打ちかた (Aから見る)

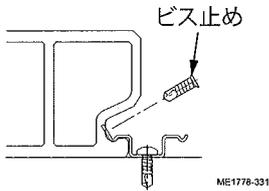
側面をビス止め後、上面をビス止め

ME1738-311-2

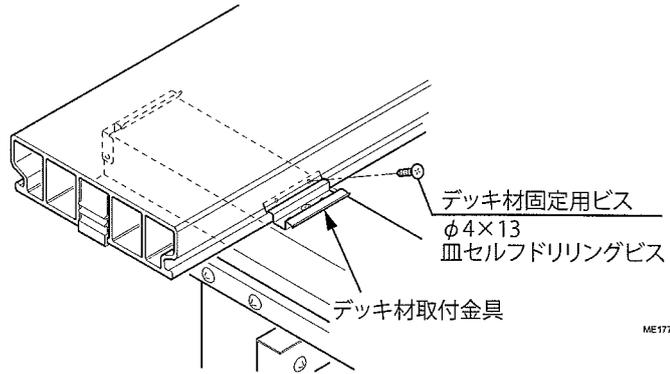
④デッキ材取付金具とデッキ材を、皿ビスで固定してください。



デッキ材1枚につき、1ヶ所をビス止めしてください。
※ビス止め位置を同じ大引上にそろえてください。



ME1778-331

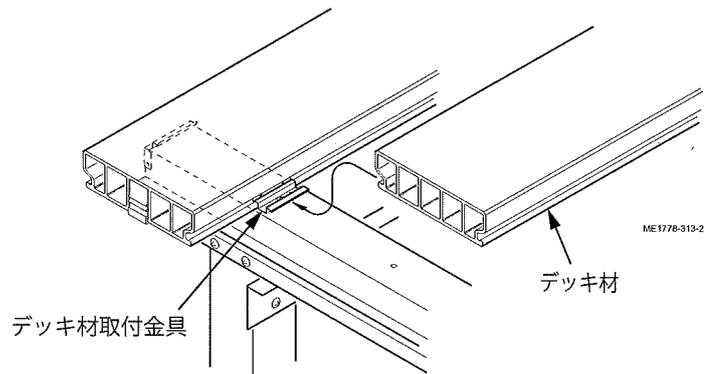


ME1778-355-6

⑤デッキ材取付金具の差込み側にデッキ材のツメを差込んでください。



デッキ材を水平に押し込んでください。



ME1778-313-2

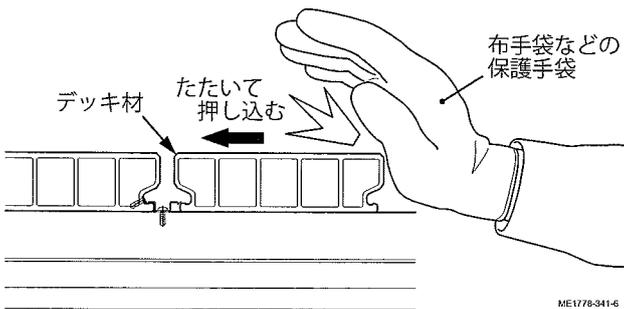
⑥「③～⑤」の手順を繰り返して、デッキ材を全て取付けてください。

●デッキ材取付のポイント

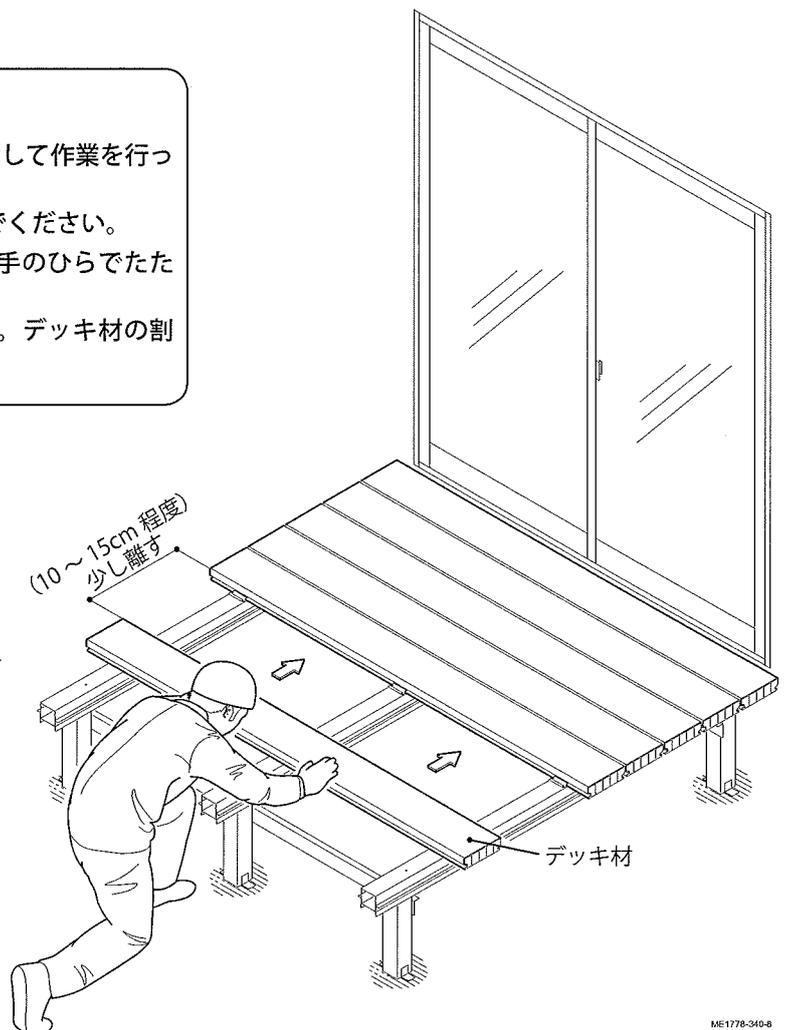


- 必ず、家側から取付けを行ってください。
- 皮手袋などの保護手袋を着用し、ケガに注意して作業を行ってください。
- 下図を参照し、デッキ材を水平に押し込んでください。
- デッキ材が入りにくい場合は、デッキ材を手のひらでたたいて押し込んでください。
- ハンマーなどでたたき込まないでください。デッキ材の割れの原因となります。

●デッキ材が入りにくい場合



ME1778-341-6



ME1778-340-8

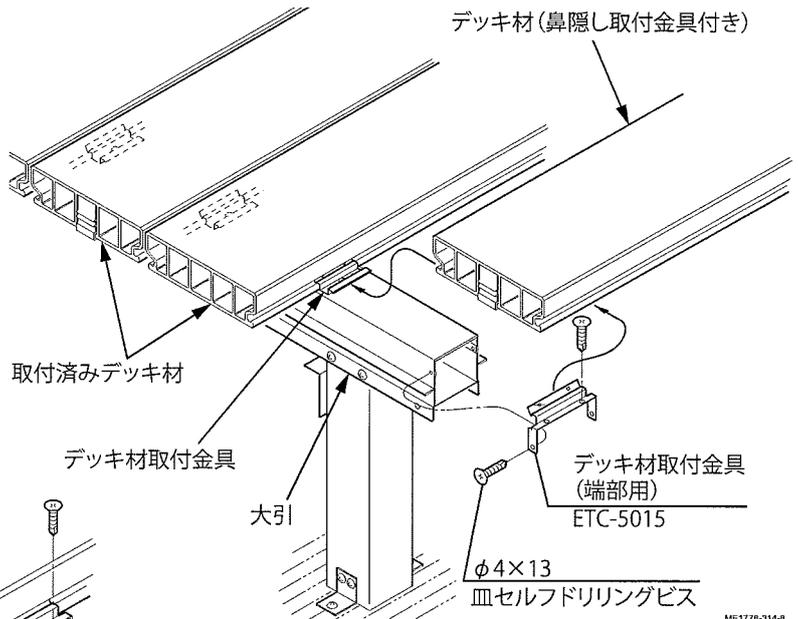
デッキ材の取付け

⑦デッキ材取付金具（端部用）をビスで固定してください。

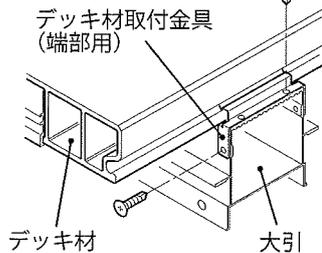
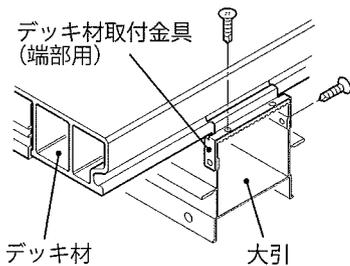
●デッキ材取付金具（端部用）は、「側面」→「上面」の順にビス止めしてください。



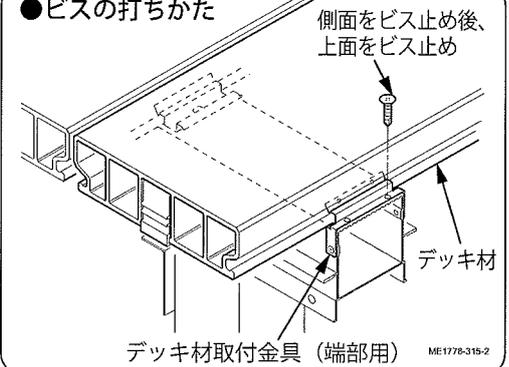
●側面1ヶ所・上面1ヶ所を対角にビス止めしてください。
 ※どちらの対角でも可能です。状況に応じてビス止めしてください。
 ※ただし、大引の側面にビス止めできない場合は、上面2ヶ所にビス止めでも可能です。



対角ビス止め（どちらの対角でも可能）



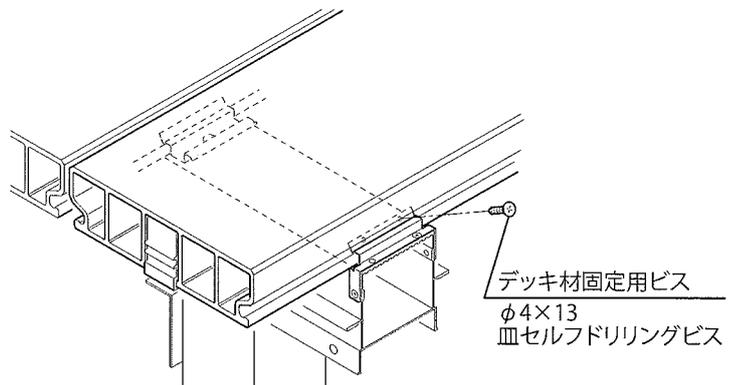
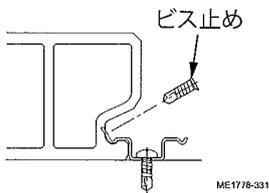
●ビスの打ちかた



⑧デッキ材取付金具（端部用）とデッキ材を、皿ビスで固定してください。



デッキ材1枚につき、1ヶ所をビス止めしてください。
 ※ビス止め位置を同じ大引上にそろえてください。

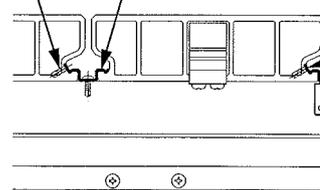


●取付詳細図

ビス止め

※デッキ材固定用
 (デッキ材1枚につき1ヶ所)

デッキ材取付金具



ビス止め
 ※デッキ材固定用
 (デッキ材1枚につき1ヶ所)

デッキ材取付金具
 (端部用)

3-3-3 デッキ材を縦引く場合の施工手順



- デッキ材を縦引く場合は、下記の条件・手順で施工してください。
- 施工前に、別売の「床下補強部品(セピアブラック色)」を別途手配してください。



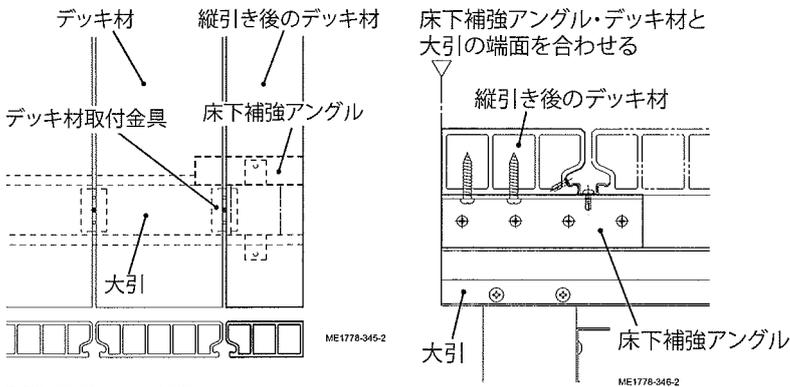
縦引いたデッキ材は、強度上、躯体側などの荷重のかからない所に使用してください。

施工条件

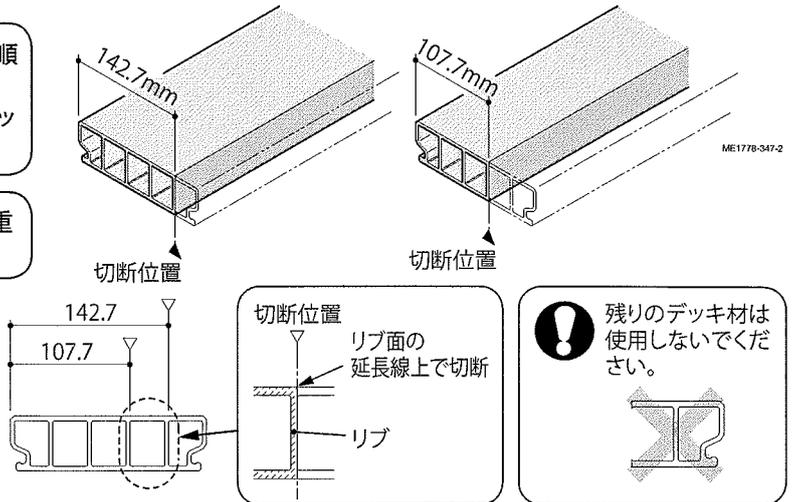
- 縦引き可能な位置は2パターンのみとなります。
- 条件以外の位置では縦引かないでください。(※デッキ材の割れの原因になります。)

施工イメージ図

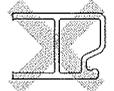
※ここでは、デッキ巾107.7mmに縦引いた場合のイラストで示しています。



●縦引き可能な位置



残りのデッキ材は使用しないでください。



施工手順

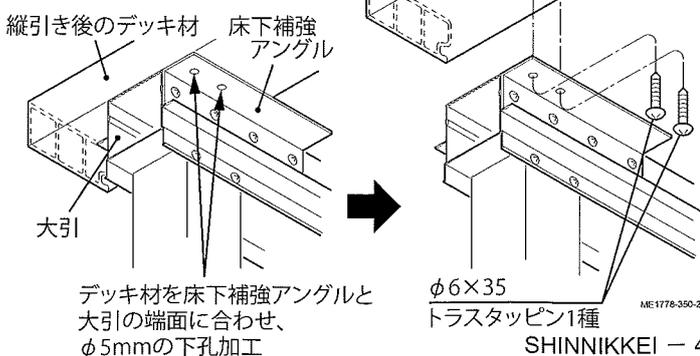
- ①施工条件に従って、デッキ材を切断してください。
- ②右図を参照し、床下補強アングルにφ6.5mmの下孔を2ヶ所あけてください。
- ③床下補強アングルを大引に取付けてください。
- ④「手順②」であけた下孔位置に合わせて、デッキ材にφ5mmの下孔を2ヶ所あけてください。
- ⑤縦引き後のデッキ材を床下補強材に取付けてください。



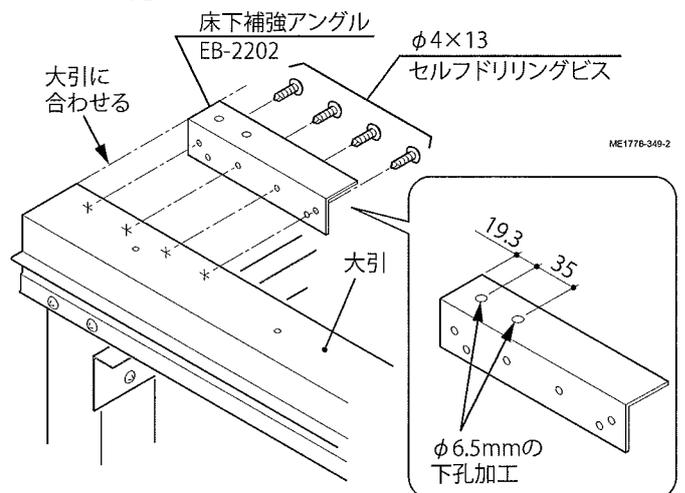
- 必ず、縦引き後のデッキ材から先に取付けてください。
- 縦引き後のデッキ材は、必ず端部より順に固定金具で固定してください。

- ⑥38・39ページの「手順③～⑤」と同様に、残りのデッキ材を全て取付けてください。

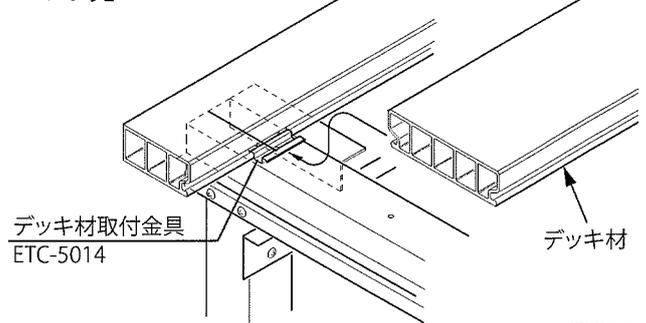
●下から見る



●Aから見る



●Aから見る



3-4 デッキの連結

①デッキ材取付金具で、2枚のデッキ材をはさんで取付けてください。(標準のデッキ材を取付ける要領で行ってください。)



デッキ材の連結部が、必ず大引の中心となるようにしてください。

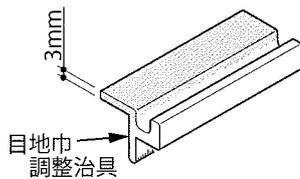


デッキの連結数によって、ビス止め位置が異なります。右図で確認してください。



●連結部すき間：3mm以上
●すき間の調整には、目地巾調整治具を使用してください。

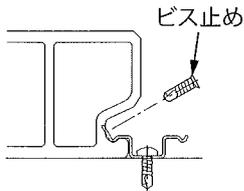
●目地巾調整治具



治具方向に注意してください。
※部位により調整寸法が異なります。



デッキ材1枚につき、1ヶ所をビス止めしてください。
※ビス止め位置を同じ大引上にそろえてください。

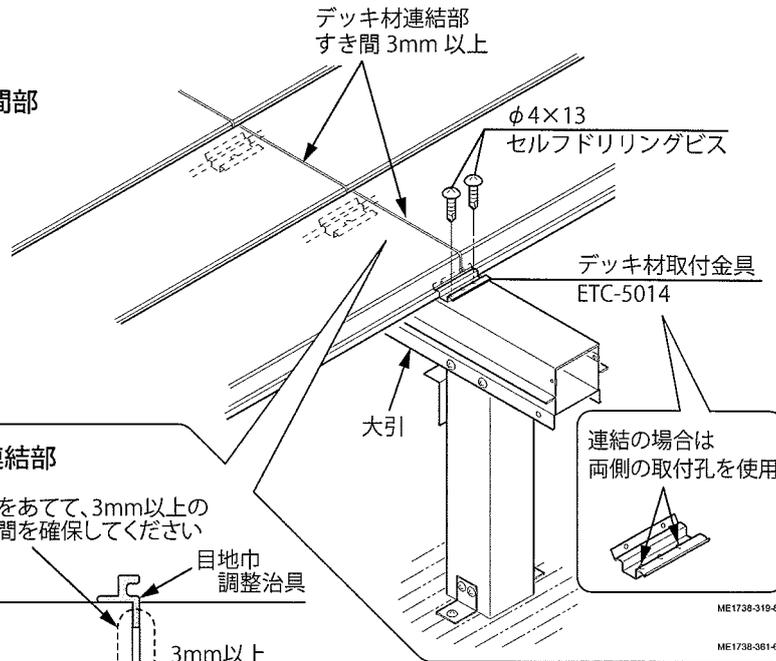


②端部には、デッキ材取付金具（端部用）を取付けてください。



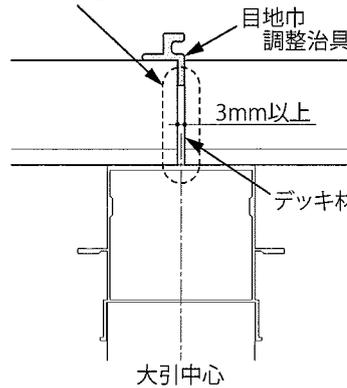
●デッキ材取付金具（端部用）は、「側面」→「上面」の順にビス止めしてください。
●側面1ヶ所・上面1ヶ所を対角にビス止めしてください。
※どちらの対角でも可能です。状況に応じてビス止めしてください。
※ただし、大引の側面にビス止めできない場合は、上面2ヶ所にビス止めでも可能です。

●中間部



●連結部

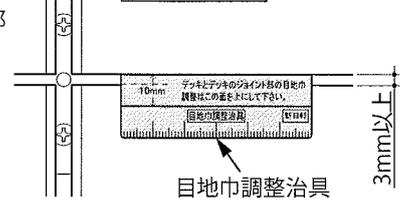
治具をあてて、3mm以上のすき間を確保してください



ME1738-319-6

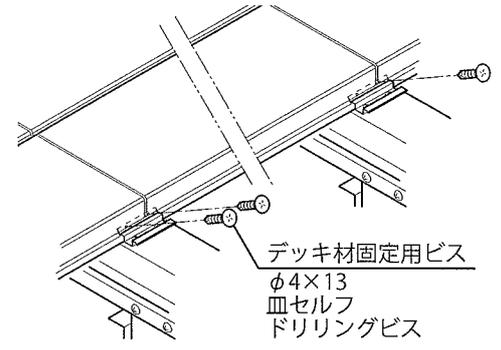
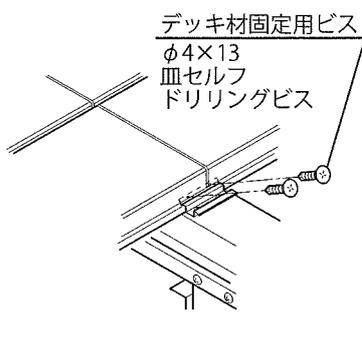
ME1738-361-6

上から見る



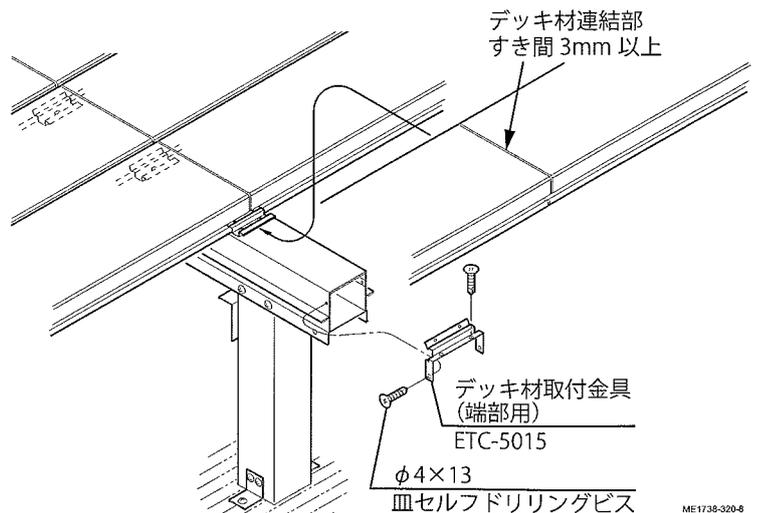
デッキ2連結の場合

デッキ3連結以上の場合



ME1738-360-6

●端部



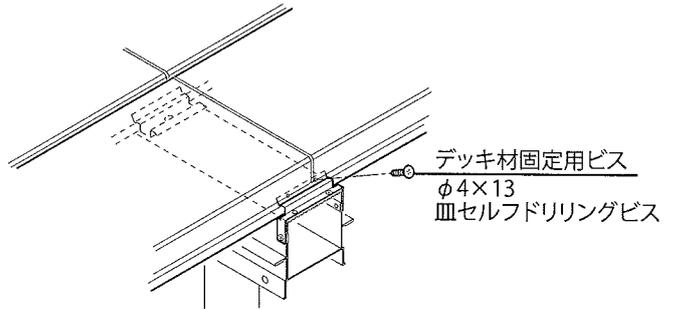
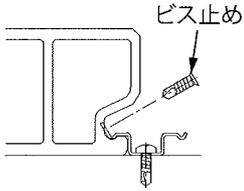
ME1738-320-6

ME1738-350-6

③デッキ材取付金具（端部用）とデッキ材を、皿ビスで固定してください。



デッキ材1枚につき、1ヶ所をビス止めしてください。
※ビス止め位置を同じ大引上にそろえてください。



ME1778-331

3-5 デッキ R 鼻隠し納まりのデッキ切断

① 14 ページの「納まり図」を参照して、デッキの切断位置・寸法を確認してください。

● R 切断詳細図



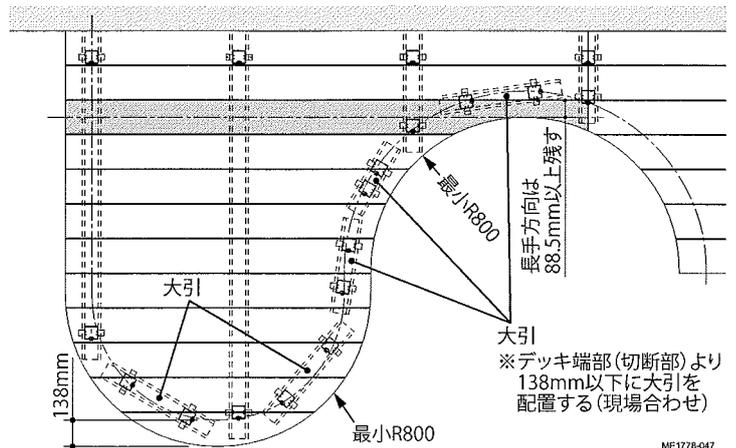
最小寸法 R=800 としてください。
※ R=800 以下にすると、鼻隠しの破損の原因になります。



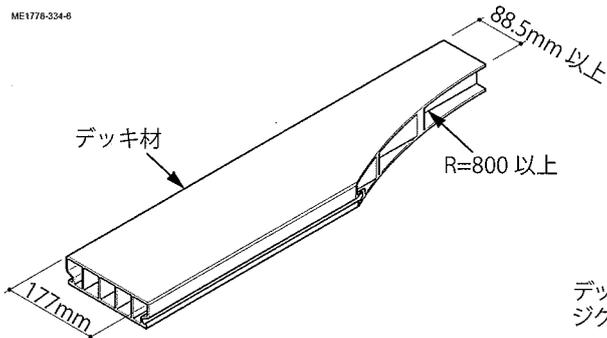
デッキ端部（切断部）より 138mm 以下に大引を配置してください。（現場合わせ）



デッキ長手方向に切断する場合は、デッキ巾を 88.5mm 以上残して切断してください。
※切断位置を調整して、デッキ巾を残してください。



ME1778-324-6



②デッキ上に切断位置をマーキングし、ジグソー等で切断してください。

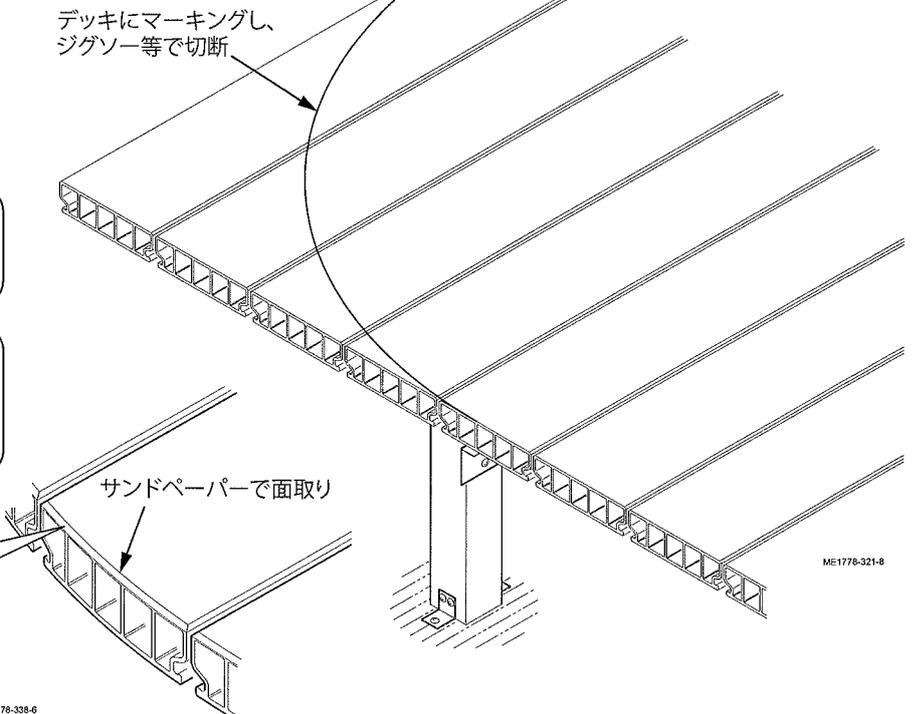


切断面をサンドペーパーで仕上げると表面をきれいに整えることができます。



切断面のエッジは、軽く落としてください。
※強くこすると、デッキ材基層部分が見える原因となります。

切断面のエッジを軽く落とす



ME1778-328-6

ME1778-321-8

デッキ材の取付け

③鼻隠し取付金具を取付けてください。

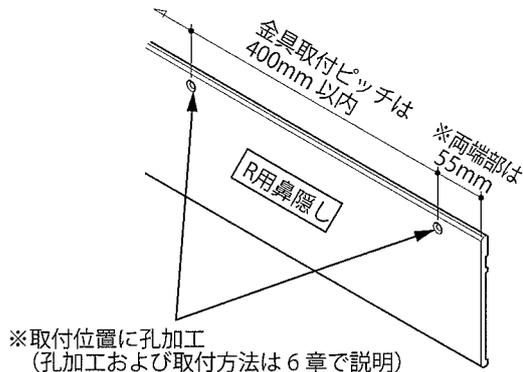


- R 用鼻隠しを R 部へ取付ける場合の金具取付位置（鼻隠しの孔位置）は下記の通りです。
 - ・両端部→ 端より 55mm
 - ・中間部→ 400mm ピッチ以内
- R 部の鼻隠しの取付ビスピッチは、均等にならない場合があります。
- 必要に応じて、400mm ピッチ以内で取付ビスを増やしてください。



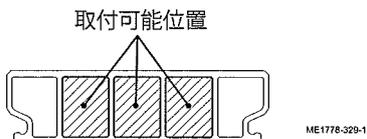
- 鼻隠し取付金具を R の中心に直角にし、すき間のないように取付けてください。
- 鼻隠し取付金具が取付けにくい場合は、デッキ材の取付前に取付けてください。

● R 部へ取付ける場合

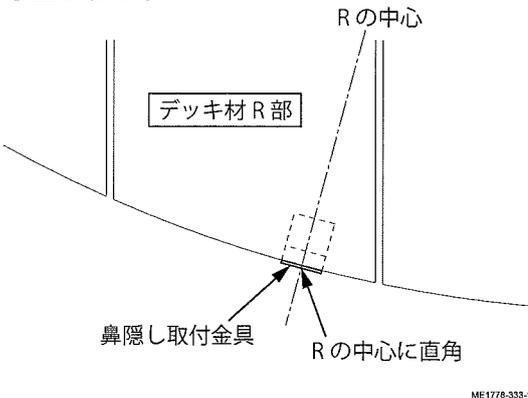


ME1778-342-8

●デッキ材断面（標準）

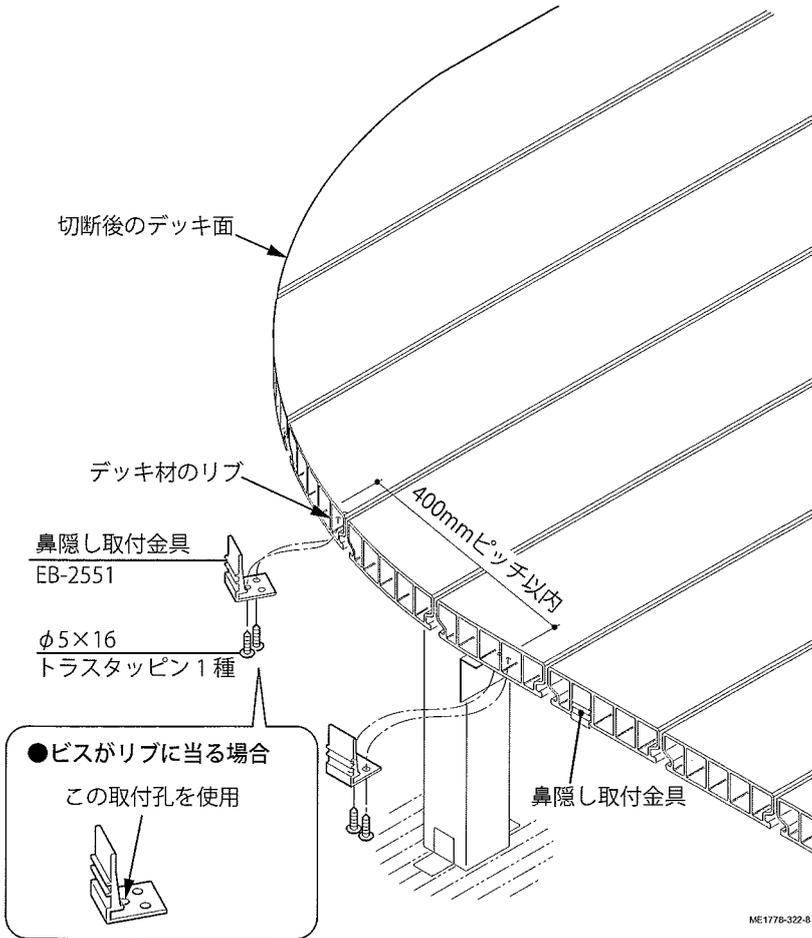


●上からみる





ビスを締付け過ぎないようにしてください。
※締付け過ぎると、取付孔の破損および緩みの原因になります。



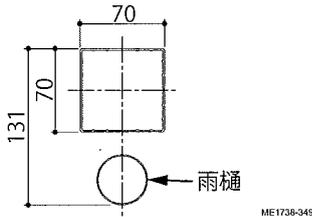
3-6 テラス柱部の施工 (※オプション)

! 施工前に、テラス柱が設置されているか確認してください。(29ページ参照)

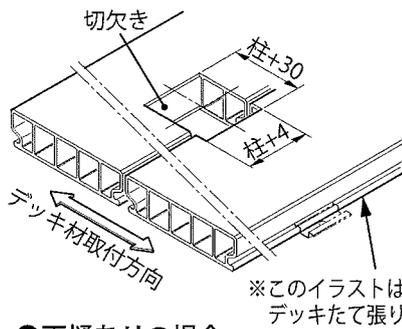
①テラス柱の位置となるデッキ材を切欠いてください。

! 右図を参照して、柱寸法より大きく切欠いてください。
※すき間がないとデッキ材が取付きません。
※特にデッキ材取付方向の寸法に注意してください。

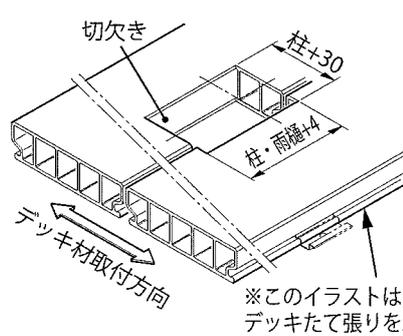
●テラス柱・雨樋の寸法



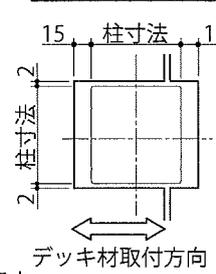
●雨樋なしの場合



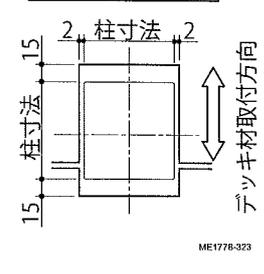
●雨樋ありの場合



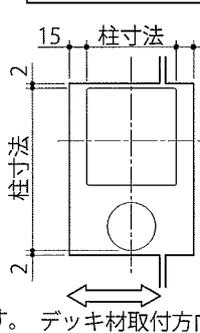
デッキ材たて張り



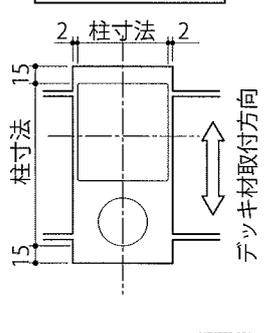
デッキ材よこ張り



デッキ材たて張り



デッキ材よこ張り



②デッキ材を大引に取付け、ビスでデッキ材受けに固定してください。

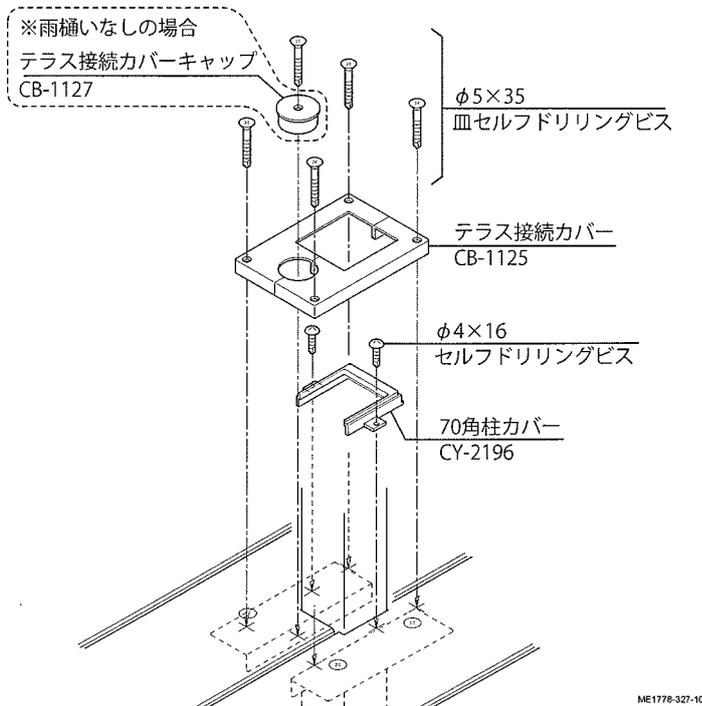
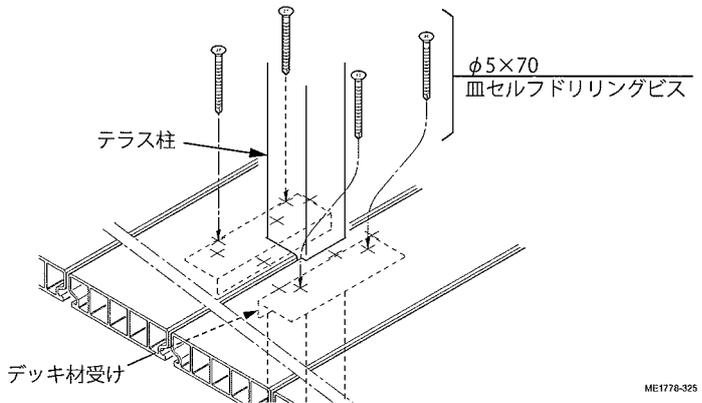
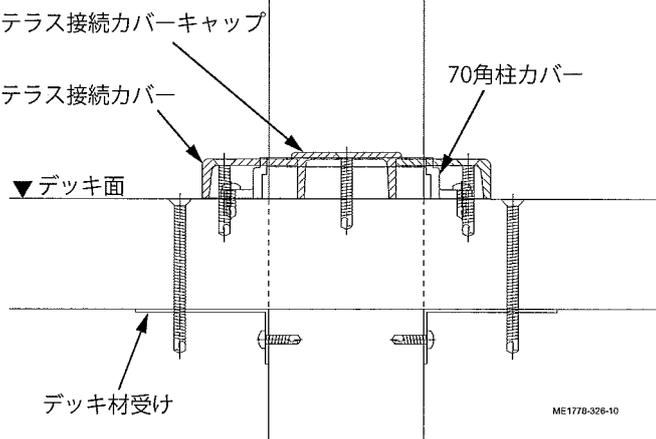
! デッキ材の取付けについては、「3-3. デッキ材の取付け」を参照してください。(取付金具使用)

! 皿ビスの頭が必ずデッキ面より下になるようにしてください。

③図を参照して、70角柱カバー・テラス接続カバー・テラス接続カバーキャップを取付けてください。

! ビスを締付け過ぎないようにしてください。
※締付け過ぎると、取付孔の破損および緩みの原因になります。

●取付詳細図



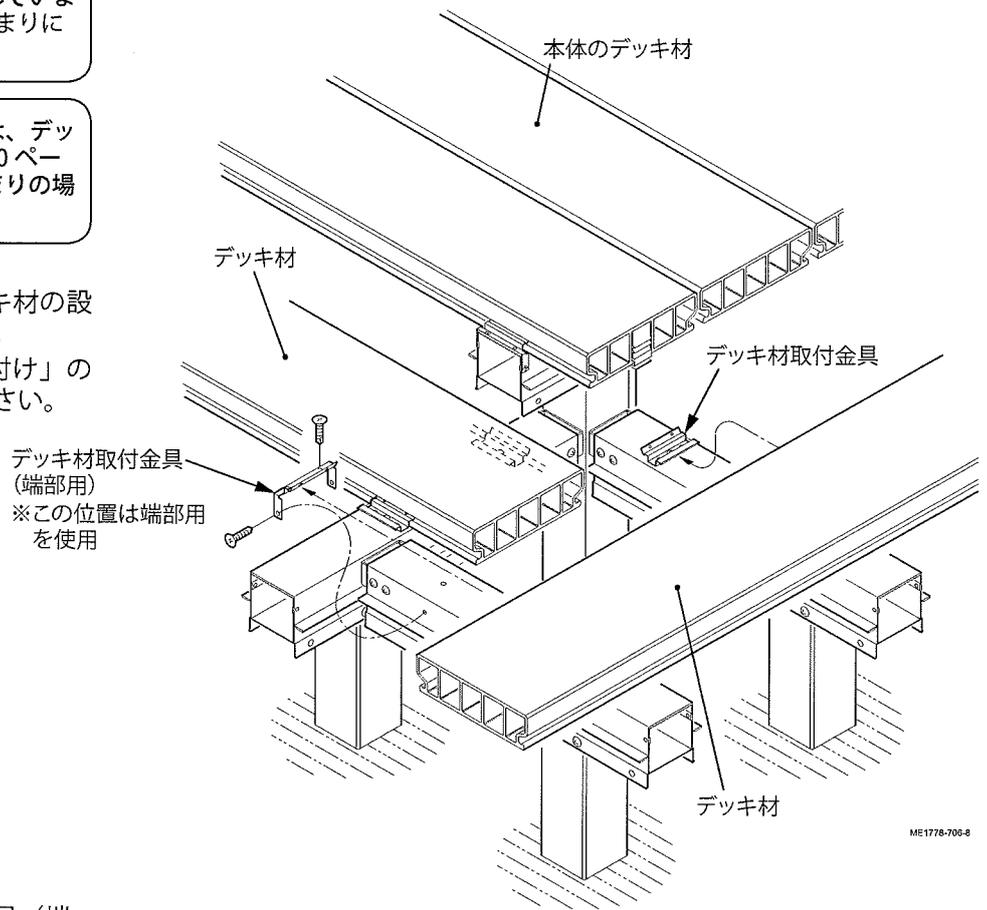
! テラス本体の施工方法については、テラスの施工説明書を参照してください。

3-7 デッキ材2段納まりの場合 (※オプション)

 ここでは、17ページの納まり図のプランを施工例として説明しています。(下段はデッキ材2枚納まりになります。)

 束柱・大引の設置については、デッキ材の取付けについては、30ページの「1-5. デッキ材2段納まりの場合」を参照してください。

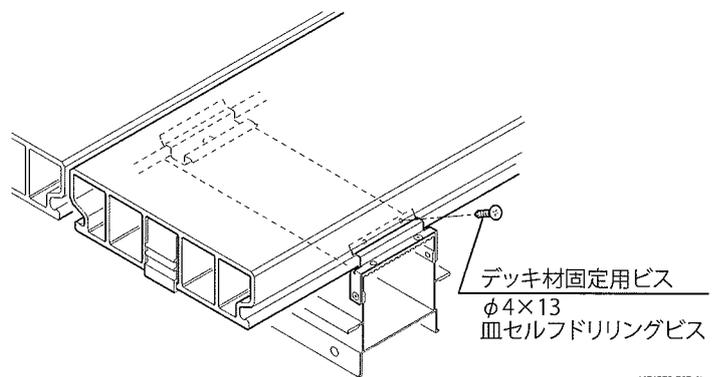
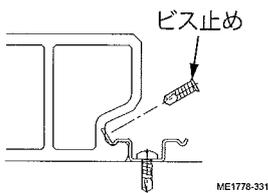
- ① 17ページの「納まり図」でデッキ材の設置位置・寸法を確認してください。
- ② 37ページの「3-3. デッキ材の取付け」の要領で、デッキ材を取付けてください。



ME1778-706-8

- ③最後の1枚には、デッキ材取付金具(端部用)を取付けてください。
- ④必要に応じて、デッキ材取付金具(端部用)とデッキ材を、皿ビスで固定してください。

 デッキ材1枚につき、1ヶ所をビス止めしてください。
※ビス止め位置を同じ大引上にそろえてください。



ME1778-707-4b

4

デッキフェンス施工前の確認

- デッキフェンス施工における確認項目です。
- 施工前に、必ず確認してください。

4-1 柱の種類

●施工前に、柱の種類・上下を確認してください。



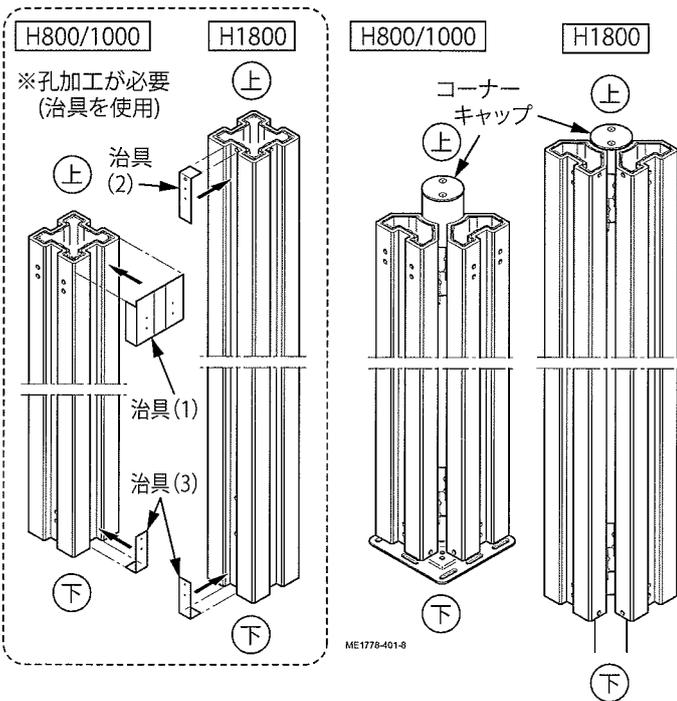
- デッキフェンス柱(樹脂材)には、上下があります。
- コーナー自在柱 H1800 は埋込式になります。



樹脂材内部にアルミ補強材が挿入されています。持ち運ぶ場合は、抜け落ちないように注意してください。

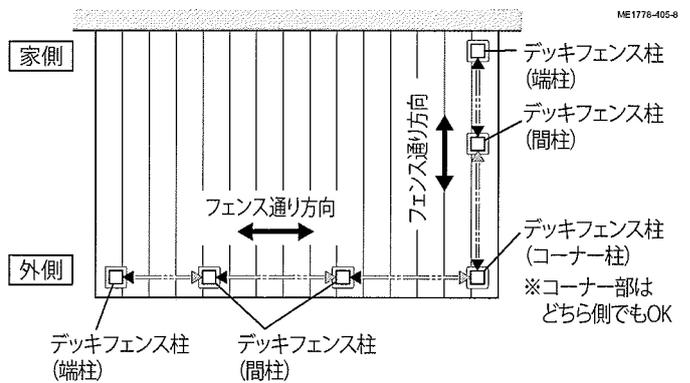
●デッキフェンス柱の上下

●コーナー自在柱の上下

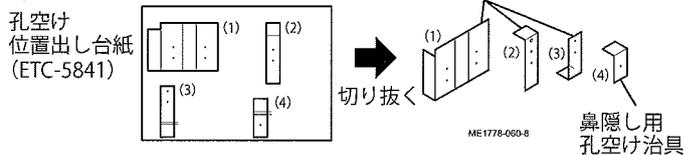


●取付孔のある面 および 孔加工をする面

- ▶:取付孔のある面 (H800/1000)
- ▶:孔加工をする面 (H800/1000/1800共通)
- ▶:孔加工をする面 (H1800)



●孔空け用治具



4-2 コーナー自在柱について

4-2-1 コーナー自在柱の調整方法



出荷時：90° / 対応角度：90° ~ 180°

①ブラケットの取付ビスを緩め、コーナー部の角度を調整してください。

●H800/1000
ブラケット2ヶ所

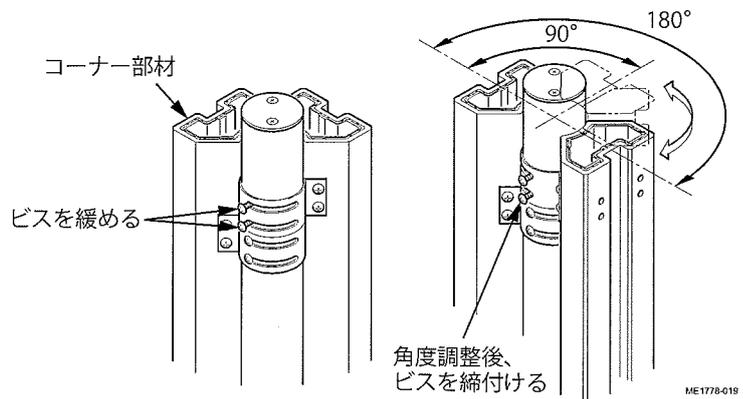
●H1800
ブラケット3ヶ所



②角度調整後、ビスを締付けてください。



ビスを締付け過ぎないようにしてください。
※締付け過ぎると、柱(樹脂材)が破損する原因になります。

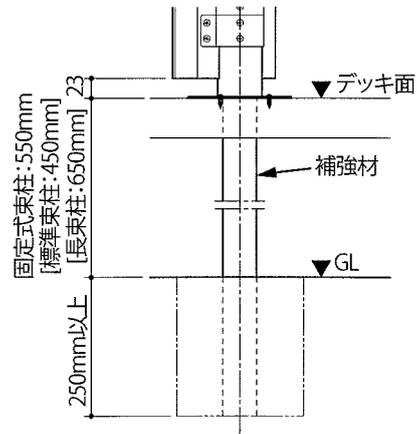


4-2-2 コーナー自在柱の埋め込みについて

- コーナー自在柱の補強材は、デッキ長束柱仕様にも対応できる長さになっています。
- 補強材の埋め込み寸法が 250mm 以上になるように補強材を切断してください。



補強材をコンクリートで確実に固定してください。



ME1778-403-B

4-3 ベースプレートの取付けについて

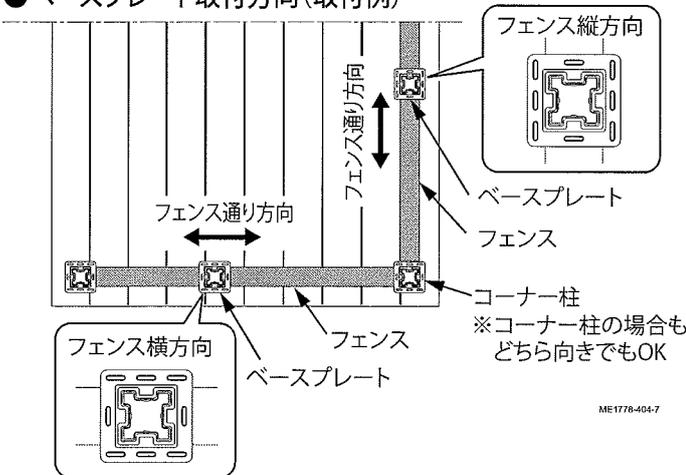


詳しい取付方法については、「5. デッキフェンスの取付け」を参照してください。



ベースプレートに決まった取付方向はありません。
※ベースプレートの長孔はどちらを向いても取付可能です。

●ベースプレート取付方向(取付例)



ME1778-404-7

4-4 デッキフェンス扉付きの場合 (※オプション)

- デッキフェンス扉を設置する場合は、位置をあらかじめ決めておいてください。
- 扉部分には、扉吊元柱および戸当り柱(標準のデッキフェンス柱)を設置します。
- 柱の設置は、本説明書と同様の手順となりますが、下記の説明書を参照して行ってください。



取付方法については、「デッキフェンス扉」の施工説明書 [ME-1782] を参照してください。

4-5 モダンスタイル・デッキフェンスを取付ける場合 (※オプション)

- 柱・パネルが異なります。下記の説明書の内容で行ってください。

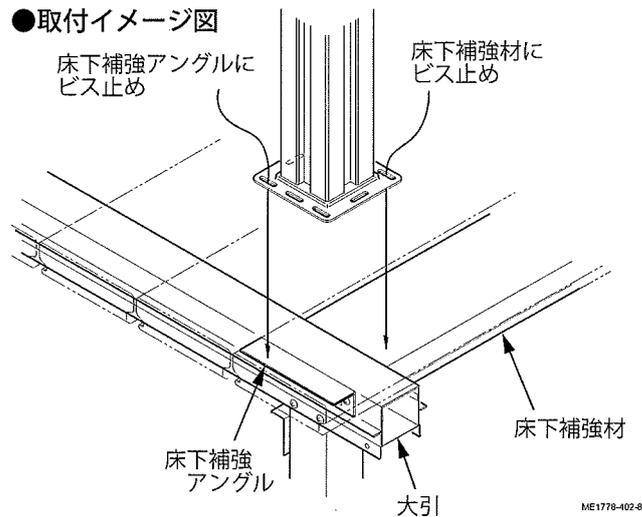


取付方法については、「モダンスタイル・デッキフェンス」の施工説明書 [ME-1905] を参照してください。



大引、床下補強材または床下補強アングルにベースプレートをビス止めしてください。

●取付イメージ図



ME1778-402-B

4-6 高床デッキの場合

- フェンスは専用品の「高強度デッキフェンス」となります。本説明書と同様の手順ですが、下記の説明書を合わせて参照してください。



「高床デッキ・高強度デッキフェンス」の施工説明書 [ME-1904] を合わせて参照してください。

4-7 高床デッキに踊り場・階段を取付ける場合

- 本体デッキ・踊り場デッキのフェンスは専用品の「高強度デッキフェンス」となります。階段には手すりが必要です。下記の説明書の内容で行ってください。



取付方法については、「高床デッキ用 踊り場・階段」の施工説明書 [ME-1890] を参照してください。

4-8 デッキフェンス H1800 の場合

- デッキフェンス H1800 には、必ず控え柱またはベンチを取付けてください。



- 控え柱の取付け→本説明書「5-10」参照
- ベンチの取付け→「デッキフェンス・ハイパーテーションベンチタイプ」の施工説明書 [ME-1889] 参照

5

デッキフェンスの取付け

●デッキフェンスを取付ける場合に参照してください。

5-1 ベースプレートの取付け

ベースプレートを取付ける前に、デッキフェンス柱に、必要に応じて追加で孔加工を行ってください。



- ※「4-1. 柱の種類」参照
- ※ H800/1000 のデッキフェンス柱は、間柱・コーナー柱とする場合は、孔加工が必要です。
- ※ H1800 のデッキフェンス柱には、必ず孔加工が必要です。



孔加工を行った後、デッキフェンス柱にベースプレートを取付けてください。
※コーナー自在柱には不要です。



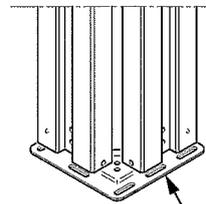
ベースプレートに決まった取付方向はありません。
※ベースプレートの長孔はどちらを向いても取付可能です。

① 9～13 ページの「納まり図」を参照して、柱の位置・向きを確認し、ベースプレートを取付けてください。
(「4-3. ベースプレートの取付けについて」参照)

② ベースプレートを柱に取付けてください。

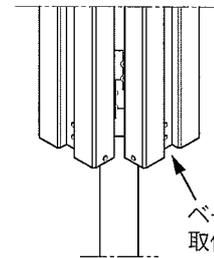
●コーナー自在柱

H800/1000



ベースプレート
取付済

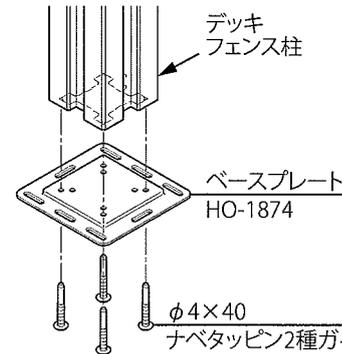
H1800



ベースプレートは
取付けません

ME1778-544

●間柱・端柱・90° コーナー柱



デッキ
フェンス柱

ベースプレート
HO-1874

φ4×40

ナベタッピン2種ガイド付き

ME1620-301-5

5-2 デッキフェンス柱の設置 (※間柱・端柱・90° コーナー柱の場合)

5-2-1 設置前の確認

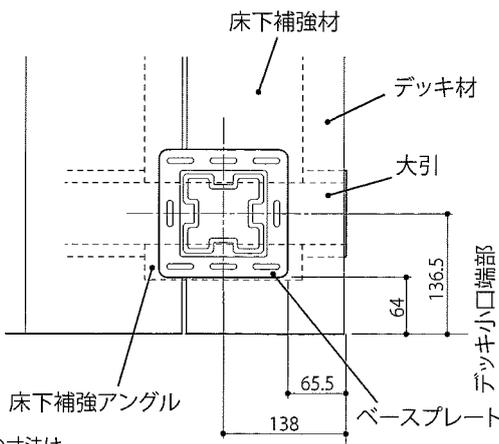
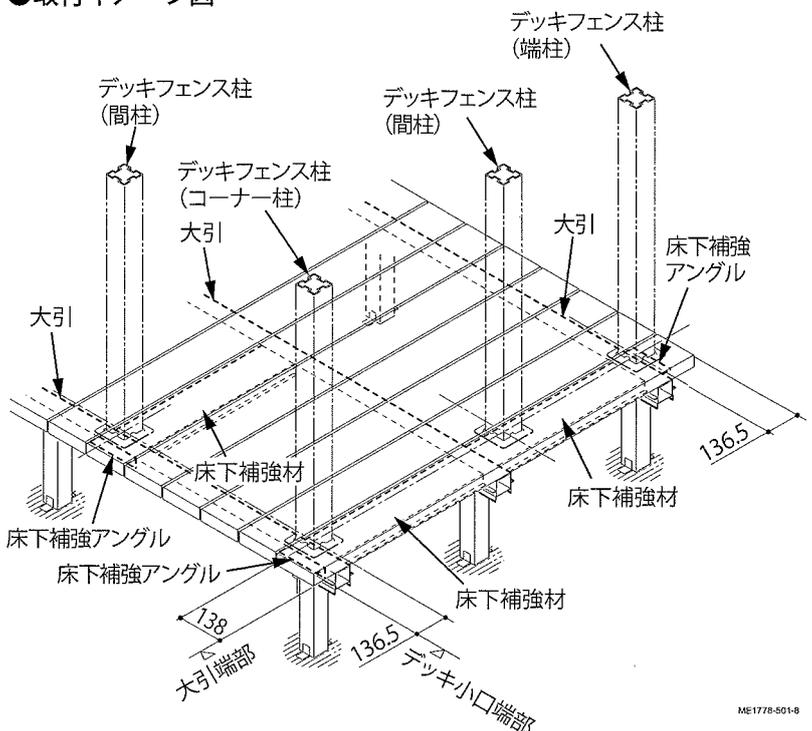


コーナー自在柱を設置する場合は、「5-3. コーナー自在柱の設置」を参照してください。



- ベースプレートを、大引、床下補強材または床下補強アングルの上に取付けてください。
- 取付寸法は図を参照してください。

●取付イメージ図



※本図の寸法は、フェンス庭側の場合を示しています。 大引端部

デッキフェンスの取付け

5-2-2 デッキフェンス柱の設置

- ①柱の種類によって設置寸法が異なります。9～13ページの「納まり図」を参照して、柱の位置・向きを確認してください。
- ②デッキ材と大引、または床下補強材にφ5mmの下孔を4ヶ所あけてください。

- ③デッキフェンス柱をデッキ材に取付けてください。

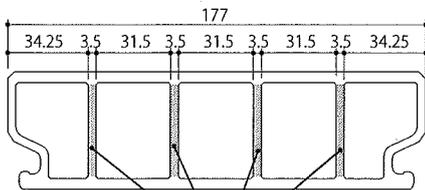


デッキ材端部にビス止めする場合は、デッキ材連結部のすき間にビス止めしてください。
※守らないと、デッキ材が割れるなど破損の原因になります。



デッキ材のリップ位置をさけてビス止めしてください。

●デッキ材断面図



※リップ位置をさけてビス止めすること



- デッキ材の中央部から順にビス止めしてください。
- 中央部から均等に4本のビスを締め込んでください。
※守らないと、デッキ材が割れるなど破損の原因になります。



- ビスの締め付けには、「ビット」を使用してください。「六角ソケット」を使用しないでください。
- ビスを締め付け過ぎないようにしてください。
※締め付け過ぎると、デッキ材が破損する原因になります。

5-2-3 ベースプレートカバーの取付け

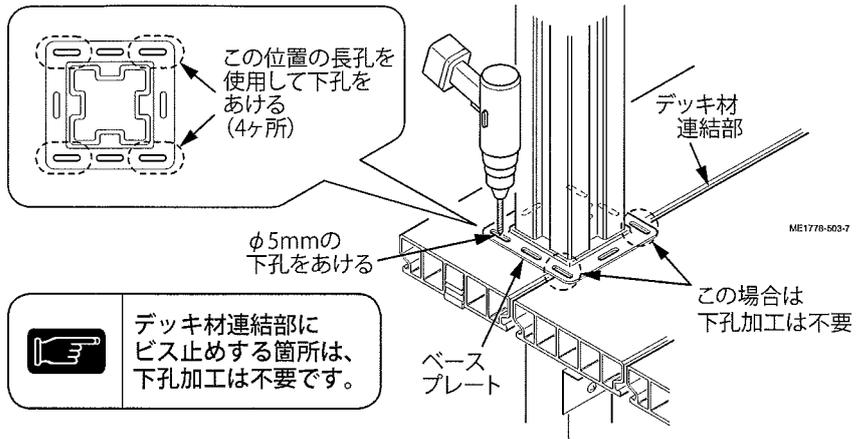
- ①ベースプレートカバーを取付けてください。



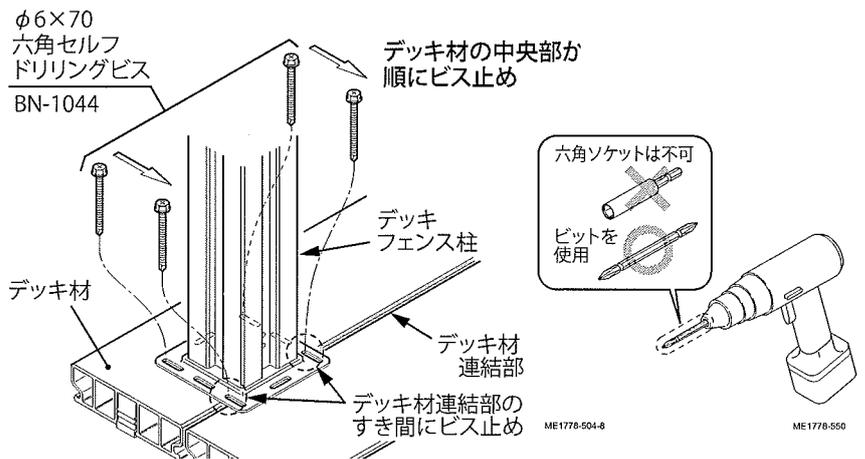
ビスを締め付け過ぎないようにしてください。
※締め付け過ぎると、樹脂材が破損する原因になります。



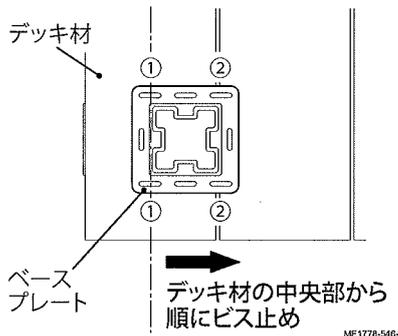
ベースプレートカバーは2方向どちら側からでも取付可能です。



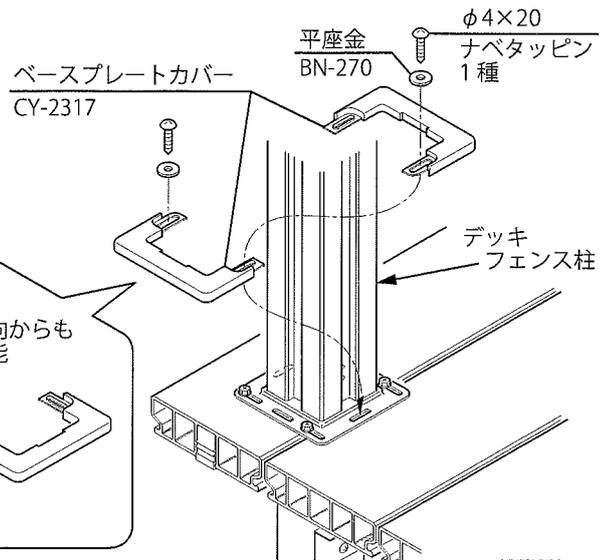
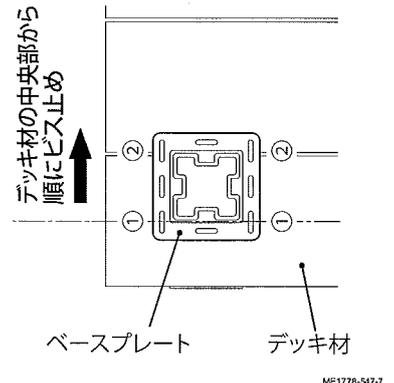
デッキ材連結部にビス止めする箇所は、下孔加工は不要です。



●デッキたて張りの場合



●デッキよこ張りの場合



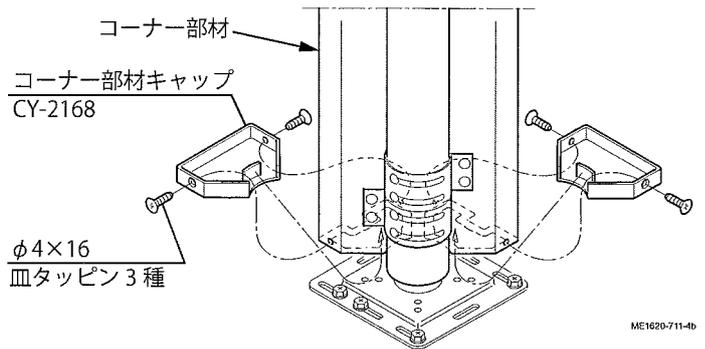
5-3 コーナー自在柱の設置

5-3-1 コーナー部材キャップ（下側）の取付け

① コーナー部材下側のように、コーナー部材キャップを取付けてください。



コーナー部材上側には取付けしないでください。後工程で取付けます。



ME1620-711-4b

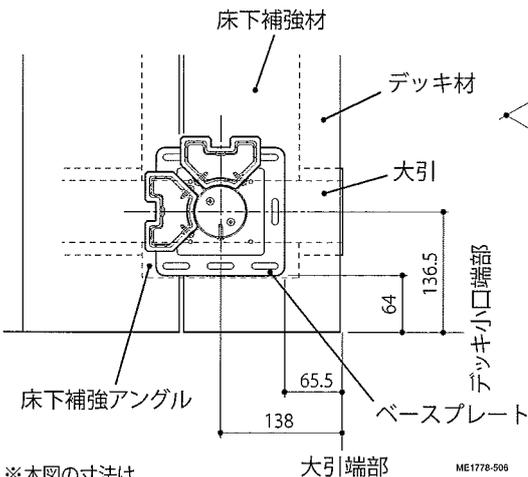
5-3-2 コーナー自在柱（H800/1000）の設置

① 「5-2-2. デッキフェンス柱の設置」と同じ要領で、コーナー自在柱を設置してください。



- ベースプレートを大引または床下補強材（床下補強アングル）の上に取付けてください。
- コーナー自在柱と間柱を、W910=950mm、W634=674mm（柱芯々）で設置してください。
- 取付寸法は図を参照してください。

※本図は、W910を示す。
※< >内寸法は、W634を示す。
※()内寸法は、W1200を示す。



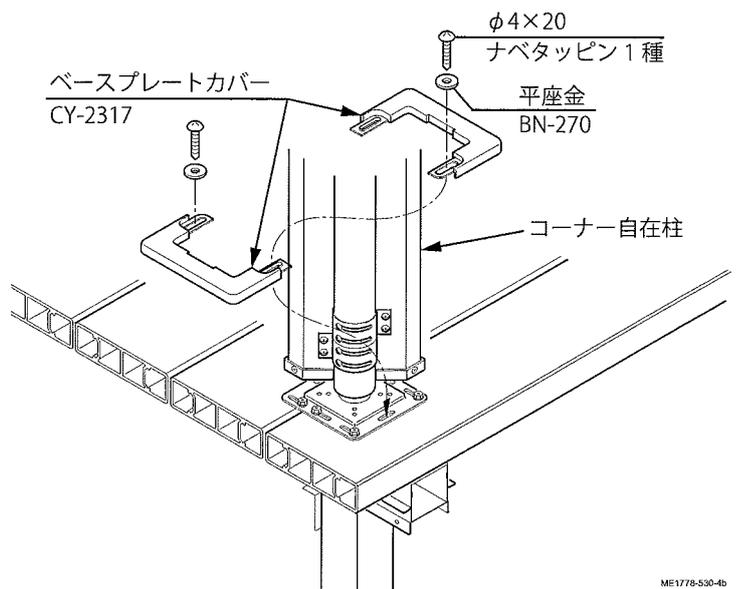
※本図の寸法は、フェンス庭側の場合を示しています。

ME1778-506

② 「5-2-3. ベースプレートカバーの取付け」と同じ要領で、ベースプレートカバーを取付けてください。



ビスを締付け過ぎないようにしてください。
※締付け過ぎると、樹脂材が破損する原因になります。



ME1778-530-4b

デッキフェンスの取付け

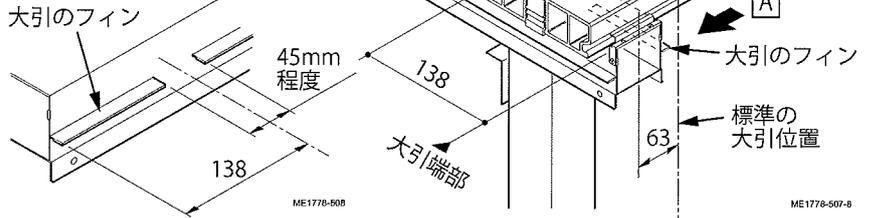
5-3-3 コーナー自在柱 (H1800) の設置



大引が 63mm 外側に設置されているか確認してください。
 ※大引が標準位置のままであると、柱を設置することができません。

①右図の位置のデッキ材を切り欠いてください。大引のフィンも同時に切り欠いてください。

● [A] から見る



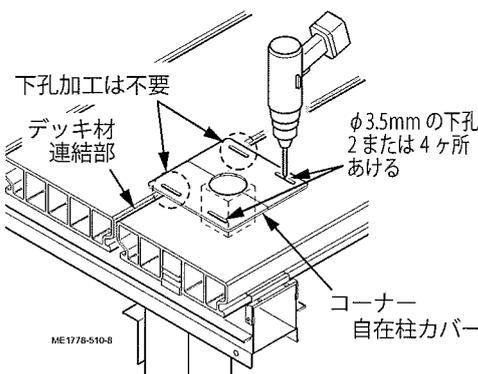
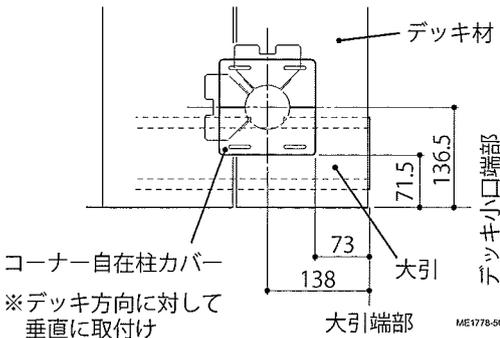
②図の位置にコーナー自在柱カバーを合わせ、φ 3.5mm の下孔を 2 または 4 ケ所あけてください。



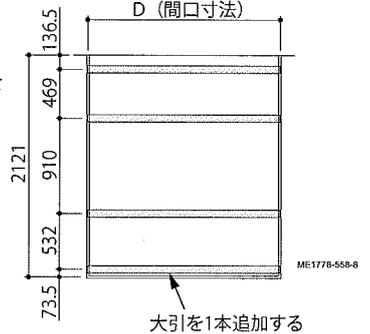
デッキ材連結部にビス止めする箇所は、下孔加工は不要です。



出巾 7 尺・デッキたて張りの場合は、束柱・大引位置図よりも大引を 1 本追加してください。



● 出巾 7 尺・たて張りの場合



③コーナー自在柱とコーナー自在柱カバーを取付けてください。



コーナー自在柱 (H1800) には不要です。



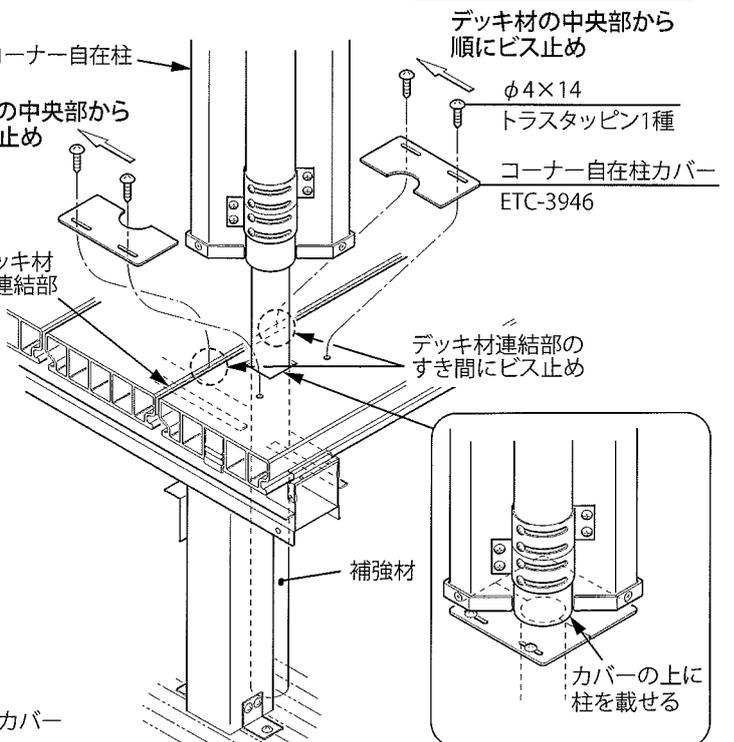
コーナー自在柱カバーの上にコーナー自在柱 (樹脂) を載せてください。



デッキ材端部にビス止めする場合は、デッキ材連結部のすき間にビス止めしてください。
 ※守らないと、デッキ材が割れるなど破損の原因になります。

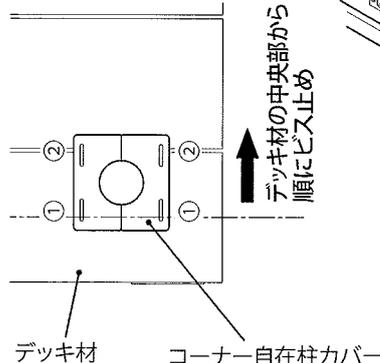
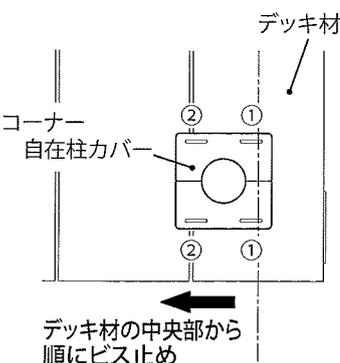


デッキ材の中央部から順にビス止めしてください。



●デッキたて張りの場合

●デッキよこ張りの場合



ME1778-546-4b

ME1778-549

ME1778-511-8

5-4 下棧の取付け (※ラチスパネル・井桁パネル・ディズニータイプパネル納まりの場合)

5-4-1 上下棧の切詰め

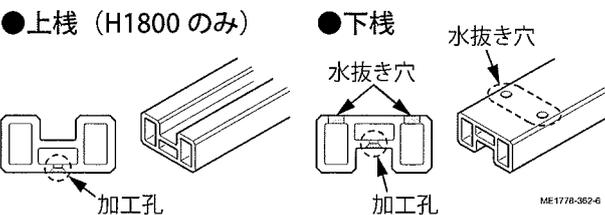
- 現場の状況に応じて、切詰め作業が必要な場合に参照してください。
- 横格子パネル納まりの場合は、作業不要です。

●上下棧寸法一覧表 (mm)

デッキフェンスサイズ	上下棧寸法
600	544
900	820
1200	1100

※その他サイズについては、現場の状況に応じて、切詰め作業を行ってください。

- H1800の場合、下棧と上棧を間違えないようにしてください。
- 上棧・下棧にはそれぞれ異なる面に加工孔があいています。

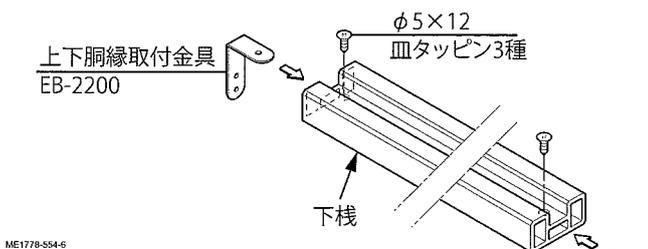


- ①切詰めた側の上下棧端部にφ5mmの下孔をあけ、φ10mmの皿加工をしてください。
- ②切詰めた側の下棧端部に、φ8mm程度の水抜き穴を2ヶ所あけてください。

5-4-2 下棧の取付け

- ①下棧に上下胴縁取付金具を取付けてください。

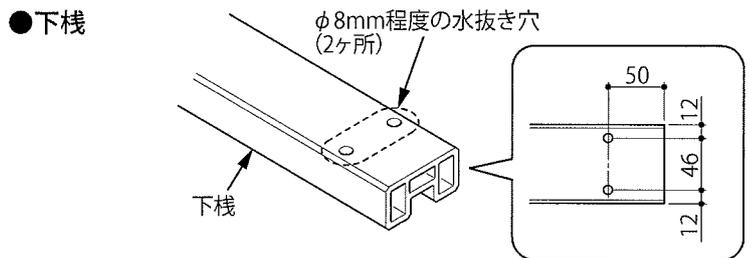
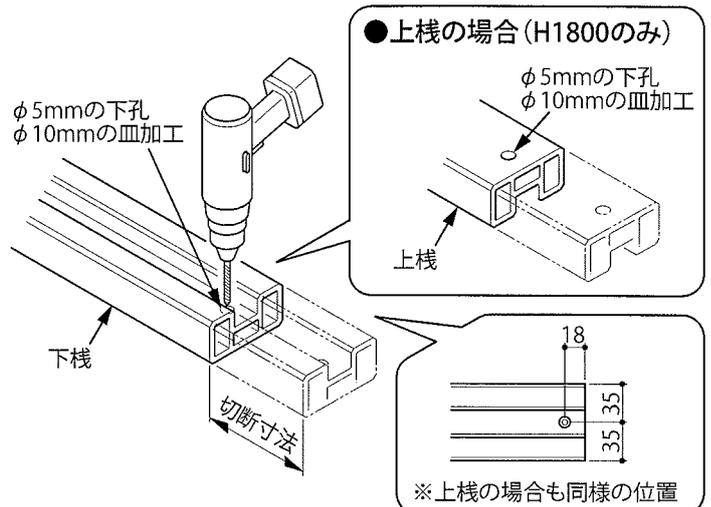
- ビスを締付け過ぎないようにしてください。※締付け過ぎると、下棧(樹脂材)が破損する原因になります。



- ②下棧を柱にスライドさせて挿入し、ビスで取付けてください。

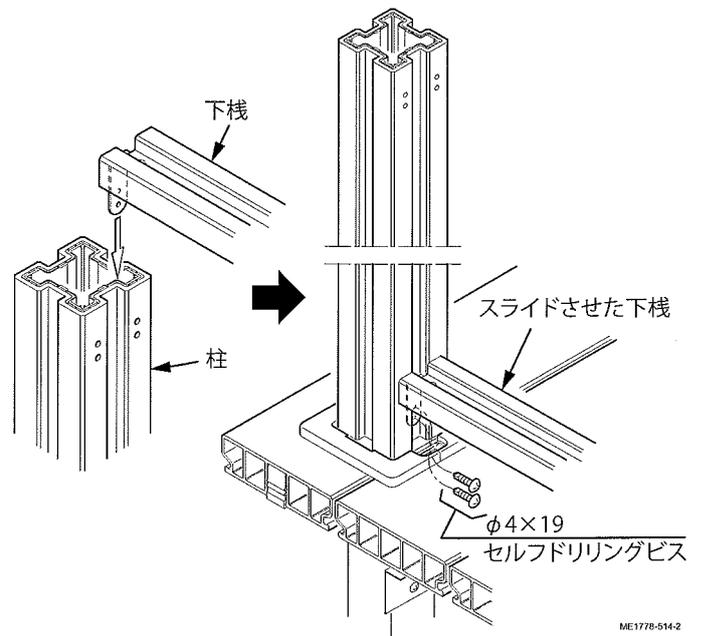
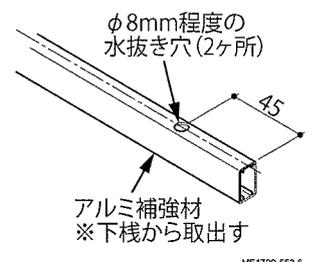
- 下棧の取付前には樹脂材のみ取外すことができます。「4-1. 柱の種類」で取付孔のある面を確認してください。

- ビスを締付け過ぎないようにしてください。※締付け過ぎると、柱(樹脂材)が破損する原因になります。



●アルミ補強材

- W1200の場合は、下棧にアルミ補強材が入っています。
- 下棧からアルミ補強材を取出し、φ8mmの水抜き穴をあけてください。



5-5 パネルの取付け (※ラチスパネル・井桁パネル・ディズニータイプパネル納まりの場合)



施工前に、ベースプレートカバーの取付けが完了しているか確認してください。

※コーナー自在柱の場合は、パネル取付後にベースプレートカバーを取付けることができません。

※コーナー自在柱 (H1800) の場合は、ベースプレートカバーは不要です。



横格子パネル納まりの場合は「5-6. 横格子パネルの取付け」を参照してください。

コーナー自在柱の場合

①パネルの取付前に、柱の角度を調整してください。



「4-2-1. コーナー自在柱の調整方法」を参照してください。

共通の手順

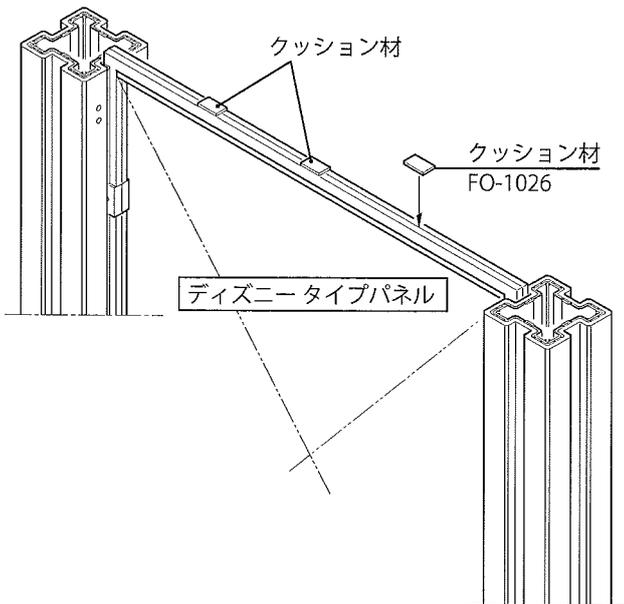
①パネルを柱の溝にスライドさせて挿入し、下枠で固定してください。



ディズニータイプパネルの場合は、パネルに上・下があります。

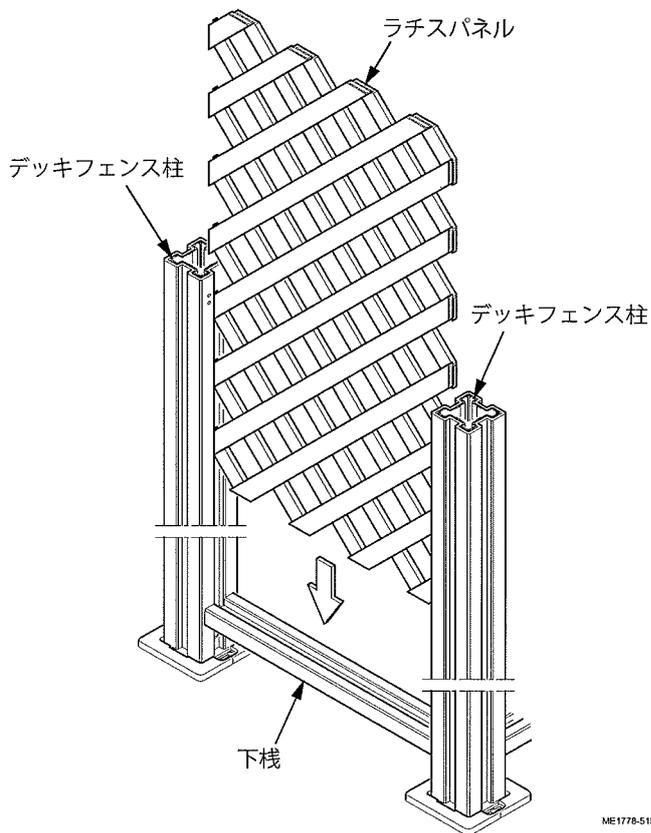
ディズニータイプパネルの場合

①パネルの挿入後、パネル上部にクッション材を貼り付けてください。

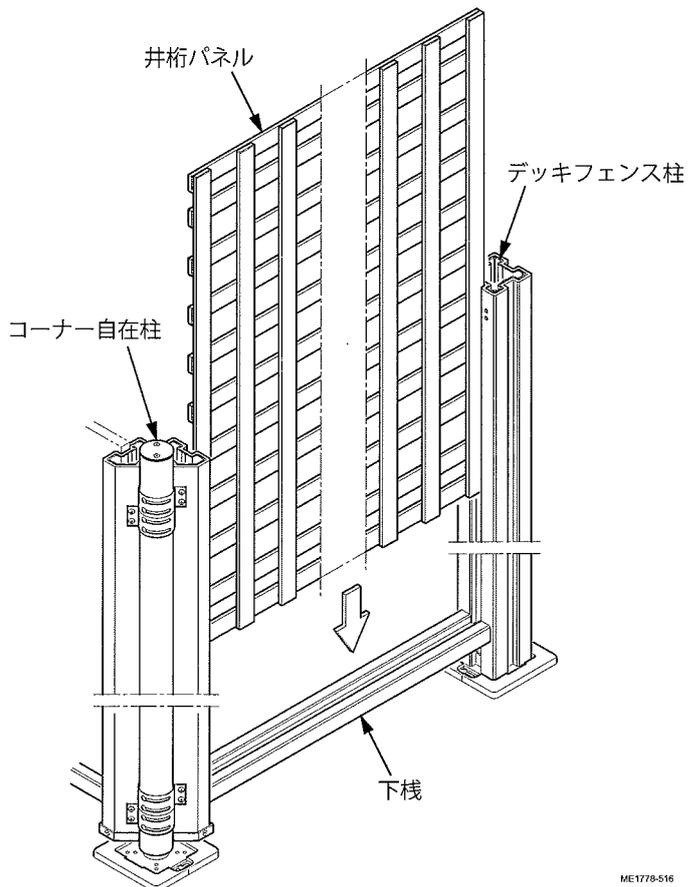


ME1778-551-8

●ラチスパネル+ デッキフェンス柱の場合



●井桁パネル+ コーナー自在柱の場合



5-6 横格子パネルの取付け (※横格子パネル納まりの場合)

5-6-1 横格子取付け寸法例

- ここでは格子位置の一例を示しています。
- 横格子パネル高さには、H800 と H1000 があります。
- 横格子パネル巾は、W1200 のみとなります。
- 取付可能な格子の本数は下表の通りです。

< 取付可能な格子の本数 >

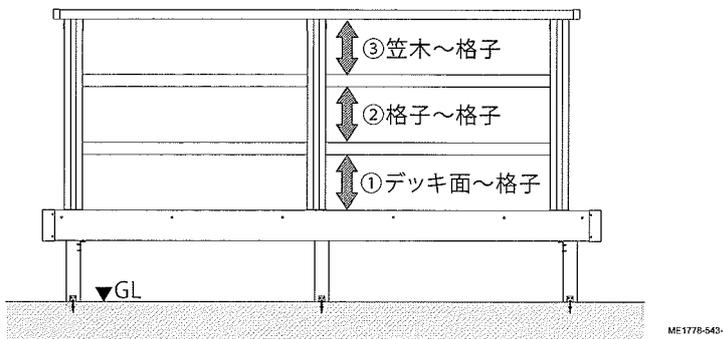
	H800	H1000
樹脂タイプ	5本まで	7本まで
アルミタイプ	4本まで	6本まで (※5本まで)

※：コーナー自在柱・吊元柱を使用の場合

- 格子は任意の位置に取付けることができます。ただし、下表の寸法を守ってください。

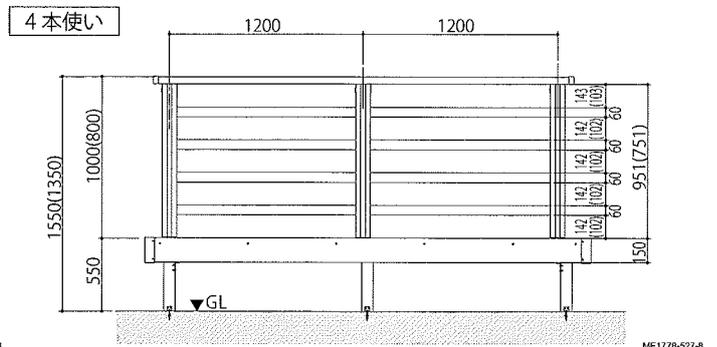
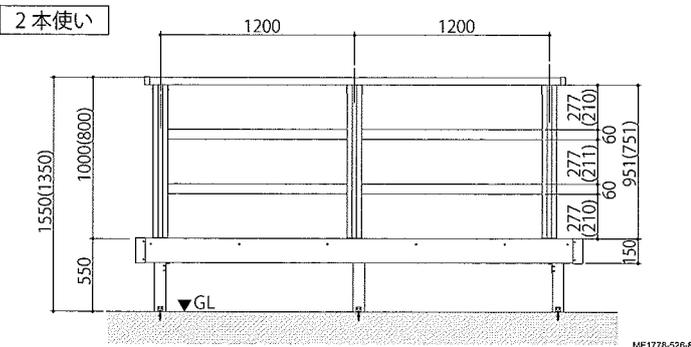
< 格子取付位置 寸法表：樹脂・アルミ共通 >

使用する柱	①デッキ面～格子			②格子～格子	③笠木～格子
	間柱	コーナー自在柱	吊元柱	60mm	55mm
取付寸法	45mm	105mm	105mm		

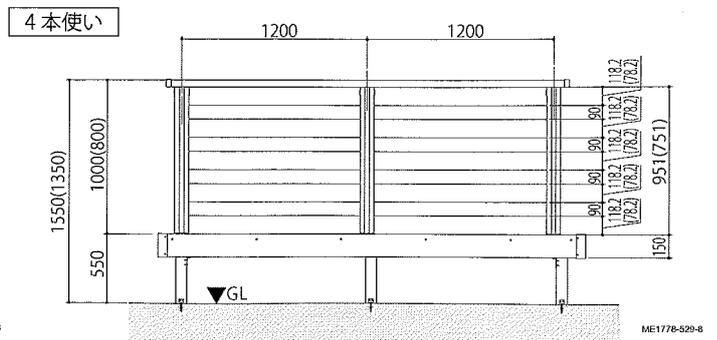
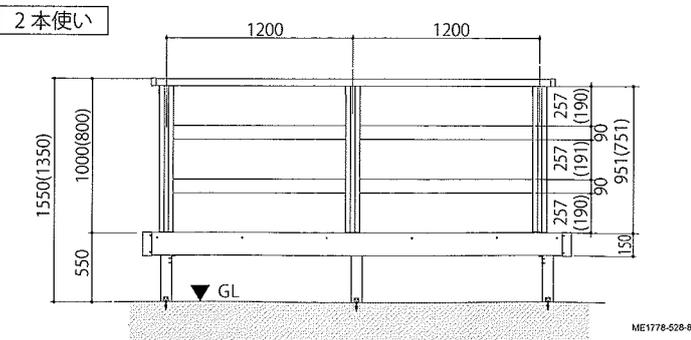


●樹脂タイプ

※本図は H1000 を示しています。() 内寸法は、H800 を示しています。



●アルミタイプ



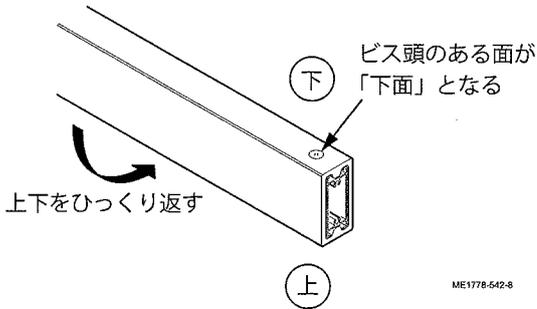
デッキフェンスの取付け

5-6-2 横格子の取付け

①横格子ブラケットを横格子の両端に取付けてください。

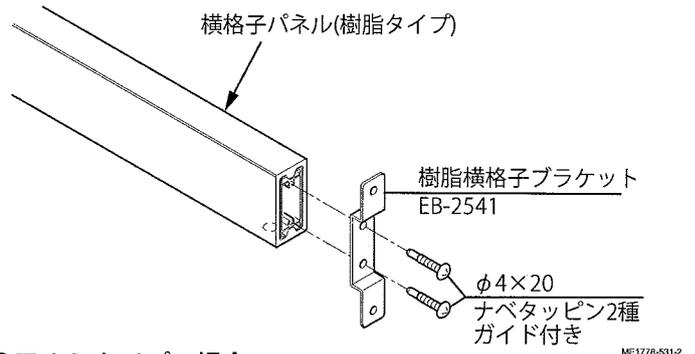
- 樹脂タイプの横格子には上・下があります。
- ビス頭のある面が「下面」になります。

●樹脂タイプの上・下

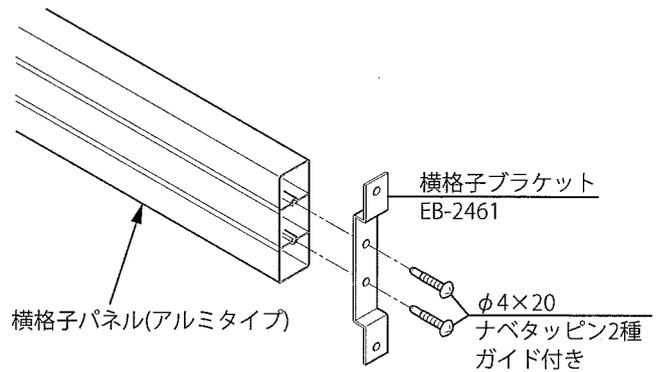


格子取付ビスを確実に締付けてください。
※締付けが弱いと、格子のガタツキの原因になります。

●樹脂タイプの場合

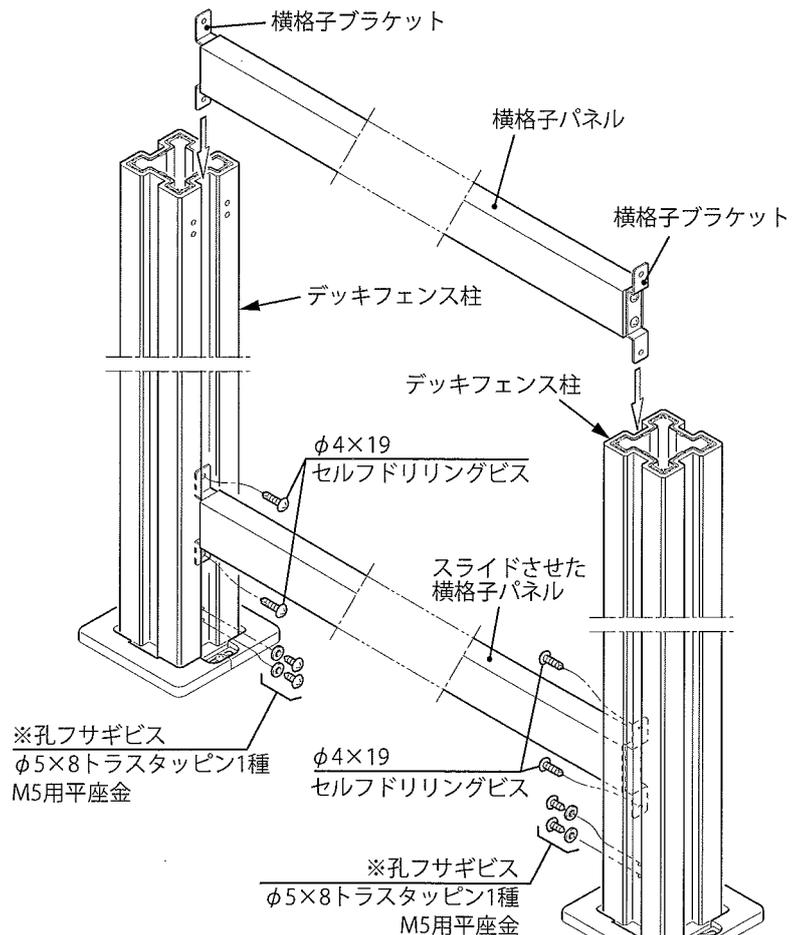


●アルミタイプの場合



②横格子を柱の溝にスライドさせて挿入し、柱に取付けてください。

③使用しない孔に孔フサギビスを取付けてください。



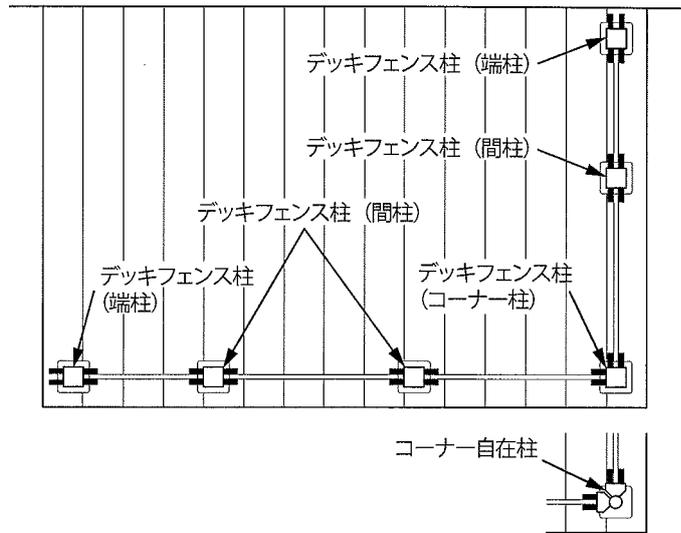
※本図は横格子パネル(樹脂タイプ)を示す。

5-7 通し笠木の取付け (※ H800/1000 の場合)

①右図を参照し、上下胴縁取付金具の取付位置を確認してください。

●金具取付位置

■:上下胴縁取付金具

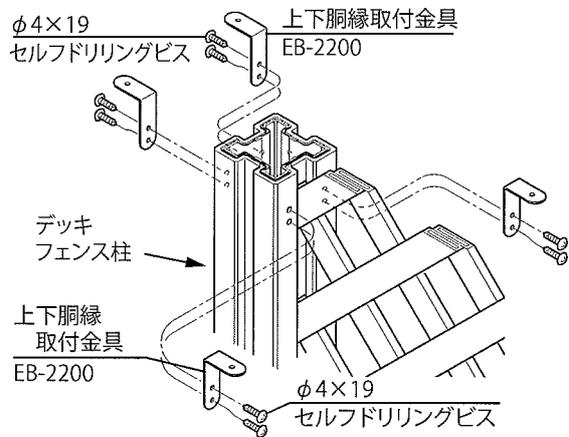


ME1620-312-1

②上下胴縁取付金具を柱に取付けてください。

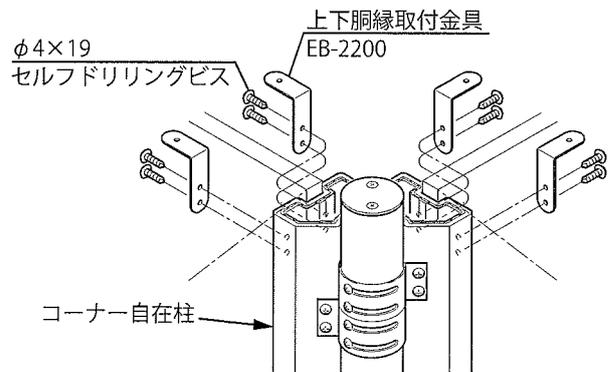
!ビスを締付け過ぎないようにしてください。
※締付け過ぎると、柱（樹脂材）が破損する原因になります。

●デッキフェンス柱の場合



ME1620-313

●コーナー自在柱の場合



ME1620-713

デッキフェンスの取付け

③ 通し笠木をフェンスに合わせて切詰めてください。



通し笠木の切詰め前に、柱上部と柱下部で柱間隔を正確に合わせてください。



通し笠木切詰め長さ

- コーナー部：通し笠木に 90° コーナーキャップをあてがい、現物合わせて切詰め長さを決めてください。
- 連結部：間柱中心に通し笠木を合わせて、切詰め長さを決めてください。



デッキフェンス扉を取付ける場合は、扉側のフェンスの切詰め寸法が異なります。
※詳細については、デッキフェンス扉の施工説明書 [ME-1782] を参照してください。



コーナー自在柱の場合は、通し笠木にコーナー部材キャップをあてがい、現物合わせて切詰め長さを決めてください。
※上記以外では、コーナー部材キャップの取付けができなくなります。

④ 通し笠木を柱に取付けてください。



通し笠木を柱の上に置いて、位置合わせ後、φ 3.5mm の下孔をあけてください。

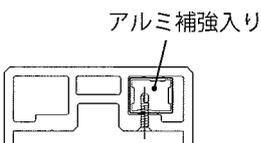


ビスを締付け過ぎないようにしてください。
※締付け過ぎると、取付孔の破損および緩みの原因になります。

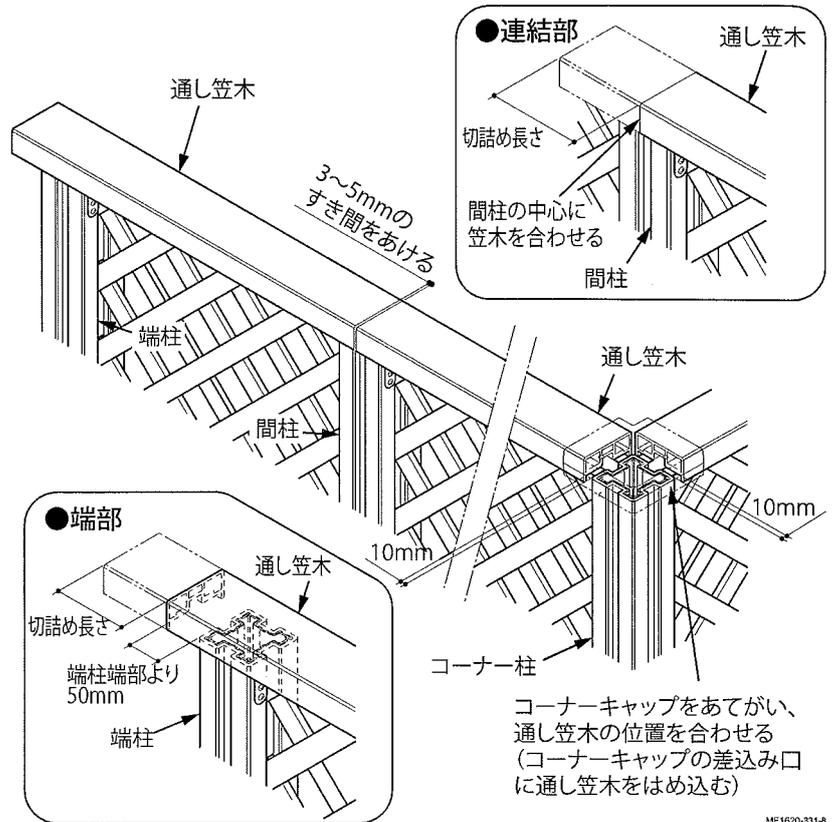


- 横格子パネルの場合は、専用の通し笠木を使用してください。(内部にアルミ補強材があります。)
- 取付けには φ 4 × 19 セルフドリリングビスを使用してください。

● 横格子パネル用通し笠木



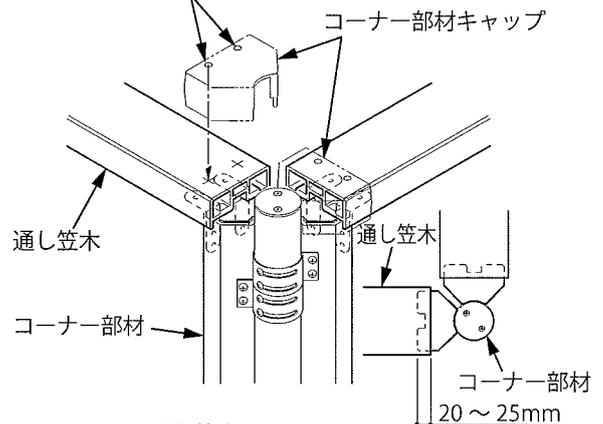
ME1778-534



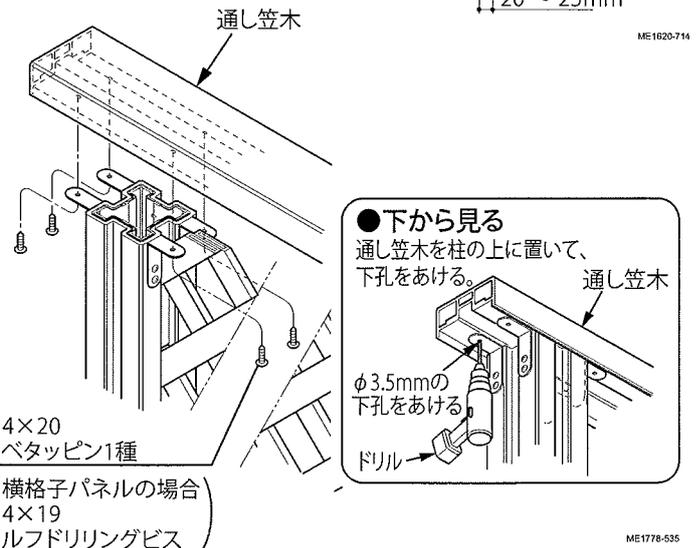
ME1620-331-8

● コーナー自在柱の場合

コーナー部材キャップ取付孔

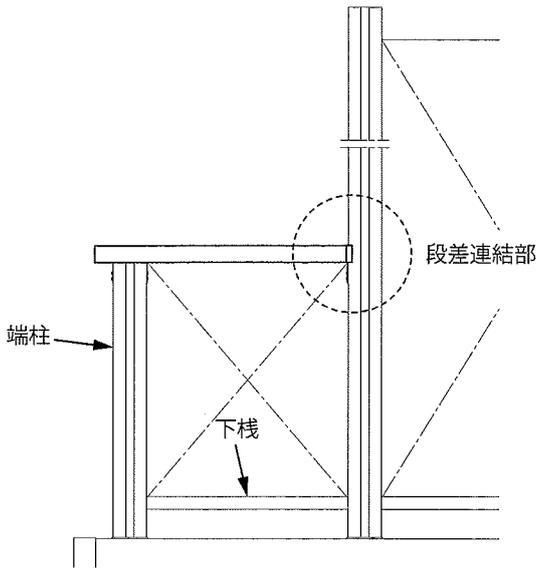


ME1620-714



ME1778-535

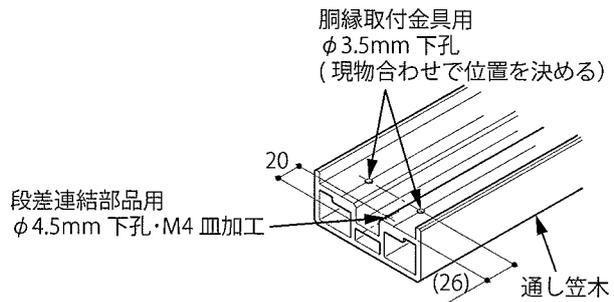
5-8 段差連結部品の取付け (※段差納まりの場合)



ME1620-715

① 通し笠木に、段差連結部品用の下孔 (φ 4.5mm) と胴縁取付金具用の下孔 (φ 3.5mm) をあけてください。

胴縁取付金具の場合は、通し笠木に金具をあてがい、現物合わせで下孔をあけてください。

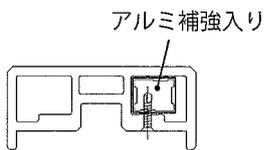


ME1620-716

② 段差連結部品と上下胴縁取付金具を通し笠木に取付けてください。

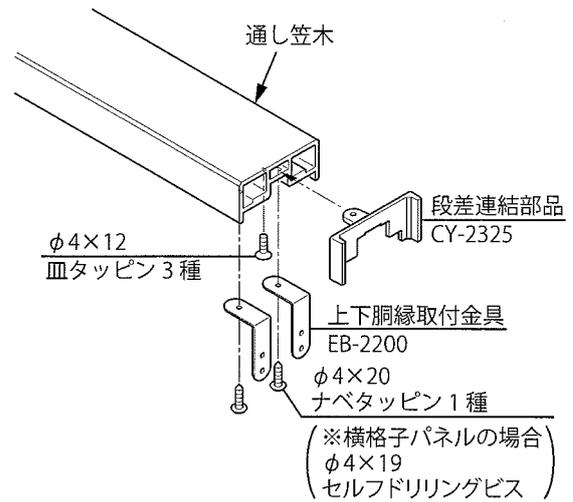
●横格子パネルの場合は、専用の通し笠木を使用してください。(内部にアルミ補強材があります)
●取付けにはφ 4 × 19セルフドリリングビスを使用してください。

●横格子パネル用通し笠木

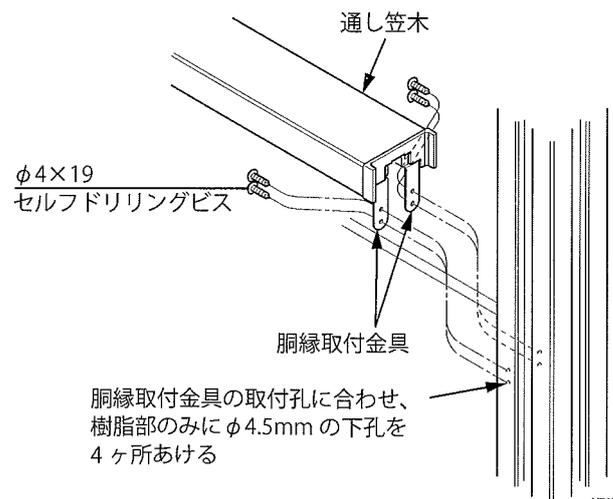


ME1778-534

③ 通し笠木の位置を合わせ、柱の樹脂部みにφ 4.5mm の下孔をあけ、ビスで取付けてください。



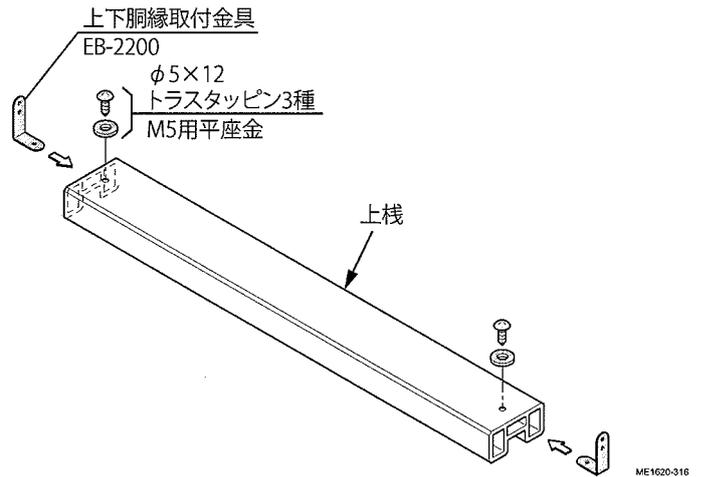
ME1778-536



ME1620-718

5-9 上棧の取付け (※ H1800 の場合)

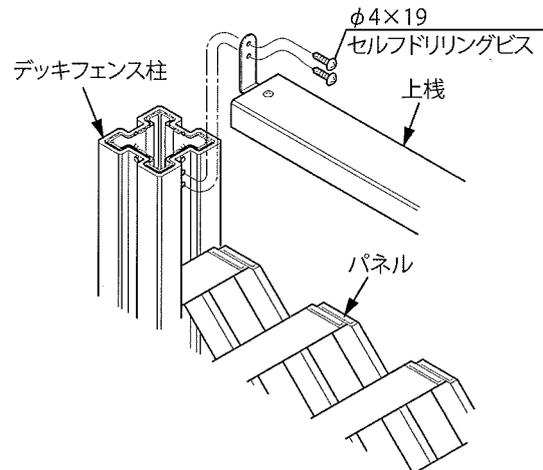
①上下胴縁取付金具を上棧に取付けてください。



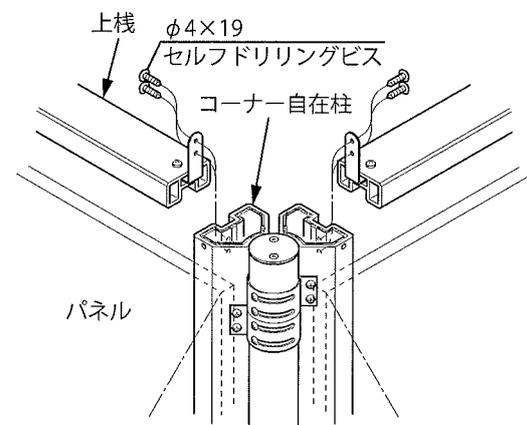
②上棧を柱の溝にスライドさせて挿入し、ビスで取付けてください。

! ビスを締付け過ぎないようにしてください。
※締付け過ぎると、柱（樹脂材）が破損する原因になります。

●デッキフェンス柱の場合



●コーナー自在柱の場合



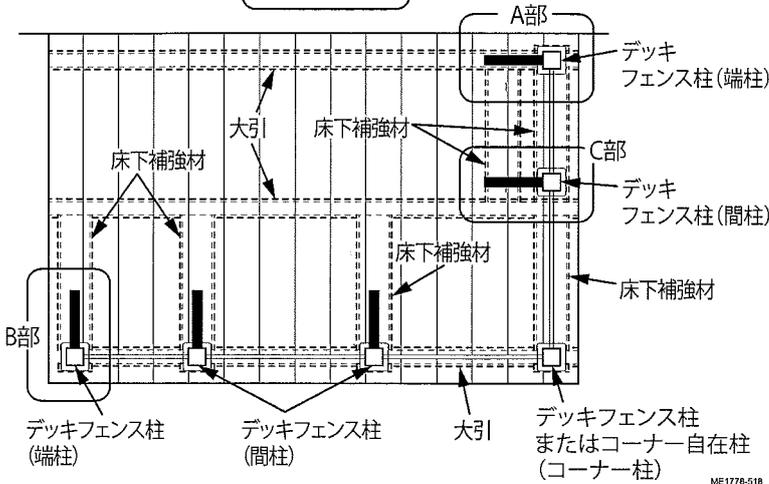
5-10 控え柱の取付け (※ H1800 の場合)



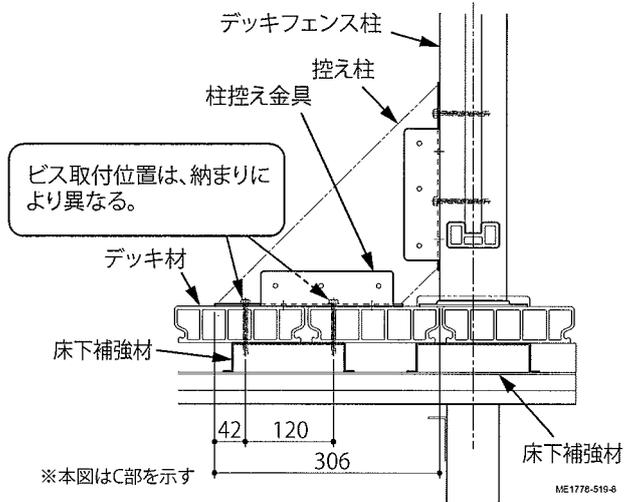
- コーナー部以外の柱に、控え柱を取付けてください。
- 段差納まりの場合は、H1800 の柱のみ控え柱を取付けてください。

● 控え柱取付位置

■ : 控え柱



● 控え柱詳細図

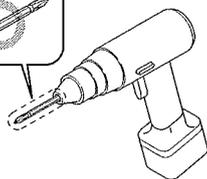


① 柱控え金具をデッキフェンス柱に取付けてください。

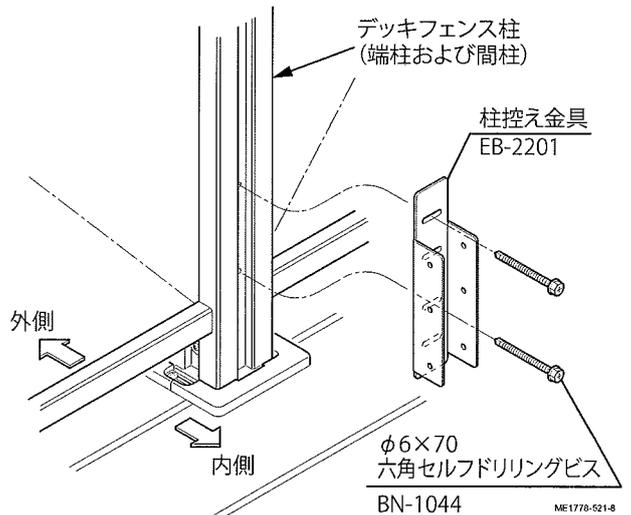


- ビスの締付けには、「ビット」を使用してください。「六角ソケット」を使用しないでください。
- ビスを締付け過ぎないようにしてください。
※締付け過ぎると、柱が破損する原因になります。

六角ソケットは不可
ビットを使用



ME1778-550

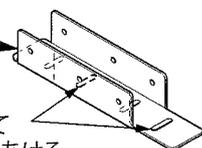


ME1778-521-8

② 現物合わせにて柱控え金具の取付位置を確認してください。

● 柱控え金具

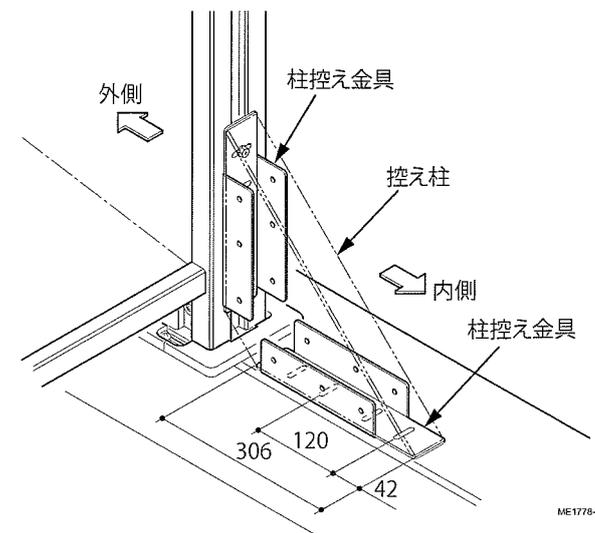
柱控え金具



この位置の長孔(2ヶ所)を使用してφ5mmの下孔をあける

※大引の上(A部)ではどの長孔を使用しても良いが、隣り同士は使用しない。

ME1778-520



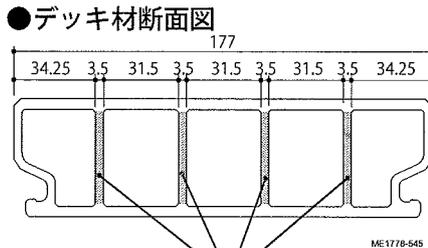
ME1778-522

デッキフェンスの取付け

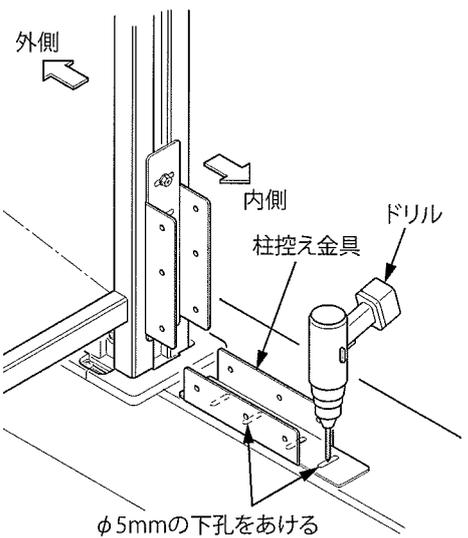
- ③ビス取付位置の長孔を使用して、デッキ材と大引、または、床下補強材にφ5mmの下孔をあけてください。

 柱控え金具の長孔（2ヶ所）を使用して、現物合わせでφ5mmの下孔をあけてください。

 デッキ材のリブ位置をさけてください。

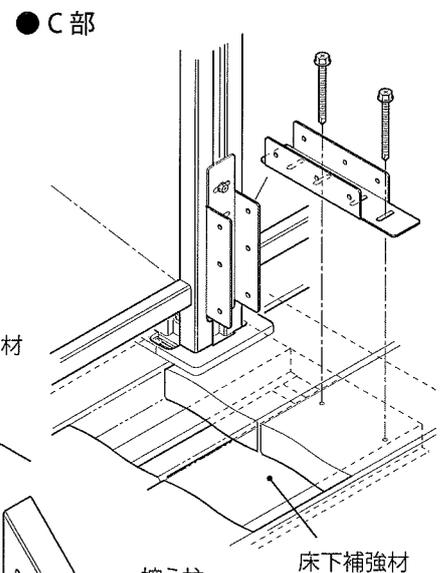
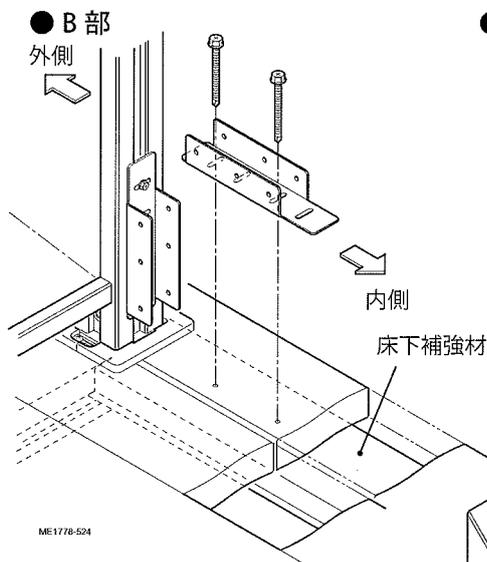
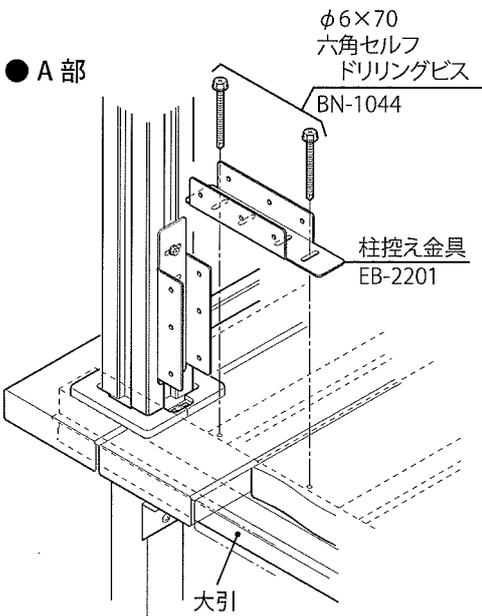
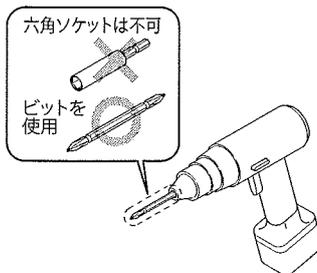


※リブ位置をさけて
ビス止めすること



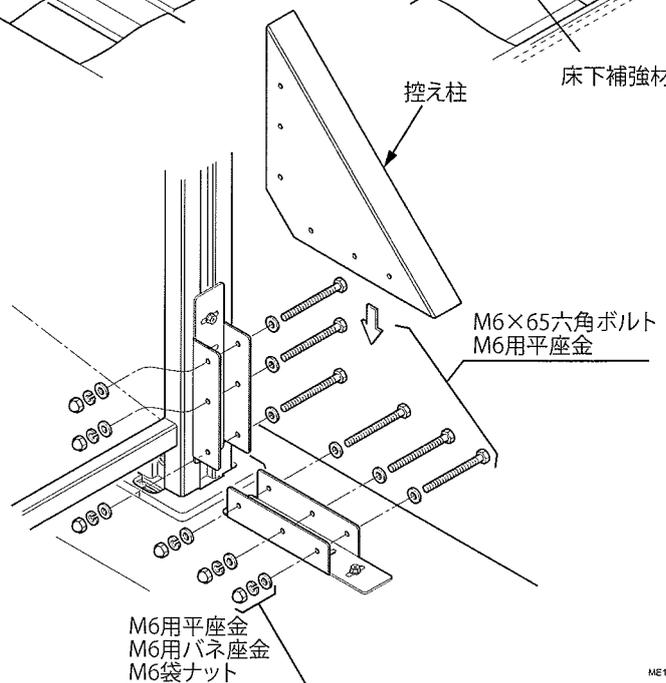
- ④柱控え金具をデッキ材に取付けてください。

 ●ビスの締付けには、「ビット」を使用してください。「六角ソケット」を使用しないでください。
●ビスを締付け過ぎないようにしてください。
※締付け過ぎると、デッキ材が破損する原因になります。



- ⑤控え柱を柱控え金具に取付けてください。

 ビスを締付け過ぎないようにしてください。
※締付け過ぎると、控え柱（樹脂材）が破損する原因になります。



5-11 通し笠木キャップ・笠木カバーの取付け (※ H800/1000 の場合)

① 笠木の端部・連結部・90° コーナー部に、通し笠木キャップ・笠木カバーを取付けてください。



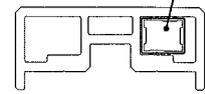
ビスを締付け過ぎないようにしてください。
※締付け過ぎると、取付孔の破損および緩みの原因になります。



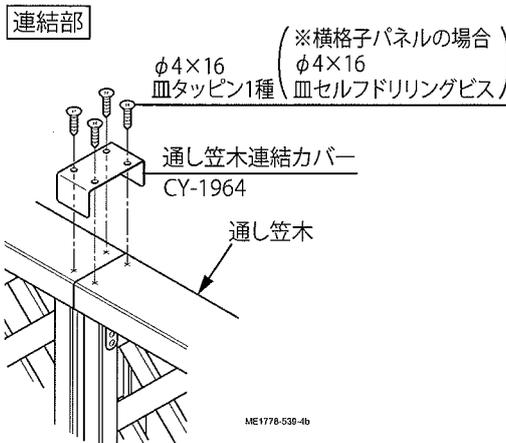
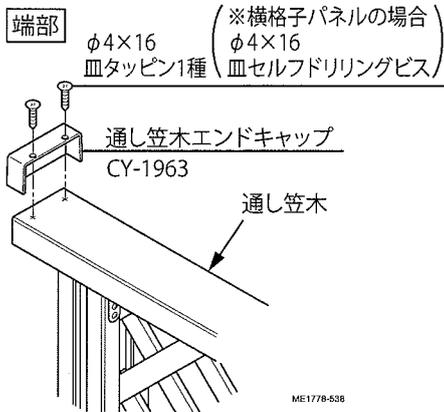
- 横格子パネルの場合は、笠木内部にアルミ補強材があります。
- 取付けにはφ4×16セルフドリリングビスを使用してください。

●横格子パネル用通し笠木

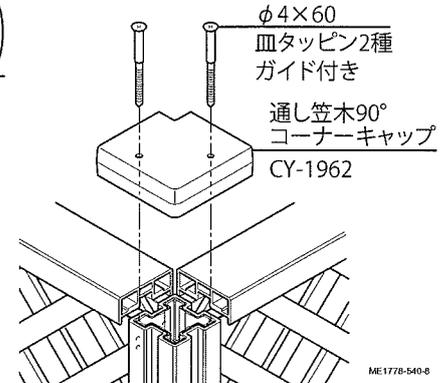
アルミ補強入り



ME1778-537



90°コーナー部



5-12 柱キャップの取付け (※ H1800 の場合)

① 柱キャップをデッキフェンス柱に取付けてください。

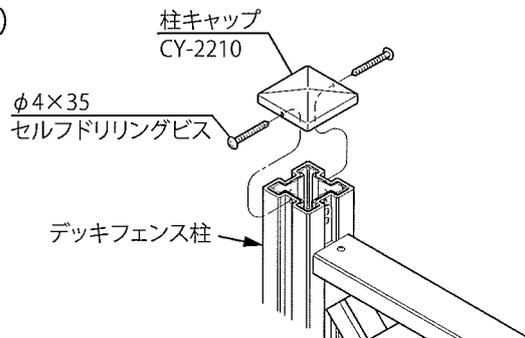


ビスを締付け過ぎないようにしてください。
※締付け過ぎると、取付孔の破損および緩みの原因になります。

柱キャップ CY-2210

φ4×35 セルフドリリングビス

デッキフェンス柱



5-13 コーナー部材キャップの取付け (※コーナー自在柱の場合)

① コーナー部材キャップを取付けてください。



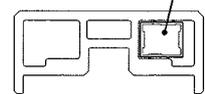
ビスを締付け過ぎないようにしてください。
※締付け過ぎると、取付孔の破損および緩みの原因になります。



- 横格子パネルの場合は、笠木内部にアルミ補強材があります。
- 取付けにはφ4×16セルフドリリングビスを使用してください。

●横格子パネル用通し笠木

アルミ補強入り



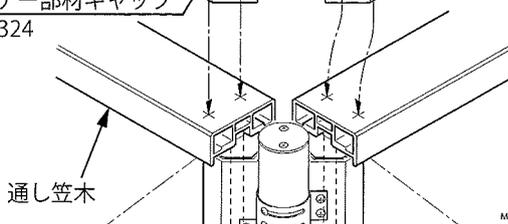
ME1778-537

● H800/1000 (通し笠木に取付け)

φ4×14 皿タップイン1種

(※横格子パネルの場合 φ4×16 皿セルフドリリングビス)

コーナー部材キャップ CY-2324

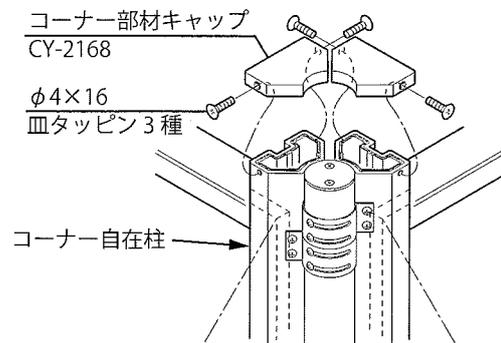


● H1800 (コーナー自在柱に取付け)

コーナー部材キャップ CY-2168

φ4×16 皿タップイン3種

コーナー自在柱



6

鼻隠しの取付け

- 鼻隠しには、直線用とR用の2種類があります。各種類ごとの手順を参照してください。
- R部を含むデッキには、直線部にもR用鼻隠しを使用してください。

6-1 鼻隠しの種類

- 鼻隠しの種類を確認してください。



直線用とR用で鼻隠しの形状が違います。



- 直線用とR用の鼻隠しを併用しないでください。
- 鼻隠しには孔加工を行ってください。

6-2 鼻隠しの切詰め・孔加工

(※直線用鼻隠しの場合)

- ①間口方向の鼻隠しの両端部を15mm切詰めてください。
- ②鼻隠し取付け金具の位置に合わせて、鼻隠し用孔空け治具を使用して、ポンチ等で印をつけてください。
- ③印に合わせて、φ5.5mmの下孔加工、およびφ11mmの皿加工を行ってください。

6-3 鼻隠し(直線用)の取付け

(※直線用鼻隠しの場合)

6-3-1 鼻隠しの取付け

- ①鼻隠しをデッキ材に取付けてください。

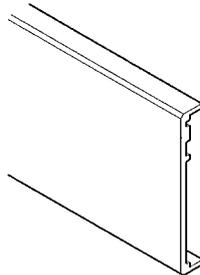


- デッキ材小口面は、鼻隠し取付け金具にφ3.5~4mmの孔加工を行ってからビス止めしてください。
- デッキ材側面は、直接デッキ材にビス止めしてください。
- 連結部、入隅コーナー部は鼻隠しのすき間を3mm以上上げて取付けてください。

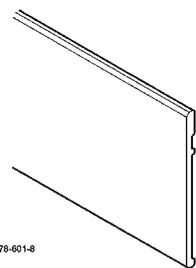


ビスを締付け過ぎないようにしてください。
※締付け過ぎると、取付孔の破損および緩みの原因になります。

●直線用鼻隠し

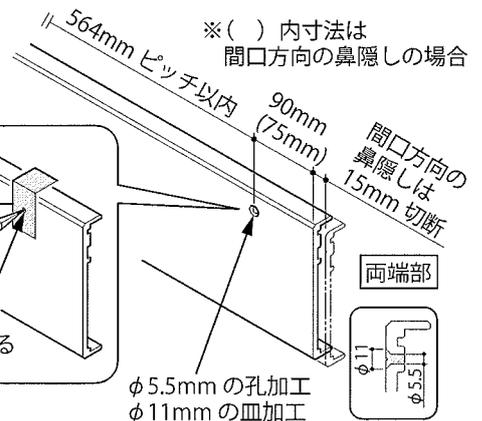
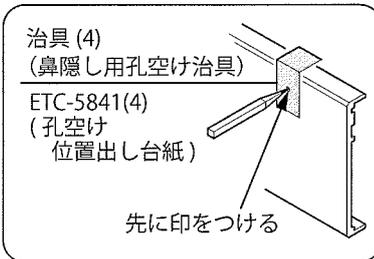


●R用鼻隠し

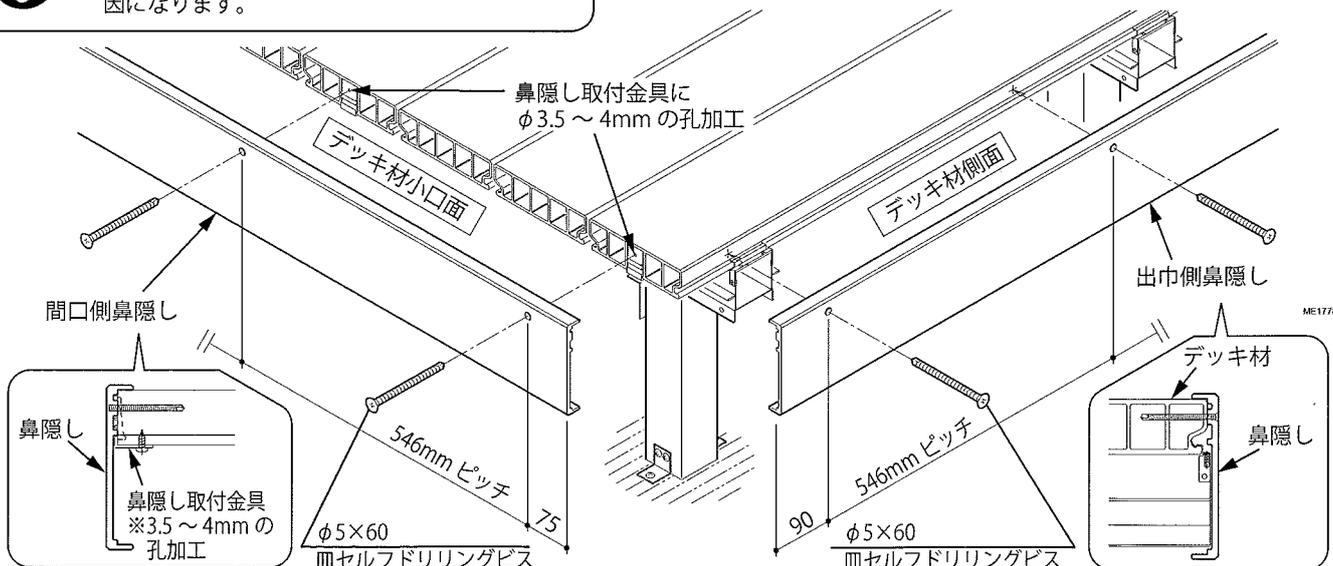
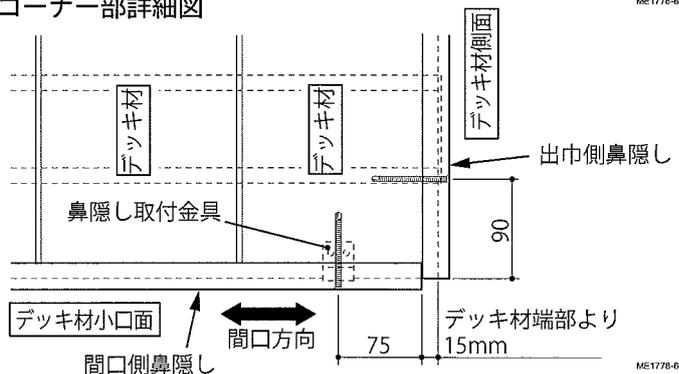


ME1778-601-8

●直線用鼻隠し 孔空け位置図



●コーナー部詳細図



6-3-2 鼻隠しキャップの取付け

- ①鼻隠しにφ 3.5mmの下孔加工を行ってください。
- ②キャップ上部のツメを鼻隠しに引っ掛け、はめ込んでください。
- ③鼻隠しにビスで固定してください。



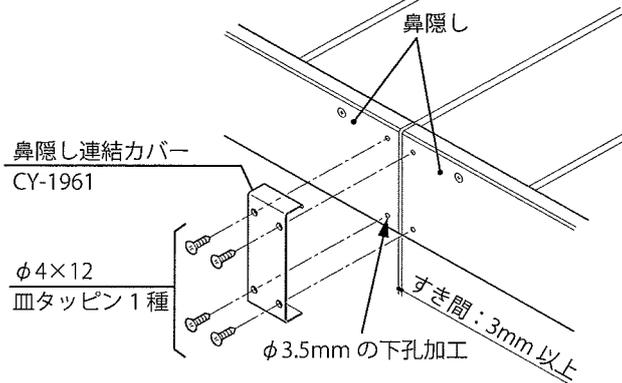
ビスを締付け過ぎないようにしてください。
※締付け過ぎると、取付孔の破損および緩みの原因になります。

●連結部



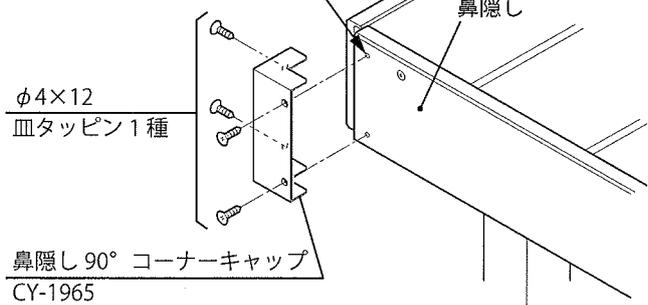
鼻隠しのすき間：3mm 以上

ME1778-605-4b



●90° コーナー部

φ 3.5mm の下孔加工

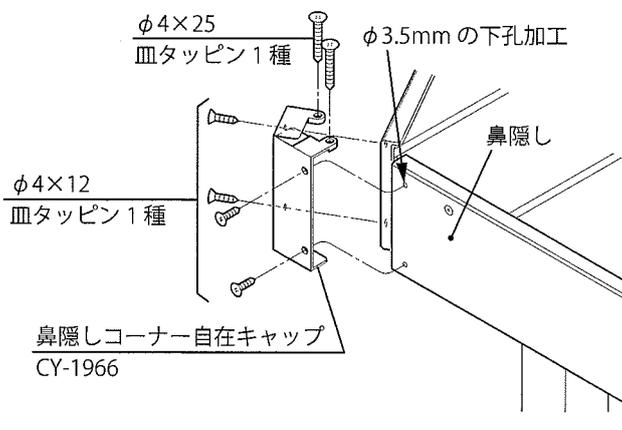


ME1778-606

●自在コーナー部



対応範囲：90° < θ < 180°

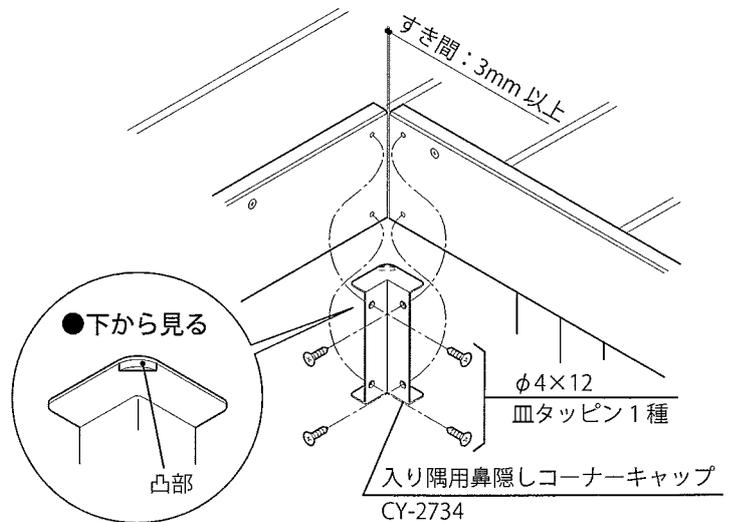


ME1778-607

●入隅コーナー部



キャップの凸部を上側にしてください。



ME1778-614-8

6-4 鼻隠し (R用) の取付け

(※ R用鼻隠しの場合)



- R部・直線部ともに、R用鼻隠しを使用してください。
- ※ R用鼻隠しは、直線用鼻隠しと併用できません。
- 余分な長さの鼻隠しは、現場合わせで切詰めてください。

6-4-1 R部への取付け

- ① 鼻隠し取付け金具の位置に合わせて、鼻隠し用孔空け治具を使用して、ポンチ等で印をつけてください。
- ② 印に合わせて、 $\phi 5.5\text{mm}$ の下孔加工、および $\phi 11\text{mm}$ の皿加工を行ってください。



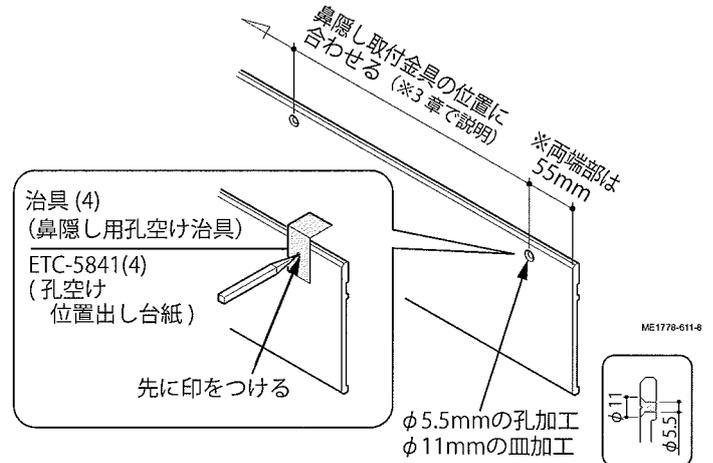
R部下孔

- 両端部：端より 55mm
- 中間部：ピッチ 400mm 以内



R部のビスピッチは、均等にならない場合があります。
(「3-5. デッキR鼻隠し納まりのデッキ切断」参照)

● R用鼻隠し 孔空け位置図



- ② 鼻隠しをデッキ材に取付けてください。

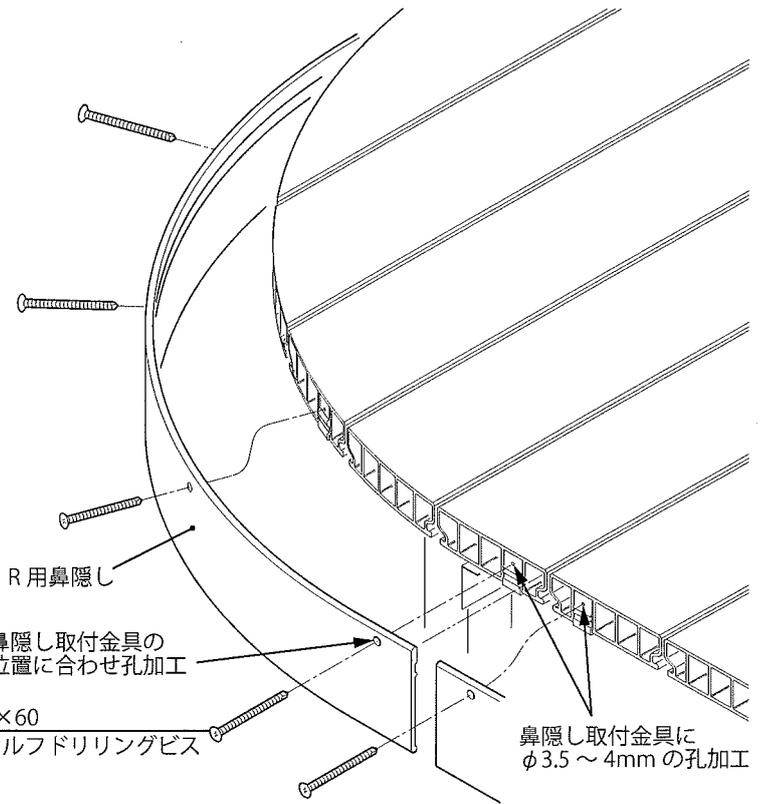
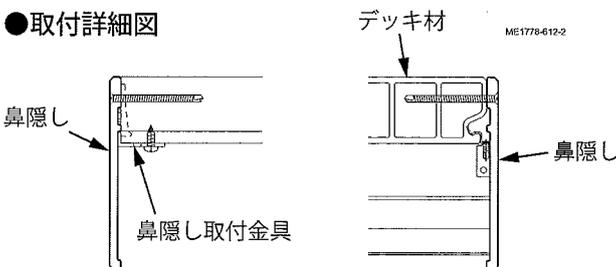


- デッキ材小口面は、鼻隠し取付け金具に $\phi 3.5 \sim 4\text{mm}$ の孔加工を行ってからビス止めしてください。
- デッキ材側面は、直接デッキ材にビス止めしてください。
- 連結部は鼻隠しのすき間を 3mm 以上あけて取付けてください。



ビスを締付け過ぎないようにしてください。
※締付け過ぎると、取付孔の破損および緩みの原因になります。

● 取付詳細図



6-4-2 直線部への取付け

- ① 「6-3-1. 鼻隠しの取付け」(直線用鼻隠し)と同じ要領で、直線部にR用鼻隠しを取付けてください。



直線部ビスピッチ：546mm 以内

6-4-3 鼻隠しキャップの取付け

- ①鼻隠しにφ 3.5mmの下孔加工を行ってください。
- ②キャップ上部のツメを鼻隠しに引っ掛け、はめ込んでください。
- ③鼻隠しにビスで固定してください。

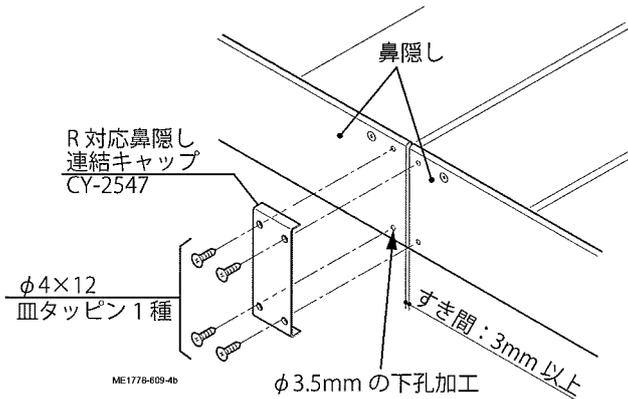


ビスを締付け過ぎないようにしてください。
※締付け過ぎると、取付孔の破損および緩みの原因になります。

● R 連結部



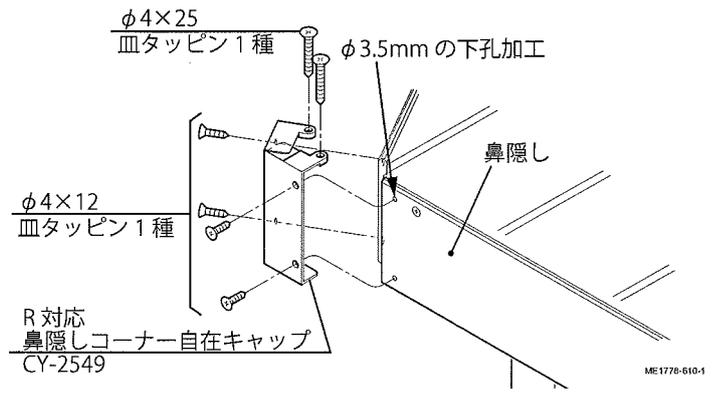
鼻隠しのすき間：3mm 以上



● 90° ・自在コーナ一部



対応範囲：90° ≤ θ < 180°



7

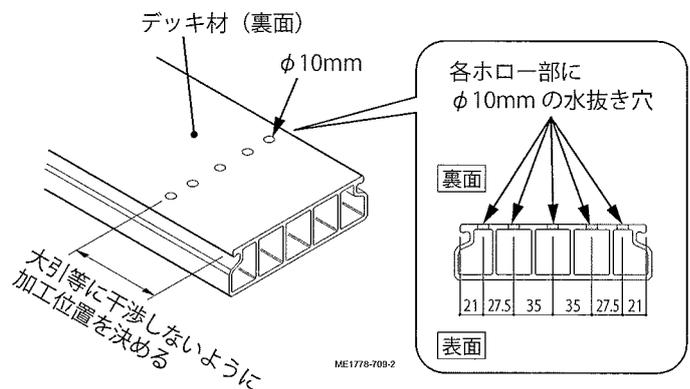
小口キャップの取付け

(※オプション)

- ①デッキ材裏面に、φ 10mmの水抜き穴をあけてください。



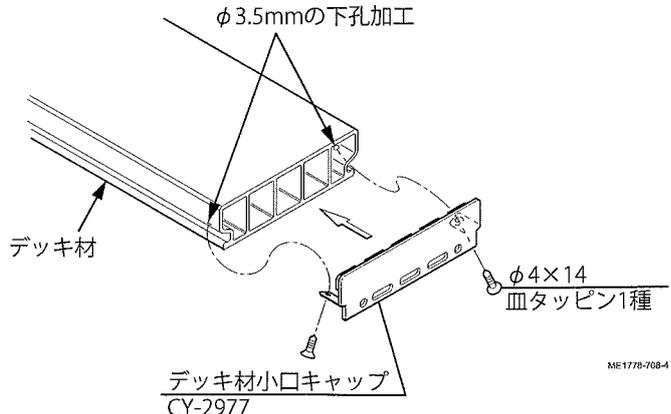
- 加工位置はデッキ材の両端部としてください。
- 大引等に干渉しない位置に水抜き穴をあけてください。



- ②小口キャップをデッキ材の端部に取付けてください。



小口キャップを取付ける場合は、水の停滞を防ぐため必ず水抜き穴をあけてください。



■施工工事店様、販売店様へのお願い

- 「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
- この施工説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。
- 当社は、当社商品のユーザー様及び流通業者様等の皆様の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスその他の目的のために利用致します。当社の個人情報の取り扱いについて詳しくは当社のホームページの『プライバシーポリシー』（<http://www.shinnikkei.co.jp/privacy.html>）をご覧ください。

施工完了日	年	月	日
施工工事店	TEL ()	-
販売店	TEL ()	-

新日軽株式会社

この商品についてのご質問やご相談は右記の窓口にお問い合せください。

お客様相談室



0120-37-2534

新日軽インターネットホームページ <http://www.shinnikkei.co.jp>